

# 目 次

1. 情報学研究科の教育理念	1
2. 情報学研究科の教育	1
3. 情報学研究科の専攻及びリーディングプログラム	2
4. 授業科目及び修了要件	2
5. 授業科目一覧	6
6. 教育職員免許状の取得	22
7. 学生生活にかかわる心得	24
7-1 各種願・届の提出と各種証明書の発行	24
7-2 奨学金等	25
7-3 授業料の納付と免除	26
7-4 研究助成について	27
7-5 健康管理	27
7-6 各種保険制度	29
7-7 自然災害等に伴う授業及び定期試験の取扱い	31
7-8 学生の懲戒及び教育的措置について	32
7-9 学内の業務に従事する場合の注意事項	33
7-10 伝達事項	33
8. 教員組織, 事務組織	34
9. 関係規定	36
名古屋大学大学院情報学研究科規程	36
名古屋大学学位規程	48
10. 付表等	
教室等配置図／東山地区配置図	51



# 1. 情報学研究科の基本理念

情報革命は二つの側面を併せ持っている。第一にそれは人類の抱える問題とその解決をより複雑なものにした。人類が直面する問題は、自然・人間・社会・人工物が絡まり合うことで生み出されてきた。これに膨大な情報が加わることで、問題はさらに複雑さと困難さを増した。第二に、情報革命は問題解決手段の大幅な拡充をもたらしている。自然・人間・社会・人工物は「情報の流れ」として統合的に理解することができ、情報科学技術は、その緩やかな統御を通じて、人類が直面する複雑かつ困難な課題に新たな解決方法を与える可能性をもつ。さらに情報革命は、既存の問題の解決手段に留まらず、新しい価値創造のための手段も与えてくれる。

こうした情報科学技術の潜在的可能性を十分に開花させ、問題解決と新たな価値創造を実現するために、本研究科では、分野横断的な知恵としての新しい「情報学」の創造を目指している。自然・人間・社会・人工物を、情報の流れを創出するシステムとして統一的に理解することを目指す。そして、その理解に基づき、新しい情報の流れを総体としてデザインし、狭義の情報処理技術のみならず、法・規範や制度・組織・意思決定までを含む「広い意味での情報システム」を構想・実現することで、人類の生存と幸福に寄与する。

# 2. 情報学研究科の教育

情報革命の進展にともなって、情報処理手法を活用することにより膨大なデータを分析して新規性と価値のある情報を取り出す方法論の開発がアカデミックな優位性を保つためにきわめて重要になっている。さらに、自然・人間・社会・人工物にわたる現象を情報処理過程と捉えてモデル化する見方や、さらには膨大なデータそのものをモデルの代わりとする見方がさまざまな分野に取り込まれ、情報という枠組みを共通言語とすることで分野間の融合が進みつつある。

また、我が国の産業は、情報科学技術を活用した社会イノベーションの創造や業務革新においては、他国に遅れをとっている。そこで、情報科学技術に関する最新の知識に加えて、自然・人間・社会等の実世界についての深い理解をもつ人材が求められている。そして、情報科学技術と実世界を繋いで、価値創造をデザインするとともに、それを実世界で実現していく人材が求められている。

そこで、情報学研究科の博士前期課程では次のような3つの資質を備えた高度情報職業人の養成を目指す。

- 1) データ・サイエンス、数理科学、複雑系科学の手法を駆使し、シミュレーションを通して自然や社会などの実世界を情報学の視点から統一的に理解し、問題解決に結びつけることができる
- 2) 人間の意思決定プロセスの理解に基づき、情報社会における組織や制度の設計等を通して、情報科学技術を価値創造に結びつけることができる
- 3) 最新の情報科学技術の知識と人間・社会に関する理解を通して情報社会の安全性、快適性の向上に資する知能情報システムを創造できる

情報学研究科の博士後期課程では、各専門領域における研鑽を通して次のような高度研究人材を養成する。

- 1) 新たな情報学の開拓を先導できる情報学関連各分野の研究者
- 2) 情報学の高度な専門知識と能力を駆使して、社会の各場面で新しい価値創造を先導できる国際性とリーダーシップに富む人材

### 3. 情報学研究科の専攻及びリーディングプログラム

情報学研究科は、上記理念に基づいた統合的で質の高い専門教育を実現するために、6つの専攻「数理情報学専攻」、「複雑系科学専攻」、「社会情報学専攻」、「心理・認知科学専攻」、「情報システム学専攻」、「知能システム学専攻」の博士前期課程及び博士後期課程を設けている。

さらに、修了後産業界等で活躍するグローバルリーダー人材育成を行う5年一貫のリーディングプログラム「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」を設けている。

### 4. 授業科目及び修了要件

#### (1) 履修申請及び学修計画

授業科目を履修する者は、各学期の始めの所定の期日までに教務学生係へ「履修科目申請書」を提出しなければならない。

入学後においては、指導教員と相談の上、在学期間中の学修計画をたて、所定の期日までに「学修計画届」を教務学生係へ提出しなければならない。

#### (2) 授業科目の構成

各専攻における授業科目区分は下記のとおりである。

各専攻における授業科目の構成

科目区分	授業形態
共通科目	講義
	演習
主専攻科目	セミナー
	特論
	演習
実践的教育科目	
関連専攻科目	他専攻特論
	他研究科講義・セミナー
	単位互換科目
	学部科目
研究指導	
随意科目	

#### (3) 授業科目の内容

1) 主専攻科目は、その専攻の学生が先端的な研究遂行能力を習得する上で必要となる知識を習得するための中核的な科目であるセミナー、特論、演習で構成される。

(i) セミナーは、講座あるいは研究グループ毎に特定のテーマについて発表及び討論を行う科目である。専門的な知識の習得と併せ、それを発表及び討論するスキルを獲得させるために設けられている。

(ii) 特論は、その専攻の専門的な知識を習得するために設けられた講義形式の科目である。

(iii) 演習は、学生が特定の課題について研究及び討論を行う科目である。

- 2) 実践的教育科目は、企業などにおいて実施されたインターンシップ（インターンシップA・B・C）及び企業との連携によって実施された実習（産学連携実習）、あるいは海外の大学への派遣の実績を単位として認める科目である。実際の研究開発の一端を体験することにより、情報学を実践的に活用する力を養成するために設けられている。
- 3) 関連専攻科目は、所属する専攻以外の関連する科目である。他専攻特論、他研究科講義・セミナー、単位互換科目、学部科目で構成される。
- (i) 他専攻特論は、所属する専攻以外の主専攻科目（特論）である。情報科学を構成する多様な知識を獲得させるために設けられている。
- (ii) 他研究科講義・セミナーは、他研究科の講義・セミナーを受講して得た単位を修了単位として認める科目である。履修申請する場合は、指導教員の承認を得た上で「他研究科聴講願」を履修登録期間内に提出する。
- (iii) 単位互換科目は、単位互換協定を結ぶ他の大学院の単位互換対象科目を受講して得た単位を修了単位として認める科目である。教授会の議を経て、研究科長が教育上有益と認めた場合は、10単位を超えない範囲で、本研究科で修得したのものとして認定することができる。履修申請する場合は、指導教員の承認を得た上で「大学院特別聴講学生出願票」を履修登録期間内に提出する。
- (iv) 学部科目は、本研究科が認めた学部科目を受講して得た単位を修了単位として認める科目である。多様なバックグラウンドをもつ学生がそのバックグラウンド以外の分野を学習することを奨励するために設けられている。指導教員から指示がある場合に限り、研究科の承認を得て、修了単位として認められる。履修申請する場合は、「学部授業認定願」を履修登録期間内に提出する。
- 4) 随意科目は、修了単位として認められない科目である。他研究科及び単位互換協定を結ぶ他の大学院、学部の科目は、修了単位として認められる単位数の上限を超えた場合に、随意科目として扱われる。また、大学院共通科目（教養教育院開講）は、随意科目として扱われる。

#### (4) 学位論文の提出

- 1) 博士前期課程在籍者は、所定の期日までに学位申請の手続きを行い、教務学生係へ「修士論文」を提出し、審査会において合格と判定されなければならない。
- 2) 博士後期課程在籍者は、別に定める「博士学位（課程博士）申請要領」に従って、手続きを行い、教務学生係へ「博士論文」を提出し、所定の審査において合格と判定されなければならない。

#### (5) 修了要件

##### 1) 博士前期課程修了要件

原則として課程に2年以上在籍し、各専攻で定める履修基準に従って合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。なお、他専攻が開講する「主専攻科目」の単位は修了単位として取り扱う。

#### ○数理情報学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	1. 共通科目の中から2単位以上 2. 主専攻科目の中から、 一 セミナーを6単位以上 二 特論を14単位以上（ただし、数理情報学基礎論概論1及び数理情報学基礎論概論2又は数理情報学モデル論概論1及び数理情報学モデル論概論2を含むこと。また、他専攻の特論を6単位まで含めることができる。） 三 演習を4単位以上

共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	3. 2. の二には、単位互換協定を結ぶ他の大学院の単位互換科目の単位を当該専攻の特論として含めることができる。 4. 実践的教育科目の単位は、主専攻科目の演習の単位に含めることができる。 5. 他研究科の講義及びセミナーは、4 単位を上限として修了要件に含めることができる。
研究指導	専攻において定めるところにより、指導教員の指示による。

○複雑系科学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	1. 共通科目の中から 2 単位以上 2. 主専攻科目の中から、 一 セミナーを 6 単位以上 二 特論を 12 単位以上（他専攻の特論を 6 単位まで含めることができる。） 三 演習を 6 単位以上 3. 実践的教育科目の単位は、主専攻科目の演習の単位に含めることができる。 4. 他研究科の講義及びセミナーは、4 単位を上限として修了要件に含めることができる。
研究指導	専攻において定めるところにより、指導教員の指示による。

○社会情報学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	1. 共通科目の中から 2 単位以上 2. 主専攻科目の中から、 一 セミナーを 6 単位以上 二 特論を 12 単位以上（他専攻の特論を 6 単位まで含めることができる。） 三 演習を 6 単位以上 3. 実践的教育科目の単位は、主専攻科目の演習の単位に含めることができる。 4. 他研究科の講義及びセミナーは、4 単位を上限として修了要件に含めることができる。
研究指導	専攻において定めるところにより、指導教員の指示による。

○心理・認知科学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	1. 共通科目の中から 2 単位以上 2. 主専攻科目の中から、 一 セミナーを 6 単位以上 二 特論を 12 単位以上（他専攻の特論を 6 単位まで含めることができる。） 三 演習を 4 単位以上 3. 実践的教育科目の単位は、主専攻科目の演習の単位に含めることができる。 4. 他研究科の講義及びセミナーは、4 単位を上限として修了要件に含めることができる。
研究指導	専攻において定めるところにより、指導教員の指示による。

○情報システム学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 共通科目の中から2単位以上</li> <li>2. 主専攻科目の中から、               <ol style="list-style-type: none"> <li>一 セミナーを6単位以上</li> <li>二 特論を14単位以上（ただし、計算論基礎特論A、計算論基礎特論B、システムプログラム特論A、システムプログラム特論B、計算機アーキテクチャ特論A、計算機アーキテクチャ特論B、ソフトウェア基礎論特論A、ソフトウェア基礎論特論B、ソフトウェア工学特論A、ソフトウェア工学特論B、大規模計算特論A、大規模計算特論B、情報ネットワーク特論A又は情報ネットワーク特論Bから8単位以上を含むこと。また、他専攻の特論を6単位まで含めることができる。）</li> <li>三 演習を4単位（4単位を超えて取得した演習の単位は、随意科目の単位として扱う。）</li> </ol> </li> <li>3. 実践的教育科目の単位は、主専攻科目の演習の単位に含めることができる。</li> <li>4. 他研究科の講義及びセミナーは、4単位を上限として修了要件に含めることができる。</li> </ol>
研究指導	専攻において定めるところにより、指導教員の指示による。

○知能システム学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 共通科目の中から2単位以上</li> <li>2. 主専攻科目の中から、               <ol style="list-style-type: none"> <li>一 セミナーを6単位以上</li> <li>二 特論を14単位以上（他専攻の特論を6単位まで含めることができる。）</li> <li>三 演習を4単位以上</li> </ol> </li> <li>3. 実践的教育科目の単位は、主専攻科目の演習の単位に含めることができる。</li> <li>4. 他研究科の講義及びセミナーは、4単位を上限として修了要件に含めることができる。</li> </ol>
研究指導	専攻において定めるところにより、指導教員の指示による。

2) 博士後期課程修了要件

博士後期課程の主専攻科目（セミナー）から6単位以上を含む合計8単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。

3) リーディングプログラム「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」履修基準

以下の(1)、(2)を満たすこと。

- (1) 所属研究科・専攻の履修規定等に従って、博士前期課程及び博士後期課程の修了に必要な単位を修得すること。
- (2) プログラムが指定する科目を修得すること。なお、研究科科目として開講されているものについては、それらの単位を修得した場合、(1)の修得単位として算入してよい。

# 5. 授業科目一覧

## 数理情報学専攻

### 博士前期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名						単位数	開講時期		開講年度	
											学年	クォータ	R2	R3
共通科目	講義	GSI-00-5001-J	情報学特論 I	北栄輔						1	1年	春1	○	○
		GSI-00-5003-J	情報学特別講義 I	北栄輔						2	1年	春1	○	○
		GSI-00-5009-J	情報マネジメント特論 I	北栄輔						1	1年	春2	○	○
		GSI-00-5004-J	実世界データ循環システム特論 I-1	武田一哉	西田直樹					1	2年	春1	○	○
		GSI-00-5005-J	実世界データ循環システム特論 I-2	武田一哉	西田直樹					1	2年	春2	○	○
		GSI-00-5006-J	実世界データ解析学特論	武田一哉	西田直樹				1	1年	秋1	○	○	
主専攻科目	セミナー	GSI-11-6001-J	数理情報学基礎論セミナー I-a	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行		1	1年	春1	○	○
		GSI-11-6002-J	数理情報学基礎論セミナー I-b	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行		1	1年	春2	○	○
		GSI-11-6003-J	数理情報学基礎論セミナー I-c	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行		1	1年	秋1	○	○
		GSI-11-6004-J	数理情報学基礎論セミナー I-d	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行		1	1年	秋2	○	○
		GSI-11-6005-J	数理情報学基礎論セミナー I-e	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行		1	2年	春1	○	○
		GSI-11-6006-J	数理情報学基礎論セミナー I-f	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行		1	2年	春2	○	○
		GSI-11-6007-J	数理情報学基礎論セミナー I-g	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行		1	2年	秋1	○	○
		GSI-11-6008-J	数理情報学基礎論セミナー I-h	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行		1	2年	秋2	○	○
		GSI-11-6009-J	数理情報学モデル論セミナー I-a	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	大館陽太			1	1年	春1	○	○
		GSI-11-6010-J	数理情報学モデル論セミナー I-b	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	大館陽太			1	1年	春2	○	○
		GSI-11-6011-J	数理情報学モデル論セミナー I-c	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	大館陽太			1	1年	秋1	○	○
		GSI-11-6012-J	数理情報学モデル論セミナー I-d	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	大館陽太			1	1年	秋2	○	○
		GSI-11-6013-J	数理情報学モデル論セミナー I-e	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	大館陽太			1	2年	春1	○	○
		GSI-11-6014-J	数理情報学モデル論セミナー I-f	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	大館陽太			1	2年	春2	○	○
	GSI-11-6015-J	数理情報学モデル論セミナー I-g	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	大館陽太			1	2年	秋1	○	○	
	GSI-11-6016-J	数理情報学モデル論セミナー I-h	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	大館陽太			1	2年	秋2	○	○	
	GSI-11-6017-J	数理理論学特論1	吉信康夫	松原洋	木原貴行				1	1・2年	春1	○	○	
	GSI-11-6018-J	数理理論学特論2	吉信康夫	松原洋	木原貴行				1	1・2年	春2	○	○	
	GSI-11-6019-J	離散数学特論1	小野廣隆	柳浦睦憲	佐藤潤也	大館陽太			1	1・2年	春1	○	○	
	GSI-11-6020-J	離散数学特論2	小野廣隆	柳浦睦憲	佐藤潤也	大館陽太			1	1・2年	春2	○	○	
	GSI-11-6021-J	量子情報特論1	F. Buscemi						1	1・2年	秋1	○	○	
	GSI-11-6022-J	量子情報特論2	F. Buscemi						1	1・2年	秋2	○	○	
	GSI-11-6023-J	数論アルゴリズム特論1	佐藤潤也						1	1・2年	秋1	○	○	
	GSI-11-6024-J	数論アルゴリズム特論2	佐藤潤也						1	1・2年	秋2	○	○	
	GSI-11-6025-J	計算可能性理論特論1	木原貴行	松原洋	吉信康夫				1	1・2年	秋1	○	○	
	GSI-11-6026-J	計算可能性理論特論2	木原貴行	松原洋	吉信康夫				1	1・2年	秋2	○	○	
	GSI-11-6027-J	最適化特論1	柳浦睦憲	小野廣隆	大館陽太				1	1・2年	春1	○	○	
	GSI-11-6028-J	最適化特論2	柳浦睦憲	小野廣隆	大館陽太				1	1・2年	春2	○	○	
GSI-11-6029-J	計算量理論特論1	西村治道						1	1・2年	春1	○	○		
GSI-11-6030-J	計算量理論特論2	西村治道						1	1・2年	春2	○	○		
GSI-11-6031-J	数学基礎論特論1	松原洋	吉信康夫	木原貴行				1	1・2年	秋1	○	○		
GSI-11-6032-J	数学基礎論特論2	松原洋	吉信康夫	木原貴行				1	1・2年	秋2	○	○		
GSI-11-6033-J	*数理情報学基礎論概論1	松原洋	佐藤潤也					1	1・2年	春1	○	○		
GSI-11-6034-J	*数理情報学基礎論概論2	吉信康夫	木原貴行					1	1・2年	春2	○	○		
GSI-11-6035-J	*数理情報学モデル論概論1	柳浦睦憲	小野廣隆	大館陽太				1	1・2年	春1	○	○		
GSI-11-6036-J	*数理情報学モデル論概論2	西村治道	F. Buscemi					1	1・2年	春2	○	○		
演習	GSI-11-6037-J	数理情報学演習a	専攻の全教員						1	1年	春1	○	○	
	GSI-11-6038-J	数理情報学演習b	専攻の全教員						1	1年	春2	○	○	
	GSI-11-6039-J	数理情報学演習c	専攻の全教員						1	1年	秋1	○	○	
	GSI-11-6040-J	数理情報学演習d	専攻の全教員						1	1年	秋2	○	○	
	GSI-11-6041-J	数理情報学演習e	専攻の全教員						1	2年	春1	○	○	
	GSI-11-6042-J	数理情報学演習f	専攻の全教員						1	2年	春2	○	○	
	GSI-11-6043-J	数理情報学演習g	専攻の全教員						1	2年	秋1	○	○	
	GSI-11-6044-J	数理情報学演習h	専攻の全教員						1	2年	秋2	○	○	
実践的教育科目	GSI-20-6001-J	インターンシップ I-A	枝廣正人						2	1年	通年	○	○	
	GSI-20-6002-J	インターンシップ I-B	枝廣正人						1	1・2年	通年	○	○	
	GSI-20-6003-J	インターンシップ I-C	枝廣正人						2	1・2年	通年	○	○	
	GSI-20-6004-J	産学連携実習A	高田広章	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮		2	1・2年	通年	○	○	
	GSI-20-6005-J	産学連携実習B	高田広章	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮		4	1・2年	通年	○	○	
他専攻科目				本研究科の他専攻の主専攻科目										
研究指導														
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目											

\*は選択必修科目、どちらかの講座の概論1と2を必ず履修すること。

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

数理情報学専攻

博士後期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名				単位数	開講時期		開講年度		
									学年	クォータ	R2	R3	
共通科目	講義	GSI-00-7001-J	情報学特論Ⅱ	北栄輔				1	1年	春1	○	○	
		GSI-00-7002-J	情報倫理Ⅱ	北栄輔				1	1年	春2			
		GSI-00-7003-J	リーダーシップ特論	北栄輔				1	1年	春1			
		GSI-00-7004-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-1	武田一哉	西田直樹			1	1年	秋1	○	○	
		GSI-00-7005-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-2	武田一哉	西田直樹			1	1年	秋2	○	○	
専攻科目	セミナー	GSI-11-7001-J	数理情報学基礎論セミナーⅡ-a	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行	1	1年	春1	○	○
		GSI-11-7002-J	数理情報学基礎論セミナーⅡ-b	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行	1	1年	春2	○	○
		GSI-11-7003-J	数理情報学基礎論セミナーⅡ-c	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行	1	1年	秋1	○	○
		GSI-11-7004-J	数理情報学基礎論セミナーⅡ-d	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行	1	1年	秋2	○	○
		GSI-11-7005-J	数理情報学基礎論セミナーⅡ-e	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行	1	2年	春1	○	○
		GSI-11-7006-J	数理情報学基礎論セミナーⅡ-f	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行	1	2年	春2	○	○
		GSI-11-7007-J	数理情報学基礎論セミナーⅡ-g	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行	1	2年	秋1	○	○
		GSI-11-7008-J	数理情報学基礎論セミナーⅡ-h	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行	1	2年	秋2	○	○
		GSI-11-7009-J	数理情報学モデル論セミナーⅡ-a	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	大館陽太		1	1年	春1	○	○
		GSI-11-7010-J	数理情報学モデル論セミナーⅡ-b	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	大館陽太		1	1年	春2	○	○
		GSI-11-7011-J	数理情報学モデル論セミナーⅡ-c	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	大館陽太		1	1年	秋1	○	○
		GSI-11-7012-J	数理情報学モデル論セミナーⅡ-d	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	大館陽太		1	1年	秋2	○	○
		GSI-11-7013-J	数理情報学モデル論セミナーⅡ-e	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	大館陽太		1	2年	春1	○	○
		GSI-11-7014-J	数理情報学モデル論セミナーⅡ-f	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	大館陽太		1	2年	春2	○	○
GSI-11-7015-J	数理情報学モデル論セミナーⅡ-g	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	大館陽太		1	2年	秋1	○	○		
GSI-11-7016-J	数理情報学モデル論セミナーⅡ-h	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	大館陽太		1	2年	秋2	○	○		
実践的教育科目	GSI-20-7001-J	インターンシップⅡ-A	枝廣正人					2	1・2年	通年	○	○	
	GSI-20-7002-J	インターンシップⅡ-B	枝廣正人					1	1・2・3年	通年	○	○	
	GSI-20-7003-J	インターンシップⅡ-C	枝廣正人					2	1・2・3年	通年	○	○	
	GSI-20-7004-J	★グローバルチャレンジⅡ-A	武田一哉	井手一郎				2	1・2年	通年	○		
	GSI-20-7005-J	★グローバルチャレンジⅡ-B	武田一哉	井手一郎				3	1・2年	通年	○		
	GSI-20-7006-J	★グローバルチャレンジⅡ-C	武田一哉	井手一郎				4	1・2年	通年	○		
	GSI-20-7007-J	★グローバルチャレンジⅡ-D	武田一哉	井手一郎				5	1・2年	通年	○		
GSI-20-7008-J	★グローバルチャレンジⅡ-E	武田一哉	井手一郎				6	1・2年	通年	○			
研究指導													
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目										

★は「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」参加者のみ履修可

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

複雑系科学専攻

博士前期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名						単位数	開講時期		開講年度		
											学年	クォータ	R2	R3	
共通科目	講義	GSI-00-5001-J	情報学特論 I	北柴輔						1	1年	春1	○	○	
		GSI-00-5003-J	情報学特別講義 I	北柴輔						2	1年	春1	○	○	
		GSI-00-5009-J	情報マネジメント特論 I	北柴輔						1	1年	春2	○	○	
		GSI-00-5004-J	実世界データ循環システム特論 I-1	武田一哉	西田直樹					1	2年	春1	○	○	
		GSI-00-5005-J	実世界データ循環システム特論 I-2	武田一哉	西田直樹					1	2年	春2	○	○	
		GSI-00-5006-J	実世界データ解析学特論	武田一哉	西田直樹					1	1年	秋1	○	○	
専攻科目	セミナー	GSI-12-6001-J	多自由度システム情報論セミナー I-a	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之				1	1年	春1	○	○	
		GSI-12-6002-J	多自由度システム情報論セミナー I-b	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之				1	1年	春2	○	○	
		GSI-12-6003-J	多自由度システム情報論セミナー I-c	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之				1	1年	秋1	○	○	
		GSI-12-6004-J	多自由度システム情報論セミナー I-d	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之				1	1年	秋2	○	○	
		GSI-12-6005-J	多自由度システム情報論セミナー I-e	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之				1	2年	春1	○	○	
		GSI-12-6006-J	多自由度システム情報論セミナー I-f	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之				1	2年	春2	○	○	
		GSI-12-6007-J	多自由度システム情報論セミナー I-g	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之				1	2年	秋1	○	○	
		GSI-12-6008-J	多自由度システム情報論セミナー I-h	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之				1	2年	秋2	○	○	
		GSI-12-6009-J	生命情報論セミナー I-a	太田元規	吉田久美	青木撰之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	1年	春1	○	○
		GSI-12-6010-J	生命情報論セミナー I-b	太田元規	吉田久美	青木撰之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	1年	春2	○	○
		GSI-12-6011-J	生命情報論セミナー I-c	太田元規	吉田久美	青木撰之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-6012-J	生命情報論セミナー I-d	太田元規	吉田久美	青木撰之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-6013-J	生命情報論セミナー I-e	太田元規	吉田久美	青木撰之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	2年	春1	○	○
		GSI-12-6014-J	生命情報論セミナー I-f	太田元規	吉田久美	青木撰之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	2年	春2	○	○
		GSI-12-6015-J	生命情報論セミナー I-g	太田元規	吉田久美	青木撰之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-6016-J	生命情報論セミナー I-h	太田元規	吉田久美	青木撰之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	2年	秋2	○	○
		GSI-12-6017-J	物質情報論セミナー I-a	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	1年	春1	○	○
		GSI-12-6018-J	物質情報論セミナー I-b	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	1年	春2	○	○
		GSI-12-6019-J	物質情報論セミナー I-c	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-6020-J	物質情報論セミナー I-d	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-6021-J	物質情報論セミナー I-e	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	2年	春1	○	○
		GSI-12-6022-J	物質情報論セミナー I-f	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	2年	春2	○	○
		GSI-12-6023-J	物質情報論セミナー I-g	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-6024-J	物質情報論セミナー I-h	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	2年	秋2	○	○
		GSI-12-6025-J	創発システム論セミナー I-a	有田隆也	北柴輔	鈴木麗聖	永峰康一郎	笹原和俊			1	1年	春1	○	○
		GSI-12-6026-J	創発システム論セミナー I-b	有田隆也	北柴輔	鈴木麗聖	永峰康一郎	笹原和俊			1	1年	春2	○	○
		GSI-12-6027-J	創発システム論セミナー I-c	有田隆也	北柴輔	鈴木麗聖	永峰康一郎	笹原和俊			1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-6028-J	創発システム論セミナー I-d	有田隆也	北柴輔	鈴木麗聖	永峰康一郎	笹原和俊			1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-6029-J	創発システム論セミナー I-e	有田隆也	北柴輔	鈴木麗聖	永峰康一郎	笹原和俊			1	2年	春1	○	○
		GSI-12-6030-J	創発システム論セミナー I-f	有田隆也	北柴輔	鈴木麗聖	永峰康一郎	笹原和俊			1	2年	春2	○	○
		GSI-12-6031-J	創発システム論セミナー I-g	有田隆也	北柴輔	鈴木麗聖	永峰康一郎	笹原和俊			1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-6032-J	創発システム論セミナー I-h	有田隆也	北柴輔	鈴木麗聖	永峰康一郎	笹原和俊			1	2年	秋2	○	○
		GSI-12-6033-J	複雑系計算論セミナー I-a	大岡昌博	畔上秀幸	渡邊崇	鈴木泰博				1	1年	春1	○	○
		GSI-12-6034-J	複雑系計算論セミナー I-b	大岡昌博	畔上秀幸	渡邊崇	鈴木泰博				1	1年	春2	○	○
		GSI-12-6035-J	複雑系計算論セミナー I-c	大岡昌博	畔上秀幸	渡邊崇	鈴木泰博				1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-6036-J	複雑系計算論セミナー I-d	大岡昌博	畔上秀幸	渡邊崇	鈴木泰博				1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-6037-J	複雑系計算論セミナー I-e	大岡昌博	畔上秀幸	渡邊崇	鈴木泰博				1	2年	春1	○	○
		GSI-12-6038-J	複雑系計算論セミナー I-f	大岡昌博	畔上秀幸	渡邊崇	鈴木泰博				1	2年	春2	○	○
		GSI-12-6039-J	複雑系計算論セミナー I-g	大岡昌博	畔上秀幸	渡邊崇	鈴木泰博				1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-6040-J	複雑系計算論セミナー I-h	大岡昌博	畔上秀幸	渡邊崇	鈴木泰博				1	2年	秋2	○	○
		GSI-12-6041-J	情報可視化論セミナー I-a	内山知実	安田耕二						1	1年	春1	○	○
		GSI-12-6042-J	情報可視化論セミナー I-b	内山知実	安田耕二						1	1年	春2	○	○
GSI-12-6043-J	情報可視化論セミナー I-c	内山知実	安田耕二						1	1年	秋1	○	○		
GSI-12-6044-J	情報可視化論セミナー I-d	内山知実	安田耕二						1	1年	秋2	○	○		
GSI-12-6045-J	情報可視化論セミナー I-e	内山知実	安田耕二						1	2年	春1	○	○		
GSI-12-6046-J	情報可視化論セミナー I-f	内山知実	安田耕二						1	2年	春2	○	○		
GSI-12-6047-J	情報可視化論セミナー I-g	内山知実	安田耕二						1	2年	秋1	○	○		
GSI-12-6048-J	情報可視化論セミナー I-h	内山知実	安田耕二						1	2年	秋2	○	○		

複雑系科学専攻

博士前期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名						単位数	開講時期		開講年度		
											学年	クォータ	R2	R3	
主 専 攻 科 目	特 論	GSI-12-6049-J	複雑系科学特論1	古賀伸明	長岡正隆	太田元規	谷村省吾	青木拱之	吉田久美	1	1・2年	秋1	○	○	
		GSI-12-6050-J	複雑系科学特論2	鈴木泰博	安田耕二	内山知実	有田隆也	畔上秀幸	渡邊崇	1	1・2年	秋2	○	○	
		GSI-12-6051-J	多自由度システム特論A	中村泰之	時田恵一郎	谷村省吾					1	1・2年	春2	○	
		GSI-12-6052-J	多自由度システム特論B	中村泰之	谷村省吾	時田恵一郎					1	1・2年	春2		○
		GSI-12-6053-J	現代数学と力学特論	谷村省吾	中村泰之	時田恵一郎					1	1・2年	春1	○	○
		GSI-12-6054-J	情報物理学特論	時田恵一郎	谷村省吾	中村泰之					1	1・2年	秋1	○	○
		GSI-12-6055-J	物質情報ダイナミクス特論1	長岡正隆							1	1・2年	春1	○	○
		GSI-12-6056-J	物質情報ダイナミクス特論2	長岡正隆							1	1・2年	春2	○	○
		GSI-12-6057-J	計算量子物質情報特論1	古賀伸明							1	1・2年	春1	○	○
		GSI-12-6058-J	計算量子物質情報特論2	古賀伸明							1	1・2年	春2	○	○
		GSI-12-6059-J	マイクロ・ナノ物質情報特論1	張賀東							1	1・2年	春1	○	○
		GSI-12-6060-J	マイクロ・ナノ物質情報特論2	張賀東							1	1・2年	春2	○	○
		GSI-12-6061-J	生物有機科学特論A	吉田久美							1	1・2年	春1	○	○
		GSI-12-6062-J	生物有機科学特論B	吉田久美							1	1・2年	春2	○	○
		GSI-12-6063-J	化学情報学特論	安田耕二	吉田久美						1	1・2年	秋1	○	○
		GSI-12-6064-J	遺伝情報システム特論1	青木拱之							1	1・2年	春1	○	○
		GSI-12-6065-J	遺伝情報システム特論2	青木拱之							1	1・2年	春2	○	○
		GSI-12-6066-J	バイオインフォマティクス特論1	太田元規							1	1・2年	春2	○	○
		GSI-12-6067-J	バイオインフォマティクス特論2	太田元規							1	1・2年	秋1	○	○
		GSI-12-6068-J	人工生命特論1	有田隆也							1	1・2年	春1	○	○
		GSI-12-6069-J	人工生命特論2	有田隆也							1	1・2年	春2	○	○
		GSI-12-6070-J	創発コンピューティング特論1	北栄輔							1	1・2年	春1	○	○
		GSI-12-6071-J	創発コンピューティング特論2	北栄輔							1	1・2年	春2	○	○
		GSI-12-6072-J	環境情報特論1	永峰康一郎							1	1・2年	秋1	○	○
		GSI-12-6073-J	環境情報特論2	永峰康一郎							1	1・2年	秋2	○	○
		GSI-12-6074-J	複雑系プログラミング特論1	鈴木麗聖							1	1・2年	春1	○	○
		GSI-12-6075-J	複雑系プログラミング特論2	鈴木麗聖							1	1・2年	春2	○	○
		GSI-12-6076-J	複雑系計算特論1	鈴木泰博							1	1・2年	春1	○	○
		GSI-12-6077-J	複雑系計算特論2	鈴木泰博							1	1・2年	春2	○	○
		GSI-12-6078-J	生体センシング特論	大岡昌博							1	1・2年	秋1	○	○
		GSI-12-6079-J	感覚情報処理特論	大岡昌博							1	1・2年	秋2	○	○
		GSI-12-6080-J	最適設計特論1	畔上秀幸							1	1・2年	春1	○	○
		GSI-12-6081-J	最適設計特論2	畔上秀幸							1	1・2年	春2	○	○
		GSI-12-6082-J	流体移動現象特論	渡邊崇							1	1・2年	春1	○	○
		GSI-12-6083-J	流体情報学特論	渡邊崇							1	1・2年	春2	○	○
		GSI-12-6084-J	可視化情報特論1	内山知実							1	1・2年	春1	○	○
		GSI-12-6085-J	可視化情報特論2	安田耕二							1	1・2年	秋2	○	○
		GSI-12-6086-J	大規模複雑系計算特論1	古賀伸明	安田耕二						1	1・2年	秋1	○	○
		GSI-12-6087-J	大規模複雑系計算特論2	長岡正隆	太田元規						1	1・2年	春2	○	○
		GSI-12-6088-J	計算科学フロンティア連続講義	計算科学フロンティア担当教員								2	1・2年	秋1～秋2	○
GSI-12-6089-J	大規模並列数値計算特論	畝山多加志	片桐孝洋	吉井範行						2	1・2年	春1～春2	○	○	
演 習	GSI-12-6090-J	複雑系科学演習a	専攻の全教員						1	1年	春1	○	○		
	GSI-12-6091-J	複雑系科学演習b	専攻の全教員						1	1年	春2	○	○		
	GSI-12-6092-J	複雑系科学演習c	専攻の全教員						1	1年	秋1	○	○		
	GSI-12-6093-J	複雑系科学演習d	専攻の全教員						1	1年	秋2	○	○		
	GSI-12-6094-J	複雑系科学演習e	専攻の全教員						1	2年	春1	○	○		
	GSI-12-6095-J	複雑系科学演習f	専攻の全教員						1	2年	春2	○	○		
	GSI-12-6096-J	複雑系科学演習g	専攻の全教員						1	2年	秋1	○	○		
	GSI-12-6097-J	複雑系科学演習h	専攻の全教員						1	2年	秋2	○	○		
実 践 的 教 育 科 目	GSI-20-6001-J	インターンシップ 1-A	枝廣正人							2	1年	通年	○	○	
	GSI-20-6002-J	インターンシップ 1-B	枝廣正人							1	1・2年	通年	○	○	
	GSI-20-6003-J	インターンシップ 1-C	枝廣正人							2	1・2年	通年	○	○	
	GSI-20-6004-J	産学連携実習A	高田広章	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮			2	1・2年	通年	○	○	
	GSI-20-6005-J	産学連携実習B	高田広章	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮			4	1・2年	通年	○	○	
他専攻科目			本研究科の他専攻の主専攻科目												
研究指導															
随意科目	講義	大学院共通科目規程に定める科目													

\*修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

複雑系科学専攻

博士後期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名						単位数	開講時期		開講年度		
											学年	クォータ	R2	R3	
共通科目	講義	GSI-00-7001-J	情報学特論Ⅱ	北栄輔						1	1年	春1	○	○	
		GSI-00-7002-J	情報倫理Ⅱ	北栄輔						1	1年	春2			
		GSI-00-7003-J	リーダーシップ特論	北栄輔						1	1年	春1			
		GSI-00-7004-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-1	武田一哉	西田直樹					1	1年	秋1	○	○	
		GSI-00-7005-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-2	武田一哉	西田直樹					1	1年	秋2	○	○	
主専攻科目	セミナー	GSI-12-7001-J	多自由度システム情報論セミナーⅡ-a	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之				1	1年	春1	○	○	
		GSI-12-7002-J	多自由度システム情報論セミナーⅡ-b	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之				1	1年	春2	○	○	
		GSI-12-7003-J	多自由度システム情報論セミナーⅡ-c	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之				1	1年	秋1	○	○	
		GSI-12-7004-J	多自由度システム情報論セミナーⅡ-d	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之				1	1年	秋2	○	○	
		GSI-12-7005-J	多自由度システム情報論セミナーⅡ-e	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之				1	2年	春1	○	○	
		GSI-12-7006-J	多自由度システム情報論セミナーⅡ-f	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之				1	2年	春2	○	○	
		GSI-12-7007-J	多自由度システム情報論セミナーⅡ-g	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之				1	2年	秋1	○	○	
		GSI-12-7008-J	多自由度システム情報論セミナーⅡ-h	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之				1	2年	秋2	○	○	
		GSI-12-7009-J	生命情報論セミナーⅡ-a	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	1年	春1	○	○
		GSI-12-7010-J	生命情報論セミナーⅡ-b	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	1年	春2	○	○
		GSI-12-7011-J	生命情報論セミナーⅡ-c	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-7012-J	生命情報論セミナーⅡ-d	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-7013-J	生命情報論セミナーⅡ-e	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	2年	春1	○	○
		GSI-12-7014-J	生命情報論セミナーⅡ-f	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	2年	春2	○	○
		GSI-12-7015-J	生命情報論セミナーⅡ-g	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-7016-J	生命情報論セミナーⅡ-h	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	2年	秋2	○	○
		GSI-12-7017-J	物質情報論セミナーⅡ-a	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	1年	春1	○	○
		GSI-12-7018-J	物質情報論セミナーⅡ-b	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	1年	春2	○	○
		GSI-12-7019-J	物質情報論セミナーⅡ-c	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-7020-J	物質情報論セミナーⅡ-d	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-7021-J	物質情報論セミナーⅡ-e	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	2年	春1	○	○
		GSI-12-7022-J	物質情報論セミナーⅡ-f	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	2年	春2	○	○
		GSI-12-7023-J	物質情報論セミナーⅡ-g	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-7024-J	物質情報論セミナーⅡ-h	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	2年	秋2	○	○
		GSI-12-7025-J	創発システム論セミナーⅡ-a	有田隆也	北栄輔	鈴木麗壘	永峰康一郎	笹原和俊			1	1年	春1	○	○
		GSI-12-7026-J	創発システム論セミナーⅡ-b	有田隆也	北栄輔	鈴木麗壘	永峰康一郎	笹原和俊			1	1年	春2	○	○
		GSI-12-7027-J	創発システム論セミナーⅡ-c	有田隆也	北栄輔	鈴木麗壘	永峰康一郎	笹原和俊			1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-7028-J	創発システム論セミナーⅡ-d	有田隆也	北栄輔	鈴木麗壘	永峰康一郎	笹原和俊			1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-7029-J	創発システム論セミナーⅡ-e	有田隆也	北栄輔	鈴木麗壘	永峰康一郎	笹原和俊			1	2年	春1	○	○
		GSI-12-7030-J	創発システム論セミナーⅡ-f	有田隆也	北栄輔	鈴木麗壘	永峰康一郎	笹原和俊			1	2年	春2	○	○
		GSI-12-7031-J	創発システム論セミナーⅡ-g	有田隆也	北栄輔	鈴木麗壘	永峰康一郎	笹原和俊			1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-7032-J	創発システム論セミナーⅡ-h	有田隆也	北栄輔	鈴木麗壘	永峰康一郎	笹原和俊			1	2年	秋2	○	○
		GSI-12-7033-J	複雑系計算論セミナーⅡ-a	大岡昌博	畔上秀幸	渡邊崇	鈴木泰博				1	1年	春1	○	○
		GSI-12-7034-J	複雑系計算論セミナーⅡ-b	大岡昌博	畔上秀幸	渡邊崇	鈴木泰博				1	1年	春2	○	○
		GSI-12-7035-J	複雑系計算論セミナーⅡ-c	大岡昌博	畔上秀幸	渡邊崇	鈴木泰博				1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-7036-J	複雑系計算論セミナーⅡ-d	大岡昌博	畔上秀幸	渡邊崇	鈴木泰博				1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-7037-J	複雑系計算論セミナーⅡ-e	大岡昌博	畔上秀幸	渡邊崇	鈴木泰博				1	2年	春1	○	○
		GSI-12-7038-J	複雑系計算論セミナーⅡ-f	大岡昌博	畔上秀幸	渡邊崇	鈴木泰博				1	2年	春2	○	○
		GSI-12-7039-J	複雑系計算論セミナーⅡ-g	大岡昌博	畔上秀幸	渡邊崇	鈴木泰博				1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-7040-J	複雑系計算論セミナーⅡ-h	大岡昌博	畔上秀幸	渡邊崇	鈴木泰博				1	2年	秋2	○	○
		GSI-12-7041-J	情報可視化論セミナーⅡ-a	内山知実	安田耕二						1	1年	春1	○	○
		GSI-12-7042-J	情報可視化論セミナーⅡ-b	内山知実	安田耕二						1	1年	春2	○	○
GSI-12-7043-J	情報可視化論セミナーⅡ-c	内山知実	安田耕二						1	1年	秋1	○	○		
GSI-12-7044-J	情報可視化論セミナーⅡ-d	内山知実	安田耕二						1	1年	秋2	○	○		
GSI-12-7045-J	情報可視化論セミナーⅡ-e	内山知実	安田耕二						1	2年	春1	○	○		
GSI-12-7046-J	情報可視化論セミナーⅡ-f	内山知実	安田耕二						1	2年	春2	○	○		
GSI-12-7047-J	情報可視化論セミナーⅡ-g	内山知実	安田耕二						1	2年	秋1	○	○		
GSI-12-7048-J	情報可視化論セミナーⅡ-h	内山知実	安田耕二						1	2年	秋2	○	○		
実践的教育科目	GSI-20-7001-J	インターンシップⅡ-A	枝廣正人						2	1・2年	通年	○	○		
	GSI-20-7002-J	インターンシップⅡ-B	枝廣正人						1	1・2・3年	通年	○	○		
	GSI-20-7003-J	インターンシップⅡ-C	枝廣正人						2	1・2・3年	通年	○	○		
	GSI-20-7004-J	★グローバルチャレンジⅡ-A	武田一哉	井手一郎					2	1・2年	通年	○			
	GSI-20-7005-J	★グローバルチャレンジⅡ-B	武田一哉	井手一郎					3	1・2年	通年	○			
	GSI-20-7006-J	★グローバルチャレンジⅡ-C	武田一哉	井手一郎					4	1・2年	通年	○			
GSI-20-7007-J	★グローバルチャレンジⅡ-D	武田一哉	井手一郎					5	1・2年	通年	○				
GSI-20-7008-J	★グローバルチャレンジⅡ-E	武田一哉	井手一郎					6	1・2年	通年	○				
研究指導															
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目												

★は「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」参加者のみ履修可

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

社会情報学専攻

博士前期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名						単位数	開講時期		開講年度		
											学年	クォータ	R2	R3	
共通科目	講義	GSI-00-5001-J	情報学特論 I	北栄輔						1	1年	春1	○	○	
		GSI-00-5003-J	情報学特別講義 I	北栄輔						2	1年	春1	○	○	
		GSI-00-5009-J	情報マネジメント特論 I	北栄輔						1	1年	春2	○	○	
		GSI-00-5004-J	実世界データ循環システム特論 I-1	武田一哉	西田直樹					1	2年	春1	○	○	
		GSI-00-5005-J	実世界データ循環システム特論 I-2	武田一哉	西田直樹					1	2年	春2	○	○	
		GSI-00-5006-J	実世界データ解析学特論	武田一哉	西田直樹				1	1年	秋1	○	○		
主専攻科目	セミナー	GSI-13-6001-J	情報哲学セミナー I-a	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子		1	1年	春1	○	○	
		GSI-13-6002-J	情報哲学セミナー I-b	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子		1	1年	春2	○	○	
		GSI-13-6003-J	情報哲学セミナー I-c	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子		1	1年	秋1	○	○	
		GSI-13-6004-J	情報哲学セミナー I-d	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子		1	1年	秋2	○	○	
		GSI-13-6005-J	情報哲学セミナー I-e	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子		1	2年	春1	○	○	
		GSI-13-6006-J	情報哲学セミナー I-f	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子		1	2年	春2	○	○	
		GSI-13-6007-J	情報哲学セミナー I-g	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子		1	2年	秋1	○	○	
		GSI-13-6008-J	情報哲学セミナー I-h	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子		1	2年	秋2	○	○	
		GSI-13-6009-J	情報社会設計論セミナー I-a	遠藤守	浦田真由	安田孝美				1	1年	春1	○	○	
		GSI-13-6010-J	情報社会設計論セミナー I-b	遠藤守	浦田真由	安田孝美				1	1年	春2	○	○	
		GSI-13-6011-J	情報社会設計論セミナー I-c	遠藤守	浦田真由	安田孝美				1	1年	秋1	○	○	
		GSI-13-6012-J	情報社会設計論セミナー I-d	遠藤守	浦田真由	安田孝美				1	1年	秋2	○	○	
		GSI-13-6013-J	情報社会設計論セミナー I-e	遠藤守	浦田真由	安田孝美				1	2年	春1	○	○	
		GSI-13-6014-J	情報社会設計論セミナー I-f	遠藤守	浦田真由	安田孝美				1	2年	春2	○	○	
	GSI-13-6015-J	情報社会設計論セミナー I-g	遠藤守	浦田真由	安田孝美				1	2年	秋1	○	○		
	GSI-13-6016-J	情報社会設計論セミナー I-h	遠藤守	浦田真由	安田孝美				1	2年	秋2	○	○		
	GSI-13-6017-J	グローバルメディア論セミナー I-a	中村登志哉	山本竜大	井原伸浩	小川明子			1	1年	春1	○	○		
	GSI-13-6018-J	グローバルメディア論セミナー I-b	中村登志哉	山本竜大	井原伸浩	小川明子			1	1年	春2	○	○		
	GSI-13-6019-J	グローバルメディア論セミナー I-c	中村登志哉	山本竜大	井原伸浩	小川明子			1	1年	秋1	○	○		
	GSI-13-6020-J	グローバルメディア論セミナー I-d	中村登志哉	山本竜大	井原伸浩	小川明子			1	1年	秋2	○	○		
	GSI-13-6021-J	グローバルメディア論セミナー I-e	中村登志哉	山本竜大	井原伸浩	小川明子			1	2年	春1	○	○		
	GSI-13-6022-J	グローバルメディア論セミナー I-f	中村登志哉	山本竜大	井原伸浩	小川明子			1	2年	春2	○	○		
	GSI-13-6023-J	グローバルメディア論セミナー I-g	中村登志哉	山本竜大	井原伸浩	小川明子			1	2年	秋1	○	○		
	GSI-13-6024-J	グローバルメディア論セミナー I-h	中村登志哉	山本竜大	井原伸浩	小川明子			1	2年	秋2	○	○		
	特論	GSI-13-6025-J	社会情報学A	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子		1	1・2年	春1	○	○	
		GSI-13-6026-J	社会情報学B	遠藤守	浦田真由	安田孝美	山本竜大	井原伸浩	小川明子	後藤明史	1	1・2年	春2	○	○
		GSI-13-6027-J	科学技術社会論特論	戸田山和久							1	1・2年	春2	○	○
		GSI-13-6028-J	道徳科学特論	久木田水生							1	1・2年	秋2	○	○
GSI-13-6029-J		芸術コミュニケーション論特論	秋庭史典							1	1・2年	秋2	○	○	
GSI-13-6030-J		社会システムデザイン論特論	安田孝美							1	1・2年	秋1	○	○	
GSI-13-6031-J		オープンデータ特論	遠藤守							1	1・2年	秋2	○	○	
GSI-13-6032-J		ソーシャルメディアと社会制度設計	浦田真由							1	1・2年	秋1	○	○	
GSI-13-6033-J		メディア制度論特論	山本竜大							1	1・2年	春2	○	○	
GSI-13-6034-J		公共性変容特論	小池直人							1	1・2年	春1	○	○	
GSI-13-6035-J		グローバル・コミュニケーション特論	中村登志哉							1	1・2年	春1	○	○	
GSI-13-6036-J		アジア・コミュニケーション特論	井原伸浩							1	1・2年	春1	○	○	
GSI-13-6037-J		メディア・リテラシー特論	小川明子							1	1・2年	秋1	○	○	
GSI-13-6038-J		メディア・コンテンツ制作特論	後藤明史							1	1・2年	秋1	○	○	
GSI-13-6039-J	文化情報学特論	新美倫子							1	1・2年	春1	○	○		
演習	GSI-13-6040-J	社会情報学演習a	専攻の全教員							1	1年	春1	○	○	
	GSI-13-6041-J	社会情報学演習b	専攻の全教員							1	1年	春2	○	○	
	GSI-13-6042-J	社会情報学演習c	専攻の全教員							1	1年	秋1	○	○	
	GSI-13-6043-J	社会情報学演習d	専攻の全教員							1	1年	秋2	○	○	
	GSI-13-6044-J	社会情報学演習e	専攻の全教員							1	2年	春1	○	○	
	GSI-13-6045-J	社会情報学演習f	専攻の全教員							1	2年	春2	○	○	
	GSI-13-6046-J	社会情報学演習g	専攻の全教員							1	2年	秋1	○	○	
	GSI-13-6047-J	社会情報学演習h	専攻の全教員							1	2年	秋2	○	○	
実践的教育科目	GSI-20-6001-J	インターンシップ I-A	枝廣正人						2	1年	通年	○	○		
	GSI-20-6002-J	インターンシップ I-B	枝廣正人						1	1・2年	通年	○	○		
	GSI-20-6003-J	インターンシップ I-C	枝廣正人						2	1・2年	通年	○	○		
	GSI-20-6004-J	産学連携実習A	高田広章	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮		2	1・2年	通年	○	○		
	GSI-20-6005-J	産学連携実習B	高田広章	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮		4	1・2年	通年	○	○		
他専攻科目			本研究科の他専攻の主専攻科目												
研究指導															
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目												

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

社会情報学専攻

博士後期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名					単位数	開講時期		開講年度	
										学年	クォータ	R2	R3
共通科目	講義	GSI-00-7001-J	情報学特論Ⅱ	北栄輔					1	1年	春1	○	○
		GSI-00-7002-J	情報倫理Ⅱ	北栄輔					1	1年	春2		
		GSI-00-7003-J	リーダーシップ特論	北栄輔					1	1年	春1		
		GSI-00-7004-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-1	武田一哉	西田直樹				1	1年	秋1	○	○
		GSI-00-7005-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-2	武田一哉	西田直樹				1	1年	秋2	○	○
主専攻科目	セミナー	GSI-13-7001-J	情報哲学セミナーⅡ-a	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子	1	1年	春1	○	○
		GSI-13-7002-J	情報哲学セミナーⅡ-b	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子	1	1年	春2	○	○
		GSI-13-7003-J	情報哲学セミナーⅡ-c	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子	1	1年	秋1	○	○
		GSI-13-7004-J	情報哲学セミナーⅡ-d	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子	1	1年	秋2	○	○
		GSI-13-7005-J	情報哲学セミナーⅡ-e	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子	1	2年	春1	○	○
		GSI-13-7006-J	情報哲学セミナーⅡ-f	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子	1	2年	春2	○	○
		GSI-13-7007-J	情報哲学セミナーⅡ-g	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子	1	2年	秋1	○	○
		GSI-13-7008-J	情報哲学セミナーⅡ-h	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子	1	2年	秋2	○	○
		GSI-13-7009-J	情報社会設計論セミナーⅡ-a	遠藤守	浦田真由	安田孝美			1	1年	春1	○	○
		GSI-13-7010-J	情報社会設計論セミナーⅡ-b	遠藤守	浦田真由	安田孝美			1	1年	春2	○	○
		GSI-13-7011-J	情報社会設計論セミナーⅡ-c	遠藤守	浦田真由	安田孝美			1	1年	秋1	○	○
		GSI-13-7012-J	情報社会設計論セミナーⅡ-d	遠藤守	浦田真由	安田孝美			1	1年	秋2	○	○
		GSI-13-7013-J	情報社会設計論セミナーⅡ-e	遠藤守	浦田真由	安田孝美			1	2年	春1	○	○
		GSI-13-7014-J	情報社会設計論セミナーⅡ-f	遠藤守	浦田真由	安田孝美			1	2年	春2	○	○
		GSI-13-7015-J	情報社会設計論セミナーⅡ-g	遠藤守	浦田真由	安田孝美			1	2年	秋1	○	○
		GSI-13-7016-J	情報社会設計論セミナーⅡ-h	遠藤守	浦田真由	安田孝美			1	2年	秋2	○	○
		GSI-13-7017-J	グローバルメディア論セミナーⅡ-a	中村登志哉	山本竜大	井原伸浩	小川明子		1	1年	春1	○	○
		GSI-13-7018-J	グローバルメディア論セミナーⅡ-b	中村登志哉	山本竜大	井原伸浩	小川明子		1	1年	春2	○	○
		GSI-13-7019-J	グローバルメディア論セミナーⅡ-c	中村登志哉	山本竜大	井原伸浩	小川明子		1	1年	秋1	○	○
		GSI-13-7020-J	グローバルメディア論セミナーⅡ-d	中村登志哉	山本竜大	井原伸浩	小川明子		1	1年	秋2	○	○
GSI-13-7021-J	グローバルメディア論セミナーⅡ-e	中村登志哉	山本竜大	井原伸浩	小川明子		1	2年	春1	○	○		
GSI-13-7022-J	グローバルメディア論セミナーⅡ-f	中村登志哉	山本竜大	井原伸浩	小川明子		1	2年	春2	○	○		
GSI-13-7023-J	グローバルメディア論セミナーⅡ-g	中村登志哉	山本竜大	井原伸浩	小川明子		1	2年	秋1	○	○		
GSI-13-7024-J	グローバルメディア論セミナーⅡ-h	中村登志哉	山本竜大	井原伸浩	小川明子		1	2年	秋2	○	○		
実践的教育科目		GSI-20-7001-J	インターンシップⅡ-A	枝廣正人					2	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-7002-J	インターンシップⅡ-B	枝廣正人					1	1・2・3年	通年	○	○
		GSI-20-7003-J	インターンシップⅡ-C	枝廣正人					2	1・2・3年	通年	○	○
		GSI-20-7004-J	★グローバルチャレンジⅡ-A	武田一哉	井手一郎				2	1・2年	通年	○	
		GSI-20-7005-J	★グローバルチャレンジⅡ-B	武田一哉	井手一郎				3	1・2年	通年	○	
		GSI-20-7006-J	★グローバルチャレンジⅡ-C	武田一哉	井手一郎				4	1・2年	通年	○	
		GSI-20-7007-J	★グローバルチャレンジⅡ-D	武田一哉	井手一郎				5	1・2年	通年	○	
GSI-20-7008-J	★グローバルチャレンジⅡ-E	武田一哉	井手一郎				6	1・2年	通年	○			
研究指導													
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目										

★は「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」参加者のみ履修可

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

心理・認知科学専攻

博士前期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名						単位数	開講時期		開講年度				
											学年	クォータ	R2	R3			
共通科目	講義	GSI-00-5001-J	情報学特論 I	北栄輔						1	1年	春1	○	○			
		GSI-00-5003-J	情報学特別講義 I	北栄輔						2	1年	春1	○	○			
		GSI-00-5009-J	情報マネジメント特論 I	北栄輔						1	1年	春2	○	○			
		GSI-00-5004-J	実世界データ循環システム特論 I-1	武田一哉	西田直樹						1	2年	春1	○	○		
		GSI-00-5005-J	実世界データ循環システム特論 I-2	武田一哉	西田直樹						1	2年	春2	○	○		
		GSI-00-5006-J	実世界データ解析学特論	武田一哉	西田直樹						1	1年	秋1	○	○		
主専攻科目	セミナー	GSI-14-6001-J	認知科学セミナー I-a	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生				1	1年	春1	○	○		
		GSI-14-6002-J	認知科学セミナー I-b	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生				1	1年	春2	○	○		
		GSI-14-6003-J	認知科学セミナー I-c	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生				1	1年	秋1	○	○		
		GSI-14-6004-J	認知科学セミナー I-d	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生				1	1年	秋2	○	○		
		GSI-14-6005-J	認知科学セミナー I-e	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生				1	2年	春1	○	○		
		GSI-14-6006-J	認知科学セミナー I-f	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生				1	2年	春2	○	○		
		GSI-14-6007-J	認知科学セミナー I-g	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生				1	2年	秋1	○	○		
		GSI-14-6008-J	認知科学セミナー I-h	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生				1	2年	秋2	○	○		
		GSI-14-6009-J	心理学セミナー I-a	唐沢穰	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子	平井真洋	1	1年	春1	○	○		
		GSI-14-6010-J	心理学セミナー I-b	唐沢穰	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子	平井真洋	1	1年	春2	○	○		
		GSI-14-6011-J	心理学セミナー I-c	唐沢穰	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子	平井真洋	1	1年	秋1	○	○		
		GSI-14-6012-J	心理学セミナー I-d	唐沢穰	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子	平井真洋	1	1年	秋2	○	○		
		GSI-14-6013-J	心理学セミナー I-e	唐沢穰	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子	平井真洋	1	2年	春1	○	○		
		GSI-14-6014-J	心理学セミナー I-f	唐沢穰	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子	平井真洋	1	2年	春2	○	○		
		GSI-14-6015-J	心理学セミナー I-g	唐沢穰	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子	平井真洋	1	2年	秋1	○	○		
		GSI-14-6016-J	心理学セミナー I-h	唐沢穰	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子	平井真洋	1	2年	秋2	○	○		
		主専攻科目	特論	GSI-14-6017-J	情報意味論	三輪和久	川合伸幸	齋藤洋典(非)					1	1・2年	春2	○	○
				GSI-14-6018-J	認知モデル論	三輪和久							1	1・2年	春1	○	○
				GSI-14-6019-J	認知行動論	川合伸幸							1	1・2年	秋2	○	○
				GSI-14-6020-J	認知心理学A	川口潤(非)							1	1・2年	集中	○	○
GSI-14-6021-J	認知心理学B			北神慎司	石井敬子						1	1・2年	春2	○	○		
GSI-14-6022-J	社会的認知論A			唐沢穰							1	1・2年	秋1	○	○		
GSI-14-6023-J	社会的認知論B			石井敬子							1	1・2年	春2	○	○		
GSI-14-6024-J	社会・感情過程論			平井真洋							1	1・2年	春1	○	○		
GSI-14-6025-J	認知神経科学A			大平英樹							1	1・2年	秋1	○	○		
GSI-14-6026-J	認知神経科学B			田邊宏樹							1	1・2年	春1	○	○		
主専攻科目	演習	GSI-14-6027-J	知覚・学習機構論A	清水裕士(非)							1	1・2年	集中	○	未定		
		GSI-14-6028-J	知覚・学習機構論B	片平健太郎							1	1・2年	秋1	○	○		
		GSI-14-6029-J	心理・認知科学演習a	専攻の全教員							1	1年	春1	○	○		
		GSI-14-6030-J	心理・認知科学演習b	専攻の全教員							1	1年	春2	○	○		
		GSI-14-6031-J	心理・認知科学演習c	専攻の全教員							1	1年	秋1	○	○		
		GSI-14-6032-J	心理・認知科学演習d	専攻の全教員							1	1年	秋2	○	○		
		GSI-14-6033-J	心理・認知科学演習e	専攻の全教員							1	2年	春1	○	○		
		GSI-14-6034-J	心理・認知科学演習f	専攻の全教員							1	2年	春2	○	○		
実践的教育科目	講義	GSI-20-6001-J	インターンシップ I-A	枝廣正人							2	1年	通年	○	○		
		GSI-20-6002-J	インターンシップ I-B	枝廣正人							1	1・2年	通年	○	○		
		GSI-20-6003-J	インターンシップ I-C	枝廣正人							2	1・2年	通年	○	○		
		GSI-20-6004-J	産学連携実習A	高田広章	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮			2	1・2年	通年	○	○		
		GSI-20-6005-J	産学連携実習B	高田広章	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮			4	1・2年	通年	○	○		
他専攻科目				本研究科の他専攻の主専攻科目													
研究指導																	
随意科目	講義	大学院共通科目規程に定める科目															

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

心理・認知科学専攻

博士後期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名						単位数	開講時期		開講年度		
											学年	クォータ	R2	R3	
共通科目	講義	GSI-00-7001-J	情報学特論Ⅱ	北栄輔						1	1年	春1	○	○	
		GSI-00-7002-J	情報倫理Ⅱ	北栄輔						1	1年	春2			
		GSI-00-7003-J	リーダーシップ特論	北栄輔							1	1年	春1		
		GSI-00-7004-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-1	武田一哉	西田直樹						1	1年	秋1	○	○
		GSI-00-7005-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-2	武田一哉	西田直樹						1	1年	秋2	○	○
主専攻科目	セミナー	GSI-14-7001-J	認知科学セミナーⅡ-a	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生			1	1年	春1	○	○	
		GSI-14-7002-J	認知科学セミナーⅡ-b	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生			1	1年	春2	○	○	
		GSI-14-7003-J	認知科学セミナーⅡ-c	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生			1	1年	秋1	○	○	
		GSI-14-7004-J	認知科学セミナーⅡ-d	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生			1	1年	秋2	○	○	
		GSI-14-7005-J	認知科学セミナーⅡ-e	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生			1	2年	春1	○	○	
		GSI-14-7006-J	認知科学セミナーⅡ-f	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生			1	2年	春2	○	○	
		GSI-14-7007-J	認知科学セミナーⅡ-g	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生			1	2年	秋1	○	○	
		GSI-14-7008-J	認知科学セミナーⅡ-h	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生			1	2年	秋2	○	○	
		GSI-14-7009-J	心理学セミナーⅡ-a	唐沢穰	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子	平井真洋	1	1年	春1	○	○
		GSI-14-7010-J	心理学セミナーⅡ-b	唐沢穰	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子	平井真洋	1	1年	春2	○	○
		GSI-14-7011-J	心理学セミナーⅡ-c	唐沢穰	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子	平井真洋	1	1年	秋1	○	○
		GSI-14-7012-J	心理学セミナーⅡ-d	唐沢穰	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子	平井真洋	1	1年	秋2	○	○
		GSI-14-7013-J	心理学セミナーⅡ-e	唐沢穰	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子	平井真洋	1	2年	春1	○	○
		GSI-14-7014-J	心理学セミナーⅡ-f	唐沢穰	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子	平井真洋	1	2年	春2	○	○
		GSI-14-7015-J	心理学セミナーⅡ-g	唐沢穰	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子	平井真洋	1	2年	秋1	○	○
		GSI-14-7016-J	心理学セミナーⅡ-h	唐沢穰	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子	平井真洋	1	2年	秋2	○	○
実践的教育科目		GSI-20-7001-J	インターンシップⅡ-A	枝廣正人						2	1・2年	通年	○	○	
		GSI-20-7002-J	インターンシップⅡ-B	枝廣正人						1	1・2・3年	通年	○	○	
		GSI-20-7003-J	インターンシップⅡ-C	枝廣正人						2	1・2年	通年	○	○	
		GSI-20-7004-J	★グローバルチャレンジⅡ-A	武田一哉	井手一郎						2	1・2年	通年	○	
		GSI-20-7005-J	★グローバルチャレンジⅡ-B	武田一哉	井手一郎						3	1・2年	通年	○	
		GSI-20-7006-J	★グローバルチャレンジⅡ-C	武田一哉	井手一郎						4	1・2年	通年	○	
		GSI-20-7007-J	★グローバルチャレンジⅡ-D	武田一哉	井手一郎						5	1・2年	通年	○	
GSI-20-7008-J	★グローバルチャレンジⅡ-E	武田一哉	井手一郎						6	1・2年	通年	○			
研究指導															
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目												

★は「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」参加者のみ履修可

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

情報システム学専攻

博士前期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名										単位数	開講時期		開講年度	
				学年	クォータ	R2	R3											
共通科目	講義	GSI-00-5001-J	情報学特論 I	北条輔									1	1年	春1	○	○	
		GSI-00-5003-J	情報学特別講義 I	北条輔									2	1年	春1	○	○	
		GSI-00-5009-J	情報マネジメント特論 I	北条輔									1	1年	春2	○	○	
		GSI-00-5004-J	実世界データ循環システム特論 I-1	武田一哉	西田直樹									1	2年	春1	○	○
		GSI-00-5005-J	実世界データ循環システム特論 I-2	武田一哉	西田直樹									1	2年	春2	○	○
		GSI-00-5006-J	実世界データ解析学特論	武田一哉	西田直樹									1	1年	秋1	○	○
主専攻科目	セミナー	GSI-15-6001-J	計算論セミナー I-a	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二						1	1年	春1	○	○	
		GSI-15-6002-J	計算論セミナー I-b	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二						1	1年	春2	○	○	
		GSI-15-6003-J	計算論セミナー I-c	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二						1	1年	秋1	○	○	
		GSI-15-6004-J	計算論セミナー I-d	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二						1	1年	秋2	○	○	
		GSI-15-6005-J	計算論セミナー I-e	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二						1	2年	春1	○	○	
		GSI-15-6006-J	計算論セミナー I-f	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二						1	2年	春2	○	○	
		GSI-15-6007-J	計算論セミナー I-g	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二						1	2年	秋1	○	○	
		GSI-15-6008-J	計算論セミナー I-h	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二						1	2年	秋2	○	○	
		GSI-15-6009-J	情報プラットフォーム論セミナー I-a	枝廣正人	高田広章	石原亨	吉田則裕	松原豊	渡邊陽介	倉地亮	山本雅基	大谷寿賀子	大山博司	1	1年	春1	○	○
		GSI-15-6010-J	情報プラットフォーム論セミナー I-b	枝廣正人	高田広章	石原亨	吉田則裕	松原豊	渡邊陽介	倉地亮	山本雅基	大谷寿賀子	大山博司	1	1年	春2	○	○
		GSI-15-6011-J	情報プラットフォーム論セミナー I-c	枝廣正人	高田広章	石原亨	吉田則裕	松原豊	渡邊陽介	倉地亮	山本雅基	大谷寿賀子	大山博司	1	1年	秋1	○	○
		GSI-15-6012-J	情報プラットフォーム論セミナー I-d	枝廣正人	高田広章	石原亨	吉田則裕	松原豊	渡邊陽介	倉地亮	山本雅基	大谷寿賀子	大山博司	1	1年	秋2	○	○
		GSI-15-6013-J	情報プラットフォーム論セミナー I-e	枝廣正人	高田広章	石原亨	吉田則裕	松原豊	渡邊陽介	倉地亮	山本雅基	大谷寿賀子	大山博司	1	2年	春1	○	○
		GSI-15-6014-J	情報プラットフォーム論セミナー I-f	枝廣正人	高田広章	石原亨	吉田則裕	松原豊	渡邊陽介	倉地亮	山本雅基	大谷寿賀子	大山博司	1	2年	春2	○	○
		GSI-15-6015-J	情報プラットフォーム論セミナー I-g	枝廣正人	高田広章	石原亨	吉田則裕	松原豊	渡邊陽介	倉地亮	山本雅基	大谷寿賀子	大山博司	1	2年	秋1	○	○
		GSI-15-6016-J	情報プラットフォーム論セミナー I-h	枝廣正人	高田広章	石原亨	吉田則裕	松原豊	渡邊陽介	倉地亮	山本雅基	大谷寿賀子	大山博司	1	2年	秋2	○	○
		GSI-15-6017-J	ソフトウェア論セミナー I-a	関浩之	結縁祥治	楢勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅					1	1年	春1	○	○
		GSI-15-6018-J	ソフトウェア論セミナー I-b	関浩之	結縁祥治	楢勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅					1	1年	春2	○	○
		GSI-15-6019-J	ソフトウェア論セミナー I-c	関浩之	結縁祥治	楢勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅					1	1年	秋1	○	○
		GSI-15-6020-J	ソフトウェア論セミナー I-d	関浩之	結縁祥治	楢勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅					1	1年	秋2	○	○
		GSI-15-6021-J	ソフトウェア論セミナー I-e	関浩之	結縁祥治	楢勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅					1	2年	春1	○	○
		GSI-15-6022-J	ソフトウェア論セミナー I-f	関浩之	結縁祥治	楢勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅					1	2年	春2	○	○
		GSI-15-6023-J	ソフトウェア論セミナー I-g	関浩之	結縁祥治	楢勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅					1	2年	秋1	○	○
		GSI-15-6024-J	ソフトウェア論セミナー I-h	関浩之	結縁祥治	楢勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅					1	2年	秋2	○	○
		GSI-15-6025-J	情報ネットワークシステム論セミナー I-a	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	大島聡史	田所幸治						1	1年	春1	○	○
		GSI-15-6026-J	情報ネットワークシステム論セミナー I-b	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	大島聡史	田所幸治						1	1年	春2	○	○
		GSI-15-6027-J	情報ネットワークシステム論セミナー I-c	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	大島聡史	田所幸治						1	1年	秋1	○	○
		GSI-15-6028-J	情報ネットワークシステム論セミナー I-d	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	大島聡史	田所幸治						1	1年	秋2	○	○
		GSI-15-6029-J	情報ネットワークシステム論セミナー I-e	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	大島聡史	田所幸治						1	2年	春1	○	○
		GSI-15-6030-J	情報ネットワークシステム論セミナー I-f	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	大島聡史	田所幸治						1	2年	春2	○	○
		GSI-15-6031-J	情報ネットワークシステム論セミナー I-g	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	大島聡史	田所幸治						1	2年	秋1	○	○
		GSI-15-6032-J	情報ネットワークシステム論セミナー I-h	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	大島聡史	田所幸治						1	2年	秋2	○	○
		特論	GSI-15-6056-J	*計算論基礎特論A	酒井正彦	西田直樹								1	1-2年	春1	○	○
			GSI-15-6057-J	*計算論基礎特論B	番原睦則									1	1-2年	春2	○	○
			GSI-15-6035-J	*システムプログラム特論A	高田広章									1	1-2年	春1	○	○
			GSI-15-6036-J	*システムプログラム特論B	高田広章									1	1-2年	春2	○	○
			GSI-15-6047-J	*計算機アーキテクチャ特論A	枝廣正人	石原亨								1	1-2年	秋1	○	○
			GSI-15-6048-J	*計算機アーキテクチャ特論B	石原亨	枝廣正人								1	1-2年	秋2	○	○
			GSI-15-6041-J	*ソフトウェア基礎論特論A	関浩之									1	1-2年	秋1	○	○
			GSI-15-6042-J	*ソフトウェア基礎論特論B	結縁祥治									1	1-2年	秋2	○	○
			GSI-15-6043-J	*ソフトウェア工学特論A	森崎修司									1	1-2年	春1	○	○
			GSI-15-6044-J	*ソフトウェア工学特論B	森崎修司									1	1-2年	春2	○	○
GSI-15-6049-J	*大規模計算特論A		片桐孝洋	大島聡史								1	1-2年	春1	○	○		
GSI-15-6050-J	*大規模計算特論B		大島聡史	片桐孝洋								1	1-2年	春2	○	○		
GSI-15-6037-J	*情報ネットワーク特論A		村瀬勉	嶋田創								1	1-2年	春1	○	○		
GSI-15-6038-J	*情報ネットワーク特論B		村瀬勉	嶋田創								1	1-2年	春2	○	○		
GSI-15-6033-J	情報セキュリティ特論1		松原豊	嶋田創	倉地亮							1	1-2年	秋1	○	○		
GSI-15-6034-J	情報セキュリティ特論2		松原豊	嶋田創	倉地亮							1	1-2年	秋2	○	○		
GSI-15-6039-J	プログラミング言語特論1		中澤巧爾									1	1-2年	春1	○	○		
GSI-15-6040-J	プログラミング言語特論2		中澤巧爾									1	1-2年	春2	○	○		
GSI-15-6045-J	情報システム開発実践特論1		大谷寿賀子	大山博司	田所幸治							1	1-2年	春1	○	○		
GSI-15-6046-J	情報システム開発実践特論2		非常勤講師									1	1-2年	春2	○	○		
GSI-15-6051-J	並行分散計算特論1		結縁祥治									1	1-2年	秋1	○	○		
GSI-15-6052-J	並行分散計算特論2		結縁祥治									1	1-2年	秋2	○	○		
GSI-15-6053-J	オートマトン・形式言語特論		酒井正彦									1	1-2年	秋1	○	○		
GSI-15-6054-J	計算モデル特論		西田直樹									1	1-2年	秋2	○	○		
GSI-15-6055-J	知識表現・推論特論1	番原睦則									1	1-2年	秋1	○	○			
GSI-15-6058-J	知識表現・推論特論2	番原睦則									1	1-2年	秋2	○	○			
GSI-15-6067-J	暗号学特論	楢勇一									1	1-2年	春2	○	○			

情報システム学専攻

博士前期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名							単位数	開講時期		開講年度		
												学年	クォータ	R2	R3	
主専攻科目	演習	GSI-15-6059-J	情報システム学演習a	専攻の全教員							1	1年	春1	○	○	
		GSI-15-6060-J	情報システム学演習b	専攻の全教員							1	1年	春2	○	○	
		GSI-15-6061-J	情報システム学演習c	専攻の全教員							1	1年	秋1	○	○	
		GSI-15-6062-J	情報システム学演習d	専攻の全教員							1	1年	秋2	○	○	
		GSI-15-6063-J	情報システム学演習e	専攻の全教員							1	2年	春1	○	○	
		GSI-15-6064-J	情報システム学演習f	専攻の全教員							1	2年	春2	○	○	
		GSI-15-6065-J	情報システム学演習g	専攻の全教員							1	2年	秋1	○	○	
		GSI-15-6066-J	情報システム学演習h	専攻の全教員							1	2年	秋2	○	○	
実践的教育科目		GSI-20-6001-J	インターンシップ I-A	枝廣正人								2	1年	通年	○	○
		GSI-20-6002-J	インターンシップ I-B	枝廣正人								1	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6003-J	インターンシップ I-C	枝廣正人								2	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6004-J	産学連携実習A	高田広章	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮				2	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6005-J	産学連携実習B	高田広章	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮				4	1・2年	通年	○	○
他専攻科目				本研究科の他専攻の主専攻科目												
研究指導																
随意科目	講義	大学院共通科目規程に定める科目														

\*は選択必修科目、選択必修科目から8単位以上を履修すること。

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

情報システム学専攻

博士後期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名										単位数	開講時期		開講年度						
				学年	クォータ	R2	R3																
共通科目	講義	GSI-00-7001-J	情報学特論Ⅱ	北栄輔											1	1年	春1	○	○				
		GSI-00-7002-J	情報倫理Ⅱ	北栄輔											1	1年	春2						
		GSI-00-7003-J	リーダーシップ特論	北栄輔											1	1年	春1						
		GSI-00-7004-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-1	武田一哉	西田直樹										1	1年	秋1	○	○				
		GSI-00-7005-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-2	武田一哉	西田直樹										1	1年	秋2	○	○				
主専攻科目	セミナー	GSI-15-7001-J	計算論セミナーⅡ-a	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二								1	1年	春1	○	○				
		GSI-15-7002-J	計算論セミナーⅡ-b	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二								1	1年	春2	○	○				
		GSI-15-7003-J	計算論セミナーⅡ-c	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二								1	1年	秋1	○	○				
		GSI-15-7004-J	計算論セミナーⅡ-d	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二								1	1年	秋2	○	○				
		GSI-15-7005-J	計算論セミナーⅡ-e	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二								1	2年	春1	○	○				
		GSI-15-7006-J	計算論セミナーⅡ-f	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二								1	2年	春2	○	○				
		GSI-15-7007-J	計算論セミナーⅡ-g	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二								1	2年	秋1	○	○				
		GSI-15-7008-J	計算論セミナーⅡ-h	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二								1	2年	秋2	○	○				
		GSI-15-7009-J	情報プラットフォーム論セミナーⅡ-a	枝廣正人	高田広章	石原亨	吉田則裕	松原豊	渡邊陽介	倉地亮	山本雅基	大谷寿賀子	大山博司			1	1年	春1	○	○			
		GSI-15-7010-J	情報プラットフォーム論セミナーⅡ-b	枝廣正人	高田広章	石原亨	吉田則裕	松原豊	渡邊陽介	倉地亮	山本雅基	大谷寿賀子	大山博司			1	1年	春2	○	○			
		GSI-15-7011-J	情報プラットフォーム論セミナーⅡ-c	枝廣正人	高田広章	石原亨	吉田則裕	松原豊	渡邊陽介	倉地亮	山本雅基	大谷寿賀子	大山博司			1	1年	秋1	○	○			
		GSI-15-7012-J	情報プラットフォーム論セミナーⅡ-d	枝廣正人	高田広章	石原亨	吉田則裕	松原豊	渡邊陽介	倉地亮	山本雅基	大谷寿賀子	大山博司			1	1年	秋2	○	○			
		GSI-15-7013-J	情報プラットフォーム論セミナーⅡ-e	枝廣正人	高田広章	石原亨	吉田則裕	松原豊	渡邊陽介	倉地亮	山本雅基	大谷寿賀子	大山博司			1	2年	春1	○	○			
		GSI-15-7014-J	情報プラットフォーム論セミナーⅡ-f	枝廣正人	高田広章	石原亨	吉田則裕	松原豊	渡邊陽介	倉地亮	山本雅基	大谷寿賀子	大山博司			1	2年	春2	○	○			
		GSI-15-7015-J	情報プラットフォーム論セミナーⅡ-g	枝廣正人	高田広章	石原亨	吉田則裕	松原豊	渡邊陽介	倉地亮	山本雅基	大谷寿賀子	大山博司			1	2年	秋1	○	○			
		GSI-15-7016-J	情報プラットフォーム論セミナーⅡ-h	枝廣正人	高田広章	石原亨	吉田則裕	松原豊	渡邊陽介	倉地亮	山本雅基	大谷寿賀子	大山博司			1	2年	秋2	○	○			
		GSI-15-7017-J	ソフトウェア論セミナーⅡ-a	関浩之	結縁祥治	楢勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅							1	1年	春1	○	○			
		GSI-15-7018-J	ソフトウェア論セミナーⅡ-b	関浩之	結縁祥治	楢勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅							1	1年	春2	○	○			
		GSI-15-7019-J	ソフトウェア論セミナーⅡ-c	関浩之	結縁祥治	楢勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅							1	1年	秋1	○	○			
		GSI-15-7020-J	ソフトウェア論セミナーⅡ-d	関浩之	結縁祥治	楢勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅							1	1年	秋2	○	○			
		GSI-15-7021-J	ソフトウェア論セミナーⅡ-e	関浩之	結縁祥治	楢勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅							1	2年	春1	○	○			
		GSI-15-7022-J	ソフトウェア論セミナーⅡ-f	関浩之	結縁祥治	楢勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅							1	2年	春2	○	○			
		GSI-15-7023-J	ソフトウェア論セミナーⅡ-g	関浩之	結縁祥治	楢勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅							1	2年	秋1	○	○			
		GSI-15-7024-J	ソフトウェア論セミナーⅡ-h	関浩之	結縁祥治	楢勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅							1	2年	秋2	○	○			
		GSI-15-7025-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅡ-a	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	大島聡史	田所幸治								1	1年	春1	○	○			
		GSI-15-7026-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅡ-b	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	大島聡史	田所幸治								1	1年	春2	○	○			
		GSI-15-7027-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅡ-c	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	大島聡史	田所幸治								1	1年	秋1	○	○			
		GSI-15-7028-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅡ-d	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	大島聡史	田所幸治								1	1年	秋2	○	○			
		GSI-15-7029-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅡ-e	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	大島聡史	田所幸治								1	2年	春1	○	○			
		GSI-15-7030-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅡ-f	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	大島聡史	田所幸治								1	2年	春2	○	○			
		GSI-15-7031-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅡ-g	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	大島聡史	田所幸治								1	2年	秋1	○	○			
		GSI-15-7032-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅡ-h	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	大島聡史	田所幸治								1	2年	秋2	○	○			
実践的教育科目	講義	GSI-20-7001-J	インターンシップⅡ-A	枝廣正人											2	1・2年	通年	○	○				
		GSI-20-7002-J	インターンシップⅡ-B	枝廣正人											1	1・2・3年	通年	○	○				
		GSI-20-7003-J	インターンシップⅡ-C	枝廣正人											2	1・2・3年	通年	○	○				
		GSI-20-7004-J	★グローバルチャレンジⅡ-A	武田一哉	井手一郎											2	1・2年	通年	○				
		GSI-20-7005-J	★グローバルチャレンジⅡ-B	武田一哉	井手一郎											3	1・2年	通年	○				
		GSI-20-7006-J	★グローバルチャレンジⅡ-C	武田一哉	井手一郎											4	1・2年	通年	○				
		GSI-20-7007-J	★グローバルチャレンジⅡ-D	武田一哉	井手一郎											5	1・2年	通年	○				
GSI-20-7008-J	★グローバルチャレンジⅡ-E	武田一哉	井手一郎											6	1・2年	通年	○						
研究指導																							
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目																				

★は「実世界データ循環システムリーダー人材養成プログラム」参加者のみ履修可

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

知能システム学専攻

博士前期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名																単位数	開講時期		開講年度			
				学年	クォータ	R2	R3																			
共通科目	講義	GSI-00-5001-J	情報学特論1	北栄輔															1	1年	春1	○	○			
		GSI-00-5003-J	情報学特別講義1	北栄輔															2	1年	春1	○	○			
		GSI-00-5009-J	情報マネジメント特論1	北栄輔															1	1年	春2	○	○			
		GSI-00-5004-J	実世界データ循環システム特論1-1	武田一哉	西田直樹														1	2年	春1	○	○			
		GSI-00-5005-J	実世界データ循環システム特論1-2	武田一哉	西田直樹														1	2年	春2	○	○			
		GSI-00-5006-J	実世界データ解析学特論	武田一哉	西田直樹														1	1年	秋1	○	○			
主専攻科目	セミナー	GSI-16-6001-J	基盤知能情報学セミナー1-a	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二郎	出口大輔	川西康友	非常勤講師							1	1年	春1	○	○				
		GSI-16-6002-J	基盤知能情報学セミナー1-b	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二郎	出口大輔	川西康友	非常勤講師							1	1年	春2	○	○				
		GSI-16-6003-J	基盤知能情報学セミナー1-c	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二郎	出口大輔	川西康友	非常勤講師							1	1年	秋1	○	○				
		GSI-16-6004-J	基盤知能情報学セミナー1-d	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二郎	出口大輔	川西康友	非常勤講師							1	1年	秋2	○	○				
		GSI-16-6005-J	基盤知能情報学セミナー1-e	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二郎	出口大輔	川西康友	非常勤講師							1	2年	春1	○	○				
		GSI-16-6006-J	基盤知能情報学セミナー1-f	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二郎	出口大輔	川西康友	非常勤講師							1	2年	春2	○	○				
		GSI-16-6007-J	基盤知能情報学セミナー1-g	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二郎	出口大輔	川西康友	非常勤講師							1	2年	秋1	○	○				
		GSI-16-6008-J	基盤知能情報学セミナー1-h	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二郎	出口大輔	川西康友	非常勤講師							1	2年	秋2	○	○				
		GSI-16-6009-J	システム知能情報学セミナー1-a	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕						1	1年	春1	○	○			
		GSI-16-6010-J	システム知能情報学セミナー1-b	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕						1	1年	春2	○	○			
		GSI-16-6011-J	システム知能情報学セミナー1-c	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕						1	1年	秋1	○	○			
		GSI-16-6012-J	システム知能情報学セミナー1-d	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕						1	1年	秋2	○	○			
		GSI-16-6013-J	システム知能情報学セミナー1-e	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕						1	2年	春1	○	○			
		GSI-16-6014-J	システム知能情報学セミナー1-f	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕						1	2年	春2	○	○			
		GSI-16-6015-J	システム知能情報学セミナー1-g	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕						1	2年	秋1	○	○			
		GSI-16-6016-J	システム知能情報学セミナー1-h	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕						1	2年	秋2	○	○			
		GSI-16-6017-J	フィールド知能情報学セミナー1-a	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	東中竜一郎	大平茂輝	榎堀優									1	1年	春1	○	○				
		GSI-16-6018-J	フィールド知能情報学セミナー1-b	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	東中竜一郎	大平茂輝	榎堀優									1	1年	春2	○	○				
		GSI-16-6019-J	フィールド知能情報学セミナー1-c	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	東中竜一郎	大平茂輝	榎堀優									1	1年	秋1	○	○				
		GSI-16-6020-J	フィールド知能情報学セミナー1-d	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	東中竜一郎	大平茂輝	榎堀優									1	1年	秋2	○	○				
		GSI-16-6021-J	フィールド知能情報学セミナー1-e	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	東中竜一郎	大平茂輝	榎堀優									1	2年	春1	○	○				
		GSI-16-6022-J	フィールド知能情報学セミナー1-f	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	東中竜一郎	大平茂輝	榎堀優									1	2年	春2	○	○				
		GSI-16-6023-J	フィールド知能情報学セミナー1-g	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	東中竜一郎	大平茂輝	榎堀優									1	2年	秋1	○	○				
		GSI-16-6024-J	フィールド知能情報学セミナー1-h	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	東中竜一郎	大平茂輝	榎堀優									1	2年	秋2	○	○				
主専攻科目	論文	GSI-16-6025-J	データアナリティクス1	石川佳治	武田浩一	笹野遼平											1	1・2年	春1	○	○					
		GSI-16-6026-J	データアナリティクス2	石川佳治	武田浩一	笹野遼平											1	1・2年	春2	○	○					
		GSI-16-6027-J	画像映像情報処理1	村瀬洋	森健策												1	1・2年	秋1	○	○					
		GSI-16-6028-J	画像映像情報処理2	村瀬洋	森健策												1	1・2年	秋2	○	○					
		GSI-16-6029-J	音声行動情報処理1	武田一哉	戸田智基	竹内栄二郎											1	1・2年	春1	○	○					
		GSI-16-6030-J	音声行動情報処理2	武田一哉	戸田智基	竹内栄二郎											1	1・2年	春2	○	○					
		GSI-16-6031-J	自然言語処理1	外山勝彦	小川泰弘												1	1・2年	秋1	○	○					
		GSI-16-6032-J	自然言語処理2	外山勝彦	小川泰弘												1	1・2年	秋2	○	○					
		GSI-16-6033-J	人工知能システム1	長尾確	武田浩一	出口大輔	笹野遼平										1	1・2年	春1	○	○					
		GSI-16-6034-J	人工知能システム2	長尾確	武田浩一	出口大輔	笹野遼平										1	1・2年	春2	○	○					
		GSI-16-6035-J	マルチメディア情報処理1	井手一郎	松原茂樹												1	1・2年	秋1	○	○					
		GSI-16-6036-J	マルチメディア情報処理2	井手一郎	松原茂樹												1	1・2年	秋2	○	○					
		GSI-16-6037-J	知的インタフェース1	間瀬健二	工藤博章												1	1・2年	春1	○	○					
		GSI-16-6038-J	知的インタフェース2	間瀬健二	工藤博章												1	1・2年	春2	○	○					
		GSI-16-6039-J	知能ロボティクス1	長尾確	間瀬健二	竹内栄二郎											1	1・2年	秋1	○	○					
		GSI-16-6040-J	知能ロボティクス2	長尾確	間瀬健二	竹内栄二郎											1	1・2年	秋2	○	○					
		GSI-16-6041-J	知能システムA1	森健策	武田浩一	戸田智基	工藤博章	笹野遼平									1	1・2年	春1	○	○					
		GSI-16-6042-J	知能システムA2	森健策	武田浩一	戸田智基	工藤博章	笹野遼平									1	1・2年	春2	○	○					
		GSI-16-6043-J	知能システムB1	村瀬洋	武田一哉	竹内栄二郎											1	1・2年	秋1	○	○					
		GSI-16-6044-J	知能システムB2	村瀬洋	武田一哉	竹内栄二郎											1	1・2年	秋2	○	○					
		演習		GSI-16-6045-J	知能システム学演習a	専攻の全教員																1	1年	春1	○	○
				GSI-16-6046-J	知能システム学演習b	専攻の全教員																1	1年	春2	○	○
				GSI-16-6047-J	知能システム学演習c	専攻の全教員																1	1年	秋1	○	○
				GSI-16-6048-J	知能システム学演習d	専攻の全教員																1	1年	秋2	○	○
GSI-16-6049-J	知能システム学演習e			専攻の全教員																1	2年	春1	○	○		
GSI-16-6050-J	知能システム学演習f			専攻の全教員																1	2年	春2	○	○		
GSI-16-6051-J	知能システム学演習g			専攻の全教員																1	2年	秋1	○	○		
GSI-16-6052-J	知能システム学演習h			専攻の全教員																1	2年	秋2	○	○		
GSI-16-6053-J	データ処理ツール演習1			松本哲也	榎堀優	駒水孝裕												1	1年	春1	○	○				
GSI-16-6054-J	データ処理ツール演習2			松本哲也	榎堀優	駒水孝裕											1	1年	春2	○	○					
実践的教育科目		GSI-20-6001-J	インターンシップ1-A	枝廣正人													2	1年	通年	○	○					
		GSI-20-6002-J	インターンシップ1-B	枝廣正人												1	1・2年	通年	○	○						
		GSI-20-6003-J	インターンシップ1-C	枝廣正人												2	1・2年	通年	○	○						
		GSI-20-6004-J	産学連携実習A	高田広章	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮								2	1・2年	通年	○	○						
		GSI-20-6005-J	産学連携実習B	高田広章	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮								4	1・2年	通年	○	○						
		他専攻科目				本研究科の他専攻の主専攻科目																				
研究指導																										
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目																							

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

知能システム学専攻

博士後期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名										単位数	開講時期		開講年度		
															学年	クォータ	R2	R3	
共通科目	講義	GSI-00-7001-J	情報学特論Ⅱ	北栄輔										1	1年	春1	○	○	
		GSI-00-7002-J	情報倫理Ⅱ	北栄輔										1	1年	春2			
		GSI-00-7003-J	リーダーシップ特論	北栄輔										1	1年	春1			
		GSI-00-7004-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-1	武田一哉 西田直樹										1	1年	秋1	○	○	
		GSI-00-7005-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-2	武田一哉 西田直樹										1	1年	秋2	○	○	
主専攻科目	セミナー	GSI-16-7001-J	基盤知能情報学セミナーⅡ-a	村瀬洋 武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二郎	出口大輔	川西康友	非常勤講師				1	1年	春1	○	○	
		GSI-16-7002-J	基盤知能情報学セミナーⅡ-b	村瀬洋 武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二郎	出口大輔	川西康友	非常勤講師				1	1年	春2	○	○	
		GSI-16-7003-J	基盤知能情報学セミナーⅡ-c	村瀬洋 武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二郎	出口大輔	川西康友	非常勤講師				1	1年	秋1	○	○	
		GSI-16-7004-J	基盤知能情報学セミナーⅡ-d	村瀬洋 武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二郎	出口大輔	川西康友	非常勤講師				1	1年	秋2	○	○	
		GSI-16-7005-J	基盤知能情報学セミナーⅡ-e	村瀬洋 武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二郎	出口大輔	川西康友	非常勤講師				1	2年	春1	○	○	
		GSI-16-7006-J	基盤知能情報学セミナーⅡ-f	村瀬洋 武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二郎	出口大輔	川西康友	非常勤講師				1	2年	春2	○	○	
		GSI-16-7007-J	基盤知能情報学セミナーⅡ-g	村瀬洋 武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二郎	出口大輔	川西康友	非常勤講師				1	2年	秋1	○	○	
		GSI-16-7008-J	基盤知能情報学セミナーⅡ-h	村瀬洋 武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二郎	出口大輔	川西康友	非常勤講師				1	2年	秋2	○	○	
		GSI-16-7009-J	システム知能情報学セミナーⅡ-a	森健策 武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕			1	1年	春1	○	○
		GSI-16-7010-J	システム知能情報学セミナーⅡ-b	森健策 武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕			1	1年	春2	○	○
		GSI-16-7011-J	システム知能情報学セミナーⅡ-c	森健策 武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕			1	1年	秋1	○	○
		GSI-16-7012-J	システム知能情報学セミナーⅡ-d	森健策 武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕			1	1年	秋2	○	○
		GSI-16-7013-J	システム知能情報学セミナーⅡ-e	森健策 武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕			1	2年	春1	○	○
		GSI-16-7014-J	システム知能情報学セミナーⅡ-f	森健策 武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕			1	2年	春2	○	○
		GSI-16-7015-J	システム知能情報学セミナーⅡ-g	森健策 武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕			1	2年	秋1	○	○
		GSI-16-7016-J	システム知能情報学セミナーⅡ-h	森健策 武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕			1	2年	秋2	○	○
		GSI-16-7017-J	フィールド知能情報学セミナーⅡ-a	長尾確 間瀬健二	松原茂樹	東中竜一郎	大平茂輝	榎堀優							1	1年	春1	○	○
		GSI-16-7018-J	フィールド知能情報学セミナーⅡ-b	長尾確 間瀬健二	松原茂樹	東中竜一郎	大平茂輝	榎堀優							1	1年	春2	○	○
		GSI-16-7019-J	フィールド知能情報学セミナーⅡ-c	長尾確 間瀬健二	松原茂樹	東中竜一郎	大平茂輝	榎堀優							1	1年	秋1	○	○
		GSI-16-7020-J	フィールド知能情報学セミナーⅡ-d	長尾確 間瀬健二	松原茂樹	東中竜一郎	大平茂輝	榎堀優							1	1年	秋2	○	○
GSI-16-7021-J	フィールド知能情報学セミナーⅡ-e	長尾確 間瀬健二	松原茂樹	東中竜一郎	大平茂輝	榎堀優							1	2年	春1	○	○		
GSI-16-7022-J	フィールド知能情報学セミナーⅡ-f	長尾確 間瀬健二	松原茂樹	東中竜一郎	大平茂輝	榎堀優							1	2年	春2	○	○		
GSI-16-7023-J	フィールド知能情報学セミナーⅡ-g	長尾確 間瀬健二	松原茂樹	東中竜一郎	大平茂輝	榎堀優							1	2年	秋1	○	○		
GSI-16-7024-J	フィールド知能情報学セミナーⅡ-h	長尾確 間瀬健二	松原茂樹	東中竜一郎	大平茂輝	榎堀優							1	2年	秋2	○	○		
実践的教育科目		GSI-20-7001-J	インターンシップⅡ-A	枝廣正人										2	1・2年	通年	○	○	
		GSI-20-7002-J	インターンシップⅡ-B	枝廣正人										1	1・2・3年	通年	○	○	
		GSI-20-7003-J	インターンシップⅡ-C	枝廣正人										2	1・2・3年	通年	○	○	
		GSI-20-7004-J	★グローバルチャレンジⅡ-A	武田一哉 井手一郎										2	1・2年	通年	○		
		GSI-20-7005-J	★グローバルチャレンジⅡ-B	武田一哉 井手一郎										3	1・2年	通年	○		
		GSI-20-7006-J	★グローバルチャレンジⅡ-C	武田一哉 井手一郎										4	1・2年	通年	○		
		GSI-20-7007-J	★グローバルチャレンジⅡ-D	武田一哉 井手一郎										5	1・2年	通年	○		
GSI-20-7008-J	★グローバルチャレンジⅡ-E	武田一哉 井手一郎										6	1・2年	通年	○				
研究指導																			
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目																

★は「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」参加者のみ履修可

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

2020年度単位互換用授業科目一覧(南山大学提供)

授業コード	授業科目名	単位数	担当教員名	開講期*	曜日	時限	時間	初回授業日	教室(予定)
822A1-001	オペレーションズ・リサーチ概論	2	三浦 英俊	Q1	月木	4	15:15-16:45	2020/4/6	S56
826A2-001	計算数理研究	2	小藤 俊幸	Q2	火金	4	15:15-16:45	2020/6/9	S64

\* 2020年度開講期について

Q1= 第1クォーター	授業期間	2020/4/6~5/29
	試験期間	2020/5/30~6/3(試験予備日6/4)
Q2= 第2クォーター	授業期間	2020/6/5~7/30
	試験期間	2020/7/31~8/4(試験予備日8/5)

シラバス : <https://porta.nanzan-u.ac.jp/syllabus/>

## コースナンバリングシステム

本学ではカリキュラムの体系性を明示し、国際通用性を高めるために全ての科目に10桁の英数字を付しています。情報学研究科のコースナンバーは、本研究科の Web シラバス にて確認することができます。(<https://syllabus.i.nagoya-u.ac.jp/gsi/>)

ABC-DE-klmn-F  
①      ②      ③      ④

### ① 部局名 (英字)

情報学研究科の英語名称の略を表します。

GSI=Graduate School of Informatics

### ② 部局指定 (英数字)

情報学研究科では以下とおりに附番します。

- 00 : 共通科目
- 11 : 数理情報学専攻主専攻科目
- 12 : 複雑系科学専攻主専攻科目
- 13 : 社会情報学専攻主専攻科目
- 14 : 心理・認知科学専攻主専攻科目
- 15 : 情報システム学専攻主専攻科目
- 16 : 知能システム学専攻主専攻科目
- 20 : 実践的教育科目

### ③ 科目レベル (数字)

授業科目の学修段階を表します。

- 0000 - 0999 : 全学教育 (基礎的レベル)
- 1000 - 1999 : 全学教育 (発展的レベル)
- 2000 - 2999 : 学部専門科目 (基礎的レベル)
- 3000 - 3999 : 学部専門科目 (発展的レベル)
- 4000 - 4999 : 学部専門科目 (卒業研究・医学部医学科 5-6 年次)
- 5000 - 5999 : 大学院前期課程科目 (基礎的レベル)
- 6000 - 6999 : 大学院前期課程科目 (発展的レベル)
- 7000 - 7999 : 大学院後期課程科目
- 8000 - 8999 : その他 (教職科目など)

### ④ 使用言語 (英字)

授業科目の使用言語を表します。

- J : 日本語
- E : 英語
- B : 2 言語併用
- O : その他の言語

## 6. 教育職員免許状の取得

本研究科では、免許状取得に必要な課程の認定を受けている。

希望者は、必要な単位を修得することによって、中学校及び高等学校の専修免許状の取得が可能である。

ただし、学部卒業時に基礎免許（一種免許状）を取得している場合とそうでない場合とでは、単位取得状況に相当の差が生じるので注意すること。

(1) 学部卒業時に基礎免許（一種免許状）を取得している場合

この場合には、大学院において24単位分の大学が独自に設定する科目を修得し、修士の学位を授与されると、専修免許が取得できる。

(2) 学部卒業時に基礎免許（一種免許状）を取得していない場合

この場合には、大学院において24単位分の大学が独自に設定する科目のほか、専修免許状に必要な基礎免許（一種免許状取得に必要な単位を充足すること）を得なければならない。

ただし、一種免許状取得に必要な単位は、すでに学部において修得した単位のうち、基礎免許と定められた科目の単位になっている場合があるので、各自確認すること。

詳細については、入学年度の「名古屋大学学生便覧」内「教育職員免許状取得」の欄を参照すること。

### 情報学研究科で取得できる免許状の種類

専攻	中学校専修	高等学校専修
数理情報学専攻	数学	数学
複雑系科学専攻	-	情報

### 基礎資格及び最低修得単位数

免許状種類	基礎資格	大学院における最低修得単位数
中学校教諭専修	修士の学位を有すること	24
高等学校教諭専修	修士の学位を有すること	24

大学が独自に設定する科目（この表以外の科目については修了認定科目であっても、教職科目としては認められないので注意すること。）

（数学）

数理情報学専攻	
数理情報学モデル論セミナー I-a	離散数学特論 1
数理情報学モデル論セミナー I-b	離散数学特論 2
数理情報学モデル論セミナー I-c	数論アルゴリズム特論 1
数理情報学モデル論セミナー I-d	数論アルゴリズム特論 2
数理情報学演習 a	数理論理学特論 1
数理情報学演習 b	数理論理学特論 2
数理情報学演習 c	最適化特論 1
数理情報学演習 d	最適化特論 2
数理情報学演習 e	計算量理論特論 1
数理情報学演習 f	計算量理論特論 2
数理情報学演習 g	数学基礎論特論 1
数理情報学演習 h	数学基礎論特論 2
数理情報学基礎論セミナー I-a	数理情報学基礎論概論 1
数理情報学基礎論セミナー I-b	数理情報学基礎論概論 2
数理情報学基礎論セミナー I-c	数理情報学モデル論概論 1
数理情報学基礎論セミナー I-d	数理情報学モデル論概論 2

（情報）

複雑系科学専攻	
創発システム論セミナー I-a	最適設計特論 1
創発システム論セミナー I-b	最適設計特論 2
創発システム論セミナー I-c	流体情報学特論
創発システム論セミナー I-d	流体移動現象特論
創発システム論セミナー I-e	複雑系プログラミング特論 1
創発システム論セミナー I-f	複雑系プログラミング特論 2
創発システム論セミナー I-g	可視化情報特論 1
創発システム論セミナー I-h	感覚情報処理特論
人工生命特論 1	バイオインフォマティクス特論 1
人工生命特論 2	バイオインフォマティクス特論 2
創発コンピューティング特論 1	計算量子物質情報特論 1
創発コンピューティング特論 2	計算量子物質情報特論 2
複雑系計算特論 1	物質情報ダイナミクス特論 1
複雑系計算特論 2	物質情報ダイナミクス特論 2
生体センシング特論	環境情報特論 1
	環境情報特論 2

## 7. 学生生活にかかわる心得

### 7-1 各種願・届の提出と各種証明書の発行

#### (1) 各種願・届の提出

次の事由が生じた場合は、願・届をその都度、提出しなければなりません。

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| ① 休学するとき        | 休学願        |
| ② 休学を延長するとき     | 休学期間延長願    |
| ③ 復学するとき        | 復学願        |
| ④ 退学するとき        | 退学願        |
| ⑤ 住所を変更したとき     | 住所変更届      |
| ⑥ 本籍地、氏名を変更したとき | 本籍地変更届・改姓届 |
| ⑦ 海外へ渡航をするとき    | 海外渡航願      |

①～④の願い出については、1か月前までに指導教員及び専攻長の所定の認印をもらった上で教務学生係へ提出してください。手続きをしないと授業料の納入義務が存続することになり、授業料が徴収されるので注意してください。

#### (2) 学生証の交付

学生証は、入学・進学の際、教務学生係において交付を受け、常に携帯してください。交付を受けた学生証を汚損・紛失した場合は、学生証再交付願により、再交付を受けてください。ただし、学生証の再交付には手数料が必要になる場合がありますのでご注意ください。

#### (3) 各種証明書の交付

次の証明書が必要な場合は、教務学生係にある証明書発行願に必要事項を記入の上、申請してください。なお、証明書発行は申請してから、和文証明書は3日、英文証明書は7日かかります。

- ① 在学証明書（証明書自動発行機）
- ② 学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）（証明書自動発行機）
- ③ 修了（見込）証明書（証明書自動発行機、博士前期課程2年次）
- ④ 学業成績証明書（窓口）
- ⑤ 免許状取得見込証明書（窓口）
- ⑥ 学位証明書（窓口）
- ⑦ 健康診断証明書〔証明書自動発行機、定期健康診断（4月及び6月）を受診した者のみ〕

その他、就職等に必要な証明書は証明書発行願に必要事項を記入のうえ、申請してください。

《自動発行機設置場所》（自動発行機は全学共通です。）

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| ・全学教育棟本館1階学生ホール      | ・工学部IB電子情報館西棟2階教務課 |
| ・全学教育棟本館北棟1階情報学部事務室前 | ・農学部講義棟2階教務学生係     |
| ・文系総合館1階文系教務課事務室前    | ・環境総合館2階大学院係       |
| ・理学部C館1階教務学生係        | ・創薬科学研究館1階事務室      |
| ・本部2号館1階教育企画課        |                    |

証明書自動発行機の利用可能時間は月曜日から金曜日（祝日を除く）の8:30から17:15までです。

※全学教育棟本館1階学生ホールに設置の証明書発行機からは、成績証明書は発行されません。

\* 2020年5月下旬に「証明書発行システム」が更新予定です。

#### (4) 学割証について

① 学校学生生徒旅客運賃割引証（以下「学割証」という。）は、特に教育奨励の見地から、実習又は帰省旅行の便宜を図るために設けられた制度で、現在、旅客鉄道株式会社（航路、自動車線を含む）は101キロ以上の区間について2割引で運賃の適用を行っています。（急行・特急料金は割引されません。）

② 101キロ以上の旅行、帰省、実習などの場合に限られます。

#### ③ 学割証の無効について

学割証は次の場合は無効として回収されます。

1. 記入事項が不鮮明なものを使用したとき。
2. 記入事項をぬり消し、又は改変したものを使用したとき。
3. 有効期間（発行の日から3ヶ月）を経過したものを使用したとき。
4. 有効期間内であっても使用資格を失った者が使用したとき。
5. 記名人以外の者が使用したとき。

学割証を不正に使用した学生に対しては、それ以後の交付を停止することがあります。

なお、不正使用した場合、多額の追徴金が課されることもあります。

## 7-2 奨学金等

奨学金には、日本学生支援機構奨学金のほか、地方公共団体や民間の奨学事業団体の奨学金があります。

これらは、いずれも人物、学業成績ともに優秀で、かつ健康であって学資の支弁が困難と認められる学生に貸与又は支給されるものです。

### (1) 日本学生支援機構

#### ① 奨学金の種類と貸与月額

（令和2年4月1日入学者）

種 類	対 象 者	貸 与 月 額
1. 大学院第一種奨学金（無利子） 〔対象者毎に希望する月額を右欄から選ぶことができます。〕	(1) 博士前期課程  (2) 博士後期課程	{ 50,000円 88,000  { 80,000 122,000
2. 大学院第二種奨学金（有利子） 〔希望する月額を右欄から選ぶことができます。〕	博士前期課程  博士後期課程共通	{ 50,000 80,000 100,000 130,000 150,000

（備考）第一種の貸与を受けることによっても、なお、その就学を維持することが困難な者については、希望により第二種奨学金についても併せて貸与申請することができます。

② 奨学生の募集及び採用

奨学金の貸与を希望する者は、教務学生係で交付する所定の書類を提出しなければなりません。

なお、願書等の提出期日については、その都度、掲示により通知します。

推薦は成績に重点を置いていますので、心得ておくといでしょう。

③ 奨学金の受領

奨学金は、毎月定められた日に日本学生支援機構から直接奨学生の銀行口座に振込まれます。

④ 適格認定

毎年1月頃に「適格認定」が行われます。奨学生は教務学生係からの通知に従い手続きしてください。

⑤ 奨学生の異動の報告

休学、退学、復学、奨学金振込口座の変更、保証人の変更等の異動が生じた場合は速やかに教務学生係へ連絡してください。

## 7-3 授業料の納入と免除

### (1) 授業料の納付

授業料は、次の期限までに経理事務センターへ納入しなければなりません。

前期分授業料                      4月末日まで

後期分授業料                      10月末日まで

### (2) 授業料免除

経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合又は特別な事情により授業料の納入が著しく困難であると認められる場合には、本人の申請に基づき選考の上、授業料が免除されることがあります。

① 申請の時期

申請の時期・申請方法等については、事前に掲示で周知しますので、掲示板を注意して見てください。

原則として、春学期分及び秋学期分を一括し、年1回の申請となりますので、注意してください。

② 免除の額

各期分の授業料について、その全額あるいは半額が免除されます。

③ 徴収の猶予等

1. 授業料の免除申請を行った者については、免除の許可・不許可を通知するまでの間は授業料の徴収を猶予しますが、当該決定により免除を許可されなかった者及び半額免除になった者は、研究科が指定する日までに所定の授業料を納入しなければなりません。

2. 免除申請の結果が通知される前に休学又は退学を願い出た場合は、申請を取り下げ、所定の授業料を納入しなければなりません。

④ 必要書類

免除を受けようとする者は、下記の書類を所定の期日までに教務学生係へ提出しなければなりません。

なお、書類作成に、市区町村長の証明を必要とし相当日数を要するので注意してください。

ア. 授業料免除申請書

イ. 所得に関する市区町村長の証明書

ウ. その他適宜指示する書類

## 7-4 研究助成について

本研究科に対して、各財団から研究助成の応募書類が送付されてきます。これらの情報は、工学研究科ホームページ (<http://jimmu.engg.nagoya-u.ac.jp/josei/josei.php>) に掲載し更新していますので、注意して見てください。応募の際には、募集対象者を必ず確認してください。

## 7-5 健康管理

学生生活を充実したものにするために、まず自らの健康に注意する必要があります。身体を良いコンディションで維持するためには、睡眠、食事、運動など生活習慣の基本を学び、身につけることはいうまでもありませんが、定期的に健康診断を受け自分の身体の状態を知ること大切です。また、自らの健康管理をするうえで、身体的、精神的な問題がある場合には、学内の施設として保健管理室、全学教育棟の保健室、学生支援センター、ハラスメント相談センターが開設されていますので気軽に利用してください。

### 1. 保健管理室（総合保健体育科学センター）の利用

保健管理室では、定期及び特殊健康診断、健康相談と応急処置、精神健康相談、スポーツ競技参加のためのメディカルチェック、健康の保持増進に関する指導、環境衛生並びに感染症予防に関する指導、環境衛生並びに感染症の予防に関する指導援助などを行っています。

全学教育棟の保健室では、外傷等の処置と健康相談の受付を行っています。

#### (1) 健康診断

##### ① 定期健康診断

健康診断は、無自覚の疾病の早期発見や生活習慣病を予防するための年に一度の身体をチェックする大切な機会です。異常があった場合は、さらに精密検査を実施して授業や日常生活の指導を行います。必ず受診して各自の健康管理に役立ててください。

なお、健康診断書発行サービスを受けられるのは、その年度の定期健康診断を受診した人だけです。他機関での健康診断書作成は大変手間も費用もかかりますので、必ず定期健康診断を受けるようにしましょう。

##### ② 特殊健康診断

放射線業務（RI・X線装置を取り扱う実験・実習）に従事する学生は、放射線障害防止法により健康診断が義務づけられています。未受診の場合は放射線従事者資格取得のための講習と、実験・実習を受けることができません。

また、有害物質を取り扱う実験・実習に従事する学生を対象にした健康診断も実施しています。なお、特殊健康診断受診者は定期健康診断を受診する必要があります。

### 定期健康診断

対 象 者	検 査 項 目	実 施 時 期	実 施 場 所
学部学生 大学院生 研究生等	尿 検 査 胸 部 X 線 検 査 血 圧 検 査 身 体 計 測 (身 長・体 重) 視 力 検 査 内 科 診 察 健 康 調 査 感 染 症 調 査 (1 年 生)	4 月	保 健 管 理 室

### 特殊健康診断

種 類	対 象 者	検 査 項 目	実 施 時 期	実 施 場 所
放射線従事者	実験・実習等で初めて放射線を取り扱う学生 また、次年度以降継続して取り扱う学生は問診を受け、必要に応じて検査を受ける。	血液検査 皮膚検査 眼の検査	5 月 7 月 10 月 12 月	保 健 管 理 室
有害物質取扱者	実験・実習等で有害物質を取り扱う学生	取扱い状況調査及び必要に応じた検査	10 月	

### (2) 健康相談及び応急処置

内科医師による健康相談及び病気、けが等の応急処置（初期治療）を行っています。さらに専門的な診断や治療を要する場合には、医学部附属病院等に紹介しています。健康相談（応急処置含む）は、保健管理室 1 階で受付をしています。

### (3) 救急措置

実験、実習等で救急処置を要する事態が生じた場合は、次のことを参照の上適切な措置を取ってください。

- ① 保健管理室（内線 3969・3970）に連絡をし、指示を求めてください。
- ② 救急車の依頼は 119 番へ。守衛室（内線 4917）に救急車を依頼したことを連絡し、守衛室から現場へ救急車を誘導してもらってください。
- ③ 速やかに指導教員へ連絡するとともに、教務学生係へ連絡してください。
- ④ 医療機関で治療を受けた場合は、初診時に必ず「被保険者証」又は「遠隔地被保険者証」（遠隔地在住者）を医療機関に提出してください。健康保険の適用を受けていない者は、早急に国民健康保険に加入してください。

## 2. 学生支援センターの利用

学生支援センターには、学生相談センター、キャリアサポートセンター、アビリティ支援センターがあります。各室に直接問い合わせることも可能です。

室	部門	連絡先	相談場所
学生相談センター	カウンセリング	052-789-5805	・学生支援棟2・3階 ・医学部基礎医学研究棟別館5階相談室 (鶴舞キャンパス) ・医学部保健学科本館3階315号室 (大幸キャンパス)
	教育連携	052-789-5805	・学生支援棟
	メンタルヘルス支援	052-789-5805	・保健管理室 ・全学教育棟本館1階
	共修推進	052-788-6117 052-789-2964	・IB電子情報館西棟7階739号室
キャリアサポートセンター	就職支援	052-789-2176	・学生支援棟1階
	就職キャリア相談	052-789-2176	・学生支援棟2・3階 ・医学部保健学科本館3階315号室 (大幸キャンパス)
	博士人材キャリア育成	hakase-career@ adm.nagoya-u.ac.jp ※メールでお願いします	・理学部C館3階 C319
	国際キャリア支援	052-789-2176	・IB電子情報館西棟6階
アビリティ支援センター	修学支援	052-789-4756	・工学部7号館B棟2階 (6月末移転予定)
	ライフデザイン支援	052-789-4756	・工学部7号館B棟2階 (6月末移転予定)

## 3. ハラスメント相談センターの利用

もし、自分がハラスメントにより被害を受けた場合、あるいは他の者がハラスメントを受けているのを見て不快に感じた場合等は、名古屋大学に置かれているハラスメント相談センターで相談を受けることができます。ハラスメント相談センターにおいて相談を受けるための受付窓口は、各部局に置かれています。情報学研究科のハラスメント相談受付窓口担当員に相談を希望する人は、相談受付窓口担当員に随時連絡してください。

また、相談総合案内(052-789-5806)も、気軽にご利用ください。

## 7-6 各種保険制度

### 1. 学生教育研究災害傷害保険制度

名古屋大学では、学生が教育研究活動中に不慮の災害事故により身体に傷害を被ったときに備えての被害救済措置として「学生教育研究災害傷害保険制度」があり、情報科学研究科の学生のみなさんには入学時にこの保険に加入しています。

また、近年通学中の交通事故をはじめ、通学途上等でのいろいろな事故が多いことから、「通学中等傷害危険担保特約」を付帯しています。

保険の概要は次のとおりです。

#### (1) 保険の対象となる活動範囲

- ① 国内外における本学の教育研究活動中の急激かつ偶然な外来の事故により身体に傷害を被った場合。この保険における傷害は、「身体外部から有毒ガス又は有毒物質を偶然かつ一時に吸入、吸収又は摂取した場合に急激に生ずる中毒症状」及び「日射又は熱射による身体の傷害」を含みます。(※「病気」はこの保険の対象となりません)

「教育研究活動中」とは次の場合を言います。

#### 1. 正課中

2. 学校行事中
3. 1.2.以外で学校施設内にいる間
4. 学校施設外で大学に届け出た課外活動中

② 通学中、学校施設等相互間の移動中に発生した事故によって身体に傷害を被った場合。

(2) 保険金の種類

- ① 死亡保険金：事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡した場合、補償範囲の区分により支払われます。
- ② 後遺障害保険金：事故の発生の日からその日を含めて180日以内に後遺障害が生じた場合、後遺障害の程度に応じて補償範囲の区分により支払われます。
- ③ 医療保険金：傷害を被り、治療を開始した日から「医師が必要であると認めた治療が完了した日」治療日数に応じて補償範囲の区分により支払われます。
- ④ 入院加算金：医療保険金の治療日数の中に、医師の指示に基づき病院又は診療所に入院した日数が含まれている場合には、医療保険金とは別に、180日を限度としてその入院日数1日目から支払われます。

(3) 保険料と保険期間

保険期間	保険料
1年間	1,000円
2年間	1,750円
3年間	2,600円

(4) 加入申込期間

新入生については、入学手続きの際に加入の受付を行います。留年等で在学期間を延長した学生については、在学期間の延長が決定した時点で教務学生係に保険期間の延長を申し出てください。

(5) その他

上記のほか、詳しくは「学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり」等を参照するか、教務学生係にお問い合わせください。

なお、保険の対象となる事故が発生したら、ただちに事故の日時、場所、状況、傷害の程度を教務学生係に連絡してください。

## 2. 学生教育研究賠償責任保険

(1) 保険の内容

日本国内外において、正課、学校行事又は課外活動及びその往復で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について補償します。

(2) 対象となる活動範囲

正課、学校行事又は課外活動及びその往復。この中には、本学が正課、学校行事、課外活動として認めたインターンシップ、介護体験活動、教育実習、保育実習、ボランティア活動及びその往復を含みます。

(3) 加入の対象者

学生教育研究災害傷害保険に加入している学生に限ります。情報科学研究科の学生のみなさんには入学時にこの保険に加入してもらいます。

(4) 保険料 (1年間) 340円

(5) その他

上記のほか、詳しくは「学研災付帯賠償責任保険加入者のしおり」等を参照するか、教務学生係にお問い合わせください。

### 3. 大学生協の学生総合共済 学生賠償責任保険

(1) 保険の内容及び対象となる活動範囲

① 日常生活 (正課の講義等を含む) における賠償事故【国内・国外】

他人に対する賠償責任

他人から借用したものに対する賠償責任

② 正課の講義等における賠償事故 (人格権侵害)・費用損害【国内・国外】

他人のプライバシー侵害や名誉毀損に対する賠償責任

医療関連実習等で発生した事故に伴う感染予防措置・治療に要した費用 (感染事故損害防止費用)

他人に対するお見舞い (被害者のケガの程度によります)

(2) 加入の対象者

情報学研究科の留学生のみなさんには入学時にこの保険に加入してもらっております。

(3) 保険料

1,800円/年

(4) その他

上記のほか、詳しくは「大学生協の学生総合共済」のパンフレットを参照するか、教務学生係にお問い合わせください。

## 7-7 自然災害等に伴う授業及び定期試験の取扱い

台風等又は地震による災害が発生した場合、若しくは発生の恐れがあり警報等の注意情報が発表された場合の授業及び定期試験 (追試験及び再試験を含む。以降「授業等」という。) の対応は次のとおりです。

(1) 台風に伴い、名古屋市に暴風警報が発表された場合

台風に伴い名古屋市に暴風警報が発表された場合は、暴風警報発表後に開始される授業等は休講となります。ただし、暴風警報が解除された場合の授業等の実施については、別表のとおりです。

【別表】 [暴風警報の解除後の授業の実施]

警報解除時刻	授業等開始時限
6時45分まで	第1限
以後11時00分まで	第3限

[注意事項等]

・暴風警報が発表された際、既に大学に登校している場合は、経路の安全を確認し危険な状況になる前に帰宅してください。

・登校途中に暴風警報が発表された場合は、登校せず、帰宅してください。

(2) 地震・火災が発生した場合

授業等の最中に地震等が発生した時は、地震等の規模や周りの状況を冷静に判断し、まず身の安全を図ってください。その後、授業等を速やかに中断し、授業担当教員の指示に従って指定された一次避難場所へ避難してください。避難後は、大学の指示に従ってください。

### (3) 南海トラフ地震に関する情報が発表された場合

2019年5月31日から、より広い範囲を対象に「南海トラフ地震に関する情報」が発表されることになりました。この情報が発表された場合の対応は、様々な状況があり得るので国や地方自治体でも検討中です。大学については、授業の実施や帰宅など、大学の指示に従って行動し、あわせて各自で情報収集に努めて安全を確保してください。また、情報が発表されず突然地震が発生する可能性もあることから、日ごろの安全対策や被災時の準備などが一層大切になります。なお、対応方針については今後追加・変更される可能性がありますので、注意してください。

### (4) その他、災害が発生した場合若しくは発生の恐れがある場合

上記以外の場合において、授業等を実施することが困難であると判断されるときは、休講措置等の情報をホームページ及び提示等により通知します。

### (5) 代替措置

上記により中止となった授業又は試験の代替措置については、掲示等により通知します。

## 7-8 学生の懲戒及び教育的措置について

学生が犯罪や不法行為を行った場合は、一般の社会人の場合と同様に法的な処分の対象になることはいうまでもありませんが、大学では、それとは別に教育的指導の観点から、そうした学生に対し以下に従った懲戒又は教育的措置（以下「懲戒等」という）を行います。

### (1) 懲戒の種類及び内容

退学……学生としての身分を喪失させること。

停学……6月未満の期間を定めて、又は期間を定めずに、登校を禁じること。

訓告……学生に対して文書により注意を与え、将来を戒めること。

### (2) 教育的措置の種類及び内容

嚴重注意……口頭により注意を与え、反省を強く求めること。

注意……口頭により注意を促すこと。

### (3) 定期試験の不正行為

不正行為があったときには、懲戒等に加えて当該学生が当該学期において修得した全授業科目の単位を不認定にする。

### (4) 懲戒等の対象となる行為

懲戒等の対象となる行為は次のとおりです。

1. 本学の教育研究活動を妨害する行為
2. ハラスメントに該当する行為
3. 不正アクセス等情報倫理に反する行為
4. 守秘義務違反等専門職倫理に反する行為
5. その他大学の名誉・信用を著しく失墜させる行為

## 7-9 学内の業務に従事する場合の注意事項

本学では、学生に対しティーチング・アシスタント (TA)、リサーチ・アシスタント (RA)、その他、本学の教育・研究に関わる業務を依頼した場合、業務に対する報酬を本学からあなたの銀行口座に振り込みます。

学生に対して作業実態に基づき適性に支給した報酬の全部又は一部を研究室等が回収する環流行為は禁止されています。万一、研究室等から当該報酬の返還又は拠出を求められた場合は、事実確認が必要であるため、教務学生係まで相談してください。

## 7-10 伝達事項

学生への周知は、掲示により行います。

情報学部事務室前掲示板・情報学研究科棟玄関の掲示板・工学部 IB 電子情報館中棟 1 階掲示板及び、情報学研究科ホームページ内の電子掲示板に掲示します。

情報学研究科ホームページ

<https://www.i.nagoya-u.ac.jp/>

電子掲示板

情報学研究科ホームページ→大学院情報学研究科→在学生向け関連情報→掲示板

[https://keiji.i.nagoya-u.ac.jp/student\\_gakugai/](https://keiji.i.nagoya-u.ac.jp/student_gakugai/)

8. 教員組織、事務組織

教員組織

情報学研究科教員一覧

専攻名	講座名	教授	准教授	講師	助教
数理情報学	基幹講座 数理情報基礎論	松原 洋 吉信 康夫 小野 廣隆	佐藤 潤也 木原 貴行		
	基幹講座 数理情報モデル論	柳浦 睦憲 西村 治道 ブシェーミ フランチェスコ	大舘 陽太		
複雑系科学	基幹講座 多自由度システム情報論	谷村 省吾 時田恵一郎	中村 泰之		
	基幹講座 生命情報論	太田 元規 吉田 久美	青木 摂之	塚本 眞幸	小池亮太郎
	基幹講座 物質情報論	古賀 伸明 長岡 正隆	張 賀東		井内 哲
	基幹講座 創発システム論	有田 隆也 北 栄輔	永峰康一郎 鈴木 麗璽	笹原 和俊	
	基幹講座 複雑系計算論	畔上 秀幸 大岡 昌博 渡邊 崇	鈴木 泰博		
	協力講座 情報可視化論 (未来材料・システム研究所)	内山 知実	安田 耕二		高牟禮 光太郎
社会情報学	基幹講座 情報哲学  (協力教員:博物館)	戸田山和久	秋庭 史典 小池 直人 久木田 水生 新美 倫子		
	基幹講座 情報社会設計論	安田 孝美	遠藤 守	浦田 真由	
	基幹講座 グローバルメディア論  (協力教員:情報基盤センター)	中村 登志哉(兼務) 山本 竜大	井原 伸浩(兼務) 小川 明子 後藤 明史		
	基幹講座 認知科学	三輪 和久 川合 伸幸			光松 秀倫
心理学	唐沢 穰 大平 英樹 田邊 宏樹	北神 慎司 片平 健太郎 石井 敬子 平井 真洋			
情報システム学	基幹講座 計算論	酒井 正彦 番原 睦則	西田 直樹		橋本 健二
	基幹講座 情報プラットフォーム論	枝廣 正人 ◆高田 広章 石原 亨	吉田 則裕(兼務) 松原 豊		齋藤 理史 増田 豊(兼務)
	基幹講座 ソフトウェア論  (協力教員:情報戦略室)	関 浩之 結縁 祥治 楯 勇一	森崎 修司 中澤 巧爾		濱口 毅
	協力講座 情報ネットワークシステム論 (情報基盤センター)	村瀬 勉 片桐 孝洋	嶋田 創 大島 聡史		山口由紀子 永井 亨

# 情報学研究科教員一覧

専攻名	講座名	教授	准教授	講師	助教
知能システム学	基幹講座 基盤知能情報学 (協力教員:情報基盤センター) (協力教員:■数理・データ科学教育研究センター)	村瀬 洋 ◆武田 一哉 戸田 智基 井手 一郎	出口 大輔 竹内 栄二郎	川西 康友	藤井 慶輔
	基幹講座 システム知能情報学 (協力教員:情報基盤センター)	武田 浩一(兼務) 石川 佳治 森 健策 外山 勝彦	工藤 博章 笹野 遼平(兼務) 小川 泰弘		松本 哲也 小田 昌宏 駒水 孝裕
	基幹講座 フィールド知能情報学 (協力教員:情報基盤センター) (協力教員:情報戦略室)	間瀬 健二 長尾 確 東中 竜一郎 松原 茂樹			榎堀 優 大平 茂輝
	附属組込みシステム研究センター	【センター長】 ◆高田 広章(兼務)	吉田 則裕		増田 豊
附属グローバルメディア研究センター	【センター長】 中村 登志哉	井原 伸浩			
附属価値創造研究センター	【センター長】 武田 浩一	笹野 遼平			

◆未来社会創造機構所属

特任教員(大学院担当教員のみ)

専攻・講座	氏名	職名	所属
情報システム学専攻 情報プラットフォーム論	山本 雅基	特任教授	組込みシステム研究センター
	倉地 亮	特任准教授	組込みシステム研究センター
	渡邊 陽介	特任准教授	未来社会創造機構
知能システム学専攻 基盤知能情報学	二宮 芳樹	特任教授	未来社会創造機構
	石黒 祥生	特任准教授	未来社会創造機構

## 事務組織

### 【技術部】

部門名	電話
情報技術	052 - 789 - 4705
	052 - 789 - 4769
	052 - 789 - 5190
材料技術	052 - 789 - 4775
	052 - 789 - 5185
	052 - 789 - 4812
	052 - 789 - 4811

### 【事務部】

係名	電話
庶務係	052 - 789 - 4716
教務学生係	052 - 789 - 4721
図書係	052 - 789 - 4729

\*電話番号の下4桁が内線

# 名古屋大学大学院情報学研究科規程

(趣旨)

**第1条** 名古屋大学大学院情報学研究科(以下「本研究科」という。)における目的並びに入学、進学、転学、転科及び転専攻(以下「入学等」という。)並びに教育課程、授業、研究指導、成績評価等(以下「教育課程等」という。)については、名古屋大学大学院通則(平成16年度通則第2号。以下「通則」という。)及び名古屋大学大学院共通科目規程(平成22年度規程第47号。以下「大学院共通科目規程」という。)に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

2 この規程に定めるもののほか、入学等及び教育課程等に関し必要な事項は、教授会の議を経て、研究科長が定める。

(目的)

**第2条** 本研究科は、情報学における学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことにより、文化の進展に寄与するとともに、情報学における学術の研究者、高度の専門技術者及び教授者を養成することを目的とする。

(入学及び進学)

**第3条** 入学又は進学の手続及びその選抜方法その他必要な事項は、教授会の議を経て、研究科長が定める。

2 入学試験又は進学試験の合格者の決定は、教授会の議を経て、行う。

(転学、転科及び転専攻)

**第4条** 研究科長は、通則第17条第1項第2号の規定により本研究科に転学を志願する者について、教授会の議を経て、転学を許可する。

2 研究科長は、通則第17条の2第1項の規定により本研究科に転科を志願する者について、教授会の議を経て、転科を許可する。

3 研究科長は、通則第17条の2第2項の規定により本研究科の他の専攻に転専攻を志願する者について、教授会の議を経て、転専攻を許可する。

4 前3項において転学、転科及び転専攻を許可された者の修業年限は、教授会の議を経て、研究科長が定める。

(授業科目及び単位数)

**第5条** 各専攻の授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。

(単位の計算)

**第6条** 各授業科目の単位数の計算は、15時間をもって1単位とする。

(履修基準)

**第7条** 各専攻の履修基準は、別表第2のとおりとする。

(指導教員)

**第8条** 入学又は進学した者に対する指導教員は、教授会の議を経て、研究科長が定める。

2 指導教員は、1名以上とし、必要に応じて、他の研究科の教授等を加えることができる。

(研究指導)

**第9条** 前期課程及び後期課程の研究指導については、教授会の議を経て、研究科長が定める。

(学修計画)

**第10条** 入学又は進学した者は、指導教員の指導の下に、入学又は進学後1月以内に学修計画を作成し、研究科長に提出しなければならない。

2 研究科長は、前項の学修計画について、教授会の議を経て承認する。

(入学前の既修得単位の認定)

**第11条** 学生が本研究科に入学する前に大学院において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)については、教授会の議を経て、研究科長が教育上有益と認める場合は、10単位を超えない範囲で、本研究科で修得したものとして認定することができる。

2 単位の認定方法その他必要な事項は、教授会の議を経て、研究科長が定める。

(他の研究科等の授業科目の履修)

**第12条** 学生が指導教員の指導の下に、他の研究科の授業科目を履修し修得した単位は、教授会の議を経て課程修了に必要な単位として認定することができる。

2 学生は、指導教員の指導の下に、大学院共通科目規程に定める授業科目を履修することができる。

(他の大学院の授業科目の履修)

**第13条** 教授会の議を経て、研究科長が教育上有益と認めた場合は、学生が他の大学院において授業科目を履修し修得した単位は、10単位を超えない範囲で、本研究科で修得したものとして認定することができる。

2 単位の認定方法その他必要な事項は、教授会の議を経て、研究科長が定める。

(他の大学院等における研究指導)

**第14条** 他の大学院又は研究所等において研究指導を受けた場合の認定方法は、教授会の議を経て、研究科長が定める。

(留学)

**第15条** 前2条の規定は、学生が外国の大学院に留学する場合に準用する。

(成績評価)

**第16条** 成績は、授業科目の試験によって評価し、その結果に基づき単位を認定する。この場合の評価の区分等については、名古屋大学における成績評価基準及びGPA制度に関する規程(令和元年度規程第68号)の定めるところによる。

2 前項の規定にかかわらず、授業科目によっては平常の成績評価をもって単位の認定をすることができる。

3 授業科目の試験の日程その他必要な事項は、あらかじめ公示する。

(学位試験)

**第17条** 論文審査及び学位試験は、名古屋大学学位規程(平成16年度規程第104号)の定めるところにより行う。

2 学位論文の提出時期、方法その他必要な事項は、教授会の議を経て、研究科長が定め、あらかじめ公示する。

(研究の成果の審査)

**第18条** 特定の課題についての研究の成果の審査及び試験の合格をもって前期課程の修了要件とすることを

希望する者は、指導教員を経て、教授会に申し出るものとする。

2 審査の方法その他必要な事項は、教授会の議を経て、研究科長が定める。

(追試験)

**第 19 条** 病気その他やむを得ない事由により授業科目の試験又は学位試験を受けることができなかった者は、別に定めるところにより、追試験を受けることができる。

(再試験)

**第 20 条** 授業科目の成績評価又は学位試験で不合格となった者は、別に定めるところにより、再試験を受けることができる。

(転学者、転科者及び転専攻者の既修得単位の認定)

**第 21 条** 他の大学院からの転学者、他の研究科からの転科者及び転専攻者の既修得単位の認定については、教授会の議を経て、研究科長が定める。

(大学院特別聴講学生)

**第 22 条** 大学院特別聴講学生の入学は、教授会において選考の上、研究科長が許可する。

(科目等履修生)

**第 23 条** 科目等履修生の入学は、教授会において選考の上、研究科長が許可する。

2 科目等履修生の履修科目における単位の認定は、第 5 条及び第 16 条の規定を準用する。

(特別研究学生)

**第 24 条** 特別研究学生の入学は、教授会において選考の上、研究科長が許可する。

(大学院研究生の定員)

**第 25 条** 大学院研究生の定員は、50 名とする。

(大学院研究生の入学資格)

**第 26 条** 大学院研究生の入学資格は、次のとおりとする。

一 修士の学位を有する者  
二 教授会において、前号と同等以上の学力があると認められた者

三 その他特別の理由によって教授会が適当と認めた者

2 大学院研究生の入学は、教授会において選考の上、研究科長が許可する。

(大学院研究生の在学期間)

**第 27 条** 大学院研究生の在学期間は、1 年とする。ただし、学年の途中において入学した場合における在学期間は、当該学年末までとする。

2 在学期間が満了しても研究のため、なお引き続き在学しようとする者は、その旨を研究科長に願い出なければならない。

3 前項の場合、研究科長は、教授会の議を経て許可する。

## 附 則

この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。ただし、

平成 30 年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

## 附 則

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和元年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

別表第 1 (第 5 条関係)

数理情報学専攻

博士前期課程

共通科目

情報学特論 I	1 単位
情報マネジメント特論 I	1 単位
情報学特別講義 I	2 単位
実世界データ循環システム特論 I - 1	1 単位
実世界データ循環システム特論 I - 2	1 単位
実世界データ解析学特論	1 単位

主専攻科目 (セミナー)

数理情報学基礎論セミナー I - a	1 単位
数理情報学基礎論セミナー I - b	1 単位
数理情報学基礎論セミナー I - c	1 単位
数理情報学基礎論セミナー I - d	1 単位
数理情報学基礎論セミナー I - e	1 単位
数理情報学基礎論セミナー I - f	1 単位
数理情報学基礎論セミナー I - g	1 単位
数理情報学基礎論セミナー I - h	1 単位
数理情報学モデル論セミナー I - a	1 単位
数理情報学モデル論セミナー I - b	1 単位
数理情報学モデル論セミナー I - c	1 単位
数理情報学モデル論セミナー I - d	1 単位
数理情報学モデル論セミナー I - e	1 単位
数理情報学モデル論セミナー I - f	1 単位
数理情報学モデル論セミナー I - g	1 単位
数理情報学モデル論セミナー I - h	1 単位

主専攻科目 (特論)

数理論理学特論 1	1 単位
数理論理学特論 2	1 単位
離散数学特論 1	1 単位
離散数学特論 2	1 単位
量子情報特論 1	1 単位
量子情報特論 2	1 単位
数論アルゴリズム特論 1	1 単位
数論アルゴリズム特論 2	1 単位
計算可能性理論特論 1	1 単位
計算可能性理論特論 2	1 単位
最適化特論 1	1 単位
最適化特論 2	1 単位
計算量理論特論 1	1 単位
計算量理論特論 2	1 単位
数学基礎論特論 1	1 単位
数学基礎論特論 2	1 単位
数理情報学基礎論概論 1	1 単位
数理情報学基礎論概論 2	1 単位
数理情報学モデル論概論 1	1 単位

数理情報学モデル論概論 2

1 単位

主専攻科目 (演習)

数理情報学演習 a	1 単位
数理情報学演習 b	1 単位
数理情報学演習 c	1 単位
数理情報学演習 d	1 単位
数理情報学演習 e	1 単位
数理情報学演習 f	1 単位
数理情報学演習 g	1 単位
数理情報学演習 h	1 単位

実践的教育科目

インターンシップ I - A	2 単位
インターンシップ I - B	1 単位
インターンシップ I - C	2 単位
産学連携実習 A	2 単位
産学連携実習 B	4 単位

研究指導

博士後期課程

共通科目

情報学特論 II	1 単位
情報倫理 II	1 単位
リーダーシップ特論	1 単位
実世界データ循環システム特論 II - 1	1 単位
実世界データ循環システム特論 II - 2	1 単位

主専攻科目 (セミナー)

数理情報学基礎論セミナー II - a	1 単位
数理情報学基礎論セミナー II - b	1 単位
数理情報学基礎論セミナー II - c	1 単位
数理情報学基礎論セミナー II - d	1 単位
数理情報学基礎論セミナー II - e	1 単位
数理情報学基礎論セミナー II - f	1 単位
数理情報学基礎論セミナー II - g	1 単位
数理情報学基礎論セミナー II - h	1 単位
数理情報学モデル論セミナー II - a	1 単位
数理情報学モデル論セミナー II - b	1 単位
数理情報学モデル論セミナー II - c	1 単位
数理情報学モデル論セミナー II - d	1 単位
数理情報学モデル論セミナー II - e	1 単位
数理情報学モデル論セミナー II - f	1 単位
数理情報学モデル論セミナー II - g	1 単位
数理情報学モデル論セミナー II - h	1 単位

実践的教育科目

インターンシップ II - A	2 単位
インターンシップ II - B	1 単位
インターンシップ II - C	2 単位
グローバルチャレンジ II - A	2 単位
グローバルチャレンジ II - B	3 単位
グローバルチャレンジ II - C	4 単位

グローバルチャレンジ II - D	5 単位	複雑系計算論セミナー I - b	1 単位
グローバルチャレンジ II - E	6 単位	複雑系計算論セミナー I - c	1 単位
<b>研究指導</b>		複雑系計算論セミナー I - d	1 単位
		複雑系計算論セミナー I - e	1 単位
		複雑系計算論セミナー I - f	1 単位
<b>複雑系科学専攻</b>		複雑系計算論セミナー I - g	1 単位
		複雑系計算論セミナー I - h	1 単位
<b>博士前期課程</b>		情報可視化論セミナー I - a	1 単位
<b>共通科目</b>		情報可視化論セミナー I - b	1 単位
情報学特論 I	1 単位	情報可視化論セミナー I - c	1 単位
情報マネジメント特論 I	1 単位	情報可視化論セミナー I - d	1 単位
情報学特別講義 I	2 単位	情報可視化論セミナー I - e	1 単位
実世界データ循環システム特論 I - 1	1 単位	情報可視化論セミナー I - f	1 単位
実世界データ循環システム特論 I - 2	1 単位	情報可視化論セミナー I - g	1 単位
実世界データ解析学特論	1 単位	情報可視化論セミナー I - h	1 単位
<b>主専攻科目 (セミナー)</b>		<b>主専攻科目 (特論)</b>	
多自由度システム情報論セミナー I - a	1 単位	複雑系科学特論 1	1 単位
多自由度システム情報論セミナー I - b	1 単位	複雑系科学特論 2	1 単位
多自由度システム情報論セミナー I - c	1 単位	多自由度システム特論 A	1 単位
多自由度システム情報論セミナー I - d	1 単位	多自由度システム特論 B	1 単位
多自由度システム情報論セミナー I - e	1 単位	現代数学と力学特論	1 単位
多自由度システム情報論セミナー I - f	1 単位	情報物理学特論	1 単位
多自由度システム情報論セミナー I - g	1 単位	物質情報ダイナミクス特論 1	1 単位
多自由度システム情報論セミナー I - h	1 単位	物質情報ダイナミクス特論 2	1 単位
生命情報論セミナー I - a	1 単位	計算量子物質情報特論 1	1 単位
生命情報論セミナー I - b	1 単位	計算量子物質情報特論 2	1 単位
生命情報論セミナー I - c	1 単位	マイクロ・ナノ物質情報特論 1	1 単位
生命情報論セミナー I - d	1 単位	マイクロ・ナノ物質情報特論 2	1 単位
生命情報論セミナー I - e	1 単位	生物有機科学特論 A	1 単位
生命情報論セミナー I - f	1 単位	生物有機科学特論 B	1 単位
生命情報論セミナー I - g	1 単位	化学情報学特論	1 単位
生命情報論セミナー I - h	1 単位	遺伝情報システム特論 1	1 単位
物質情報論セミナー I - a	1 単位	遺伝情報システム特論 2	1 単位
物質情報論セミナー I - b	1 単位	バイオインフォマティクス特論 1	1 単位
物質情報論セミナー I - c	1 単位	バイオインフォマティクス特論 2	1 単位
物質情報論セミナー I - d	1 単位	人工生命特論 1	1 単位
物質情報論セミナー I - e	1 単位	人工生命特論 2	1 単位
物質情報論セミナー I - f	1 単位	創発コンピューティング特論 1	1 単位
物質情報論セミナー I - g	1 単位	創発コンピューティング特論 2	1 単位
物質情報論セミナー I - h	1 単位	環境情報特論 1	1 単位
創発システム論セミナー I - a	1 単位	環境情報特論 2	1 単位
創発システム論セミナー I - b	1 単位	複雑系プログラミング特論 1	1 単位
創発システム論セミナー I - c	1 単位	複雑系プログラミング特論 2	1 単位
創発システム論セミナー I - d	1 単位	複雑系計算特論 1	1 単位
創発システム論セミナー I - e	1 単位	複雑系計算特論 2	1 単位
創発システム論セミナー I - f	1 単位	生体センシング特論	1 単位
創発システム論セミナー I - g	1 単位	感覚情報処理特論	1 単位
創発システム論セミナー I - h	1 単位	最適設計特論 1	1 単位
複雑系計算論セミナー I - a	1 単位	最適設計特論 2	1 単位



情報マネジメント特論 I	1 単位
情報学特別講義 I	2 単位
実世界データ循環システム特論 I - 1	1 単位
実世界データ循環システム特論 I - 2	1 単位
実世界データ解析学特論	1 単位

### 主専攻科目 (セミナー)

情報哲学セミナー I - a	1 単位
情報哲学セミナー I - b	1 単位
情報哲学セミナー I - c	1 単位
情報哲学セミナー I - d	1 単位
情報哲学セミナー I - e	1 単位
情報哲学セミナー I - f	1 単位
情報哲学セミナー I - g	1 単位
情報哲学セミナー I - h	1 単位
情報社会設計論セミナー I - a	1 単位
情報社会設計論セミナー I - b	1 単位
情報社会設計論セミナー I - c	1 単位
情報社会設計論セミナー I - d	1 単位
情報社会設計論セミナー I - e	1 単位
情報社会設計論セミナー I - f	1 単位
情報社会設計論セミナー I - g	1 単位
情報社会設計論セミナー I - h	1 単位
グローバルメディア論セミナー I - a	1 単位
グローバルメディア論セミナー I - b	1 単位
グローバルメディア論セミナー I - c	1 単位
グローバルメディア論セミナー I - d	1 単位
グローバルメディア論セミナー I - e	1 単位
グローバルメディア論セミナー I - f	1 単位
グローバルメディア論セミナー I - g	1 単位
グローバルメディア論セミナー I - h	1 単位

### 主専攻科目 (特論)

社会情報学 A	1 単位
社会情報学 B	1 単位
科学技術社会論特論	1 単位
道德科学特論	1 単位
芸術コミュニケーション論特論	1 単位
社会システムデザイン論特論	1 単位
オープンデータ特論	1 単位
ソーシャルメディアと社会制度設計	1 単位
メディア制度論特論	1 単位
公共性変容特論	1 単位
グローバル・コミュニケーション特論	1 単位
アジア・コミュニケーション特論	1 単位
メディア・リテラシー特論	1 単位
メディア・コンテンツ制作特論	1 単位
文化情報学特論	1 単位

### 主専攻科目 (演習)

社会情報学演習 a	1 単位
社会情報学演習 b	1 単位

社会情報学演習 c	1 単位
社会情報学演習 d	1 単位
社会情報学演習 e	1 単位
社会情報学演習 f	1 単位
社会情報学演習 g	1 単位
社会情報学演習 h	1 単位

### 実践的教育科目

インターンシップ I - A	2 単位
インターンシップ I - B	1 単位
インターンシップ I - C	2 単位
産学連携実習 A	2 単位
産学連携実習 B	4 単位

### 研究指導

#### 博士後期課程

### 共通科目

情報学特論 II	1 単位
情報倫理 II	1 単位
リーダーシップ特論	1 単位
実世界データ循環システム特論 II - 1	1 単位
実世界データ循環システム特論 II - 2	1 単位

### 主専攻科目 (セミナー)

情報哲学セミナー II - a	1 単位
情報哲学セミナー II - b	1 単位
情報哲学セミナー II - c	1 単位
情報哲学セミナー II - d	1 単位
情報哲学セミナー II - e	1 単位
情報哲学セミナー II - f	1 単位
情報哲学セミナー II - g	1 単位
情報哲学セミナー II - h	1 単位
情報社会設計論セミナー II - a	1 単位
情報社会設計論セミナー II - b	1 単位
情報社会設計論セミナー II - c	1 単位
情報社会設計論セミナー II - d	1 単位
情報社会設計論セミナー II - e	1 単位
情報社会設計論セミナー II - f	1 単位
情報社会設計論セミナー II - g	1 単位
情報社会設計論セミナー II - h	1 単位
グローバルメディア論セミナー II - a	1 単位
グローバルメディア論セミナー II - b	1 単位
グローバルメディア論セミナー II - c	1 単位
グローバルメディア論セミナー II - d	1 単位
グローバルメディア論セミナー II - e	1 単位
グローバルメディア論セミナー II - f	1 単位
グローバルメディア論セミナー II - g	1 単位
グローバルメディア論セミナー II - h	1 単位

### 実践的教育科目

インターンシップ II - A	2 単位
インターンシップ II - B	1 単位

インターンシップⅡ－C	2単位
グローバルチャレンジⅡ－A	2単位
グローバルチャレンジⅡ－B	3単位
グローバルチャレンジⅡ－C	4単位
グローバルチャレンジⅡ－D	5単位
グローバルチャレンジⅡ－E	6単位

## 研究指導

### 心理・認知科学専攻

#### 博士前期課程

##### 共通科目

情報学特論Ⅰ	1単位
情報マネジメント特論Ⅰ	1単位
情報学特別講義Ⅰ	2単位
実世界データ循環システム特論Ⅰ－1	1単位
実世界データ循環システム特論Ⅰ－2	1単位
実世界データ解析学特論	1単位

##### 主専攻科目（セミナー）

認知科学セミナーⅠ－a	1単位
認知科学セミナーⅠ－b	1単位
認知科学セミナーⅠ－c	1単位
認知科学セミナーⅠ－d	1単位
認知科学セミナーⅠ－e	1単位
認知科学セミナーⅠ－f	1単位
認知科学セミナーⅠ－g	1単位
認知科学セミナーⅠ－h	1単位
心理学セミナーⅠ－a	1単位
心理学セミナーⅠ－b	1単位
心理学セミナーⅠ－c	1単位
心理学セミナーⅠ－d	1単位
心理学セミナーⅠ－e	1単位
心理学セミナーⅠ－f	1単位
心理学セミナーⅠ－g	1単位
心理学セミナーⅠ－h	1単位

##### 主専攻科目（特論）

情報意味論	1単位
認知モデル論	1単位
認知行動論	1単位
認知心理学A	1単位
認知心理学B	1単位
社会的認知論A	1単位
社会的認知論B	1単位
社会・感情過程論	1単位
認知神経科学A	1単位
認知神経科学B	1単位
知覚・学習機構論A	1単位
知覚・学習機構論B	1単位

## 主専攻科目（演習）

心理・認知科学演習a	1単位
心理・認知科学演習b	1単位
心理・認知科学演習c	1単位
心理・認知科学演習d	1単位
心理・認知科学演習e	1単位
心理・認知科学演習f	1単位
心理・認知科学演習g	1単位
心理・認知科学演習h	1単位

## 実践的教育科目

インターンシップⅠ－A	2単位
インターンシップⅠ－B	1単位
インターンシップⅠ－C	2単位
産学連携実習A	2単位
産学連携実習B	4単位

## 研究指導

#### 博士後期課程

##### 共通科目

情報学特論Ⅱ	1単位
情報倫理Ⅱ	1単位
リーダーシップ特論	1単位
実世界データ循環システム特論Ⅱ－1	1単位
実世界データ循環システム特論Ⅱ－2	1単位

##### 主専攻科目（セミナー）

認知科学セミナーⅡ－a	1単位
認知科学セミナーⅡ－b	1単位
認知科学セミナーⅡ－c	1単位
認知科学セミナーⅡ－d	1単位
認知科学セミナーⅡ－e	1単位
認知科学セミナーⅡ－f	1単位
認知科学セミナーⅡ－g	1単位
認知科学セミナーⅡ－h	1単位
心理学セミナーⅡ－a	1単位
心理学セミナーⅡ－b	1単位
心理学セミナーⅡ－c	1単位
心理学セミナーⅡ－d	1単位
心理学セミナーⅡ－e	1単位
心理学セミナーⅡ－f	1単位
心理学セミナーⅡ－g	1単位
心理学セミナーⅡ－h	1単位

## 実践的教育科目

インターンシップⅡ－A	2単位
インターンシップⅡ－B	1単位
インターンシップⅡ－C	2単位
グローバルチャレンジⅡ－A	2単位
グローバルチャレンジⅡ－B	3単位
グローバルチャレンジⅡ－C	4単位
グローバルチャレンジⅡ－D	5単位

グローバルチャレンジ II - E 6 単位  
**研究指導**

**情報システム学専攻**

**博士前期課程**

**共通科目**

情報学特論 I 1 単位  
 情報マネジメント特論 I 1 単位  
 情報学特別講義 I 2 単位  
 実世界データ循環システム特論 I - 1 1 単位  
 実世界データ循環システム特論 I - 2 1 単位  
 実世界データ解析学特論 1 単位

**主専攻科目 (セミナー)**

計算論セミナー I - a 1 単位  
 計算論セミナー I - b 1 単位  
 計算論セミナー I - c 1 単位  
 計算論セミナー I - d 1 単位  
 計算論セミナー I - e 1 単位  
 計算論セミナー I - f 1 単位  
 計算論セミナー I - g 1 単位  
 計算論セミナー I - h 1 単位  
 情報プラットフォーム論セミナー I - a 1 単位  
 情報プラットフォーム論セミナー I - b 1 単位  
 情報プラットフォーム論セミナー I - c 1 単位  
 情報プラットフォーム論セミナー I - d 1 単位  
 情報プラットフォーム論セミナー I - e 1 単位  
 情報プラットフォーム論セミナー I - f 1 単位  
 情報プラットフォーム論セミナー I - g 1 単位  
 情報プラットフォーム論セミナー I - h 1 単位  
 ソフトウェア論セミナー I - a 1 単位  
 ソフトウェア論セミナー I - b 1 単位  
 ソフトウェア論セミナー I - c 1 単位  
 ソフトウェア論セミナー I - d 1 単位  
 ソフトウェア論セミナー I - e 1 単位  
 ソフトウェア論セミナー I - f 1 単位  
 ソフトウェア論セミナー I - g 1 単位  
 ソフトウェア論セミナー I - h 1 単位  
 情報ネットワークシステム論セミナー I - a 1 単位  
 情報ネットワークシステム論セミナー I - b 1 単位  
 情報ネットワークシステム論セミナー I - c 1 単位  
 情報ネットワークシステム論セミナー I - d 1 単位  
 情報ネットワークシステム論セミナー I - e 1 単位  
 情報ネットワークシステム論セミナー I - f 1 単位  
 情報ネットワークシステム論セミナー I - g 1 単位  
 情報ネットワークシステム論セミナー I - h 1 単位

**主専攻科目 (特論)**

情報セキュリティ特論 1 1 単位

情報セキュリティ特論 2 1 単位  
 システムプログラム特論 A 1 単位  
 システムプログラム特論 B 1 単位  
 情報ネットワーク特論 A 1 単位  
 情報ネットワーク特論 B 1 単位  
 プログラミング言語特論 1 1 単位  
 プログラミング言語特論 2 1 単位  
 ソフトウェア基礎論特論 A 1 単位  
 ソフトウェア基礎論特論 B 1 単位  
 ソフトウェア工学特論 A 1 単位  
 ソフトウェア工学特論 B 1 単位  
 情報システム開発実践特論 1 1 単位  
 情報システム開発実践特論 2 1 単位  
 計算機アーキテクチャ特論 A 1 単位  
 計算機アーキテクチャ特論 B 1 単位  
 大規模計算特論 A 1 単位  
 大規模計算特論 B 1 単位  
 並行分散計算特論 1 1 単位  
 並行分散計算特論 2 1 単位  
 オートマトン・形式言語特論 1 単位  
 計算モデル特論 1 単位  
 計算論基礎特論 A 1 単位  
 計算論基礎特論 B 1 単位  
 知能表現・推論特論 1 1 単位  
 知能表現・推論特論 2 1 単位  
 暗号学特論 1 単位

**主専攻科目 (演習)**

情報システム学演習 a 1 単位  
 情報システム学演習 b 1 単位  
 情報システム学演習 c 1 単位  
 情報システム学演習 d 1 単位  
 情報システム学演習 e 1 単位  
 情報システム学演習 f 1 単位  
 情報システム学演習 g 1 単位  
 情報システム学演習 h 1 単位

**実践的教育科目**

インターンシップ I - A 2 単位  
 インターンシップ I - B 1 単位  
 インターンシップ I - C 2 単位  
 産学連携実習 A 2 単位  
 産学連携実習 B 4 単位

**研究指導**

**博士後期課程**

**共通科目**

情報学特論 II 1 単位  
 情報倫理 II 1 単位  
 リーダーシップ特論 1 単位  
 実世界データ循環システム特論 II - 1 1 単位

実世界データ循環システム特論 II - 2	1 単位
<b>主専攻科目 (セミナー)</b>	
計算論セミナー II - a	1 単位
計算論セミナー II - b	1 単位
計算論セミナー II - c	1 単位
計算論セミナー II - d	1 単位
計算論セミナー II - e	1 単位
計算論セミナー II - f	1 単位
計算論セミナー II - g	1 単位
計算論セミナー II - h	1 単位
情報プラットフォーム論セミナー II - a	1 単位
情報プラットフォーム論セミナー II - b	1 単位
情報プラットフォーム論セミナー II - c	1 単位
情報プラットフォーム論セミナー II - d	1 単位
情報プラットフォーム論セミナー II - e	1 単位
情報プラットフォーム論セミナー II - f	1 単位
情報プラットフォーム論セミナー II - g	1 単位
情報プラットフォーム論セミナー II - h	1 単位
ソフトウェア論セミナー II - a	1 単位
ソフトウェア論セミナー II - b	1 単位
ソフトウェア論セミナー II - c	1 単位
ソフトウェア論セミナー II - d	1 単位
ソフトウェア論セミナー II - e	1 単位
ソフトウェア論セミナー II - f	1 単位
ソフトウェア論セミナー II - g	1 単位
ソフトウェア論セミナー II - h	1 単位
情報ネットワークシステム論セミナー II - a	1 単位
情報ネットワークシステム論セミナー II - b	1 単位
情報ネットワークシステム論セミナー II - c	1 単位
情報ネットワークシステム論セミナー II - d	1 単位
情報ネットワークシステム論セミナー II - e	1 単位
情報ネットワークシステム論セミナー II - f	1 単位
情報ネットワークシステム論セミナー II - g	1 単位
情報ネットワークシステム論セミナー II - h	1 単位

#### 実践的教育科目

インターンシップ II - A	2 単位
インターンシップ II - B	1 単位
インターンシップ II - C	2 単位
グローバルチャレンジ II - A	2 単位
グローバルチャレンジ II - B	3 単位
グローバルチャレンジ II - C	4 単位
グローバルチャレンジ II - D	5 単位
グローバルチャレンジ II - E	6 単位

#### 研究指導

#### 知能システム学専攻

#### 博士前期課程

#### 共通科目

情報学特論 I	1 単位
情報マネジメント特論 I	1 単位
情報学特別講義 I	2 単位
実世界データ循環システム特論 I - 1	1 単位
実世界データ循環システム特論 I - 2	1 単位
実世界データ解析学特論	1 単位

#### 主専攻科目 (セミナー)

基盤知能情報学セミナー I - a	1 単位
基盤知能情報学セミナー I - b	1 単位
基盤知能情報学セミナー I - c	1 単位
基盤知能情報学セミナー I - d	1 単位
基盤知能情報学セミナー I - e	1 単位
基盤知能情報学セミナー I - f	1 単位
基盤知能情報学セミナー I - g	1 単位
基盤知能情報学セミナー I - h	1 単位
システム知能情報学セミナー I - a	1 単位
システム知能情報学セミナー I - b	1 単位
システム知能情報学セミナー I - c	1 単位
システム知能情報学セミナー I - d	1 単位
システム知能情報学セミナー I - e	1 単位
システム知能情報学セミナー I - f	1 単位
システム知能情報学セミナー I - g	1 単位
システム知能情報学セミナー I - h	1 単位
フィールド知能情報学セミナー I - a	1 単位
フィールド知能情報学セミナー I - b	1 単位
フィールド知能情報学セミナー I - c	1 単位
フィールド知能情報学セミナー I - d	1 単位
フィールド知能情報学セミナー I - e	1 単位
フィールド知能情報学セミナー I - f	1 単位
フィールド知能情報学セミナー I - g	1 単位
フィールド知能情報学セミナー I - h	1 単位

#### 主専攻科目 (特論)

データアナリティクス 1	1 単位
データアナリティクス 2	1 単位
画像映像情報処理 1	1 単位
画像映像情報処理 2	1 単位
音声行動情報処理 1	1 単位
音声行動情報処理 2	1 単位
自然言語処理 1	1 単位
自然言語処理 2	1 単位
人工知能システム 1	1 単位
人工知能システム 2	1 単位
マルチメディア情報処理 1	1 単位
マルチメディア情報処理 2	1 単位
知的インタフェース 1	1 単位
知的インタフェース 2	1 単位
知能ロボティクス 1	1 単位
知能ロボティクス 2	1 単位

知能システム A1	1 単位	システム知能情報学セミナー II - h	1 単位
知能システム A2	1 単位	フィールド知能情報学セミナー II - a	1 単位
知能システム B1	1 単位	フィールド知能情報学セミナー II - b	1 単位
知能システム B2	1 単位	フィールド知能情報学セミナー II - c	1 単位
<b>主専攻科目 (演習)</b>		フィールド知能情報学セミナー II - d	1 単位
知能システム学演習 a	1 単位	フィールド知能情報学セミナー II - e	1 単位
知能システム学演習 b	1 単位	フィールド知能情報学セミナー II - f	1 単位
知能システム学演習 c	1 単位	フィールド知能情報学セミナー II - g	1 単位
知能システム学演習 d	1 単位	フィールド知能情報学セミナー II - h	1 単位
知能システム学演習 e	1 単位		
知能システム学演習 f	1 単位	<b>実践的教育科目</b>	
知能システム学演習 g	1 単位	インターンシップ II - A	2 単位
知能システム学演習 h	1 単位	インターンシップ II - B	1 単位
データ処理ツール演習 1	1 単位	インターンシップ II - C	2 単位
データ処理ツール演習 2	1 単位	グローバルチャレンジ II - A	2 単位
数理科学基礎演習 1	1 単位	グローバルチャレンジ II - B	3 単位
数理科学基礎演習 2	1 単位	グローバルチャレンジ II - C	4 単位
		グローバルチャレンジ II - D	5 単位
		グローバルチャレンジ II - E	6 単位
<b>実践的教育科目</b>		<b>研究指導</b>	
インターンシップ I - A	2 単位		
インターンシップ I - B	1 単位		
インターンシップ I - C	2 単位		
産学連携実習 A	2 単位		
産学連携実習 B	4 単位		
<b>研究指導</b>			
<b>博士後期課程</b>			
<b>共通科目</b>			
情報学特論 II	1 単位		
情報倫理 II	1 単位		
リーダーシップ特論	1 単位		
実世界データ循環システム特論 II - 1	1 単位		
実世界データ循環システム特論 II - 2	1 単位		
<b>主専攻科目 (セミナー)</b>			
基盤知能情報学セミナー II - a	1 単位		
基盤知能情報学セミナー II - b	1 単位		
基盤知能情報学セミナー II - c	1 単位		
基盤知能情報学セミナー II - d	1 単位		
基盤知能情報学セミナー II - e	1 単位		
基盤知能情報学セミナー II - f	1 単位		
基盤知能情報学セミナー II - g	1 単位		
基盤知能情報学セミナー II - h	1 単位		
システム知能情報学セミナー II - a	1 単位		
システム知能情報学セミナー II - b	1 単位		
システム知能情報学セミナー II - c	1 単位		
システム知能情報学セミナー II - d	1 単位		
システム知能情報学セミナー II - e	1 単位		
システム知能情報学セミナー II - f	1 単位		
システム知能情報学セミナー II - g	1 単位		

別表第2（第7条関係）

各専攻履修基準

1 博士前期課程

博士前期課程は、次の表に定める各専攻の履修基準により合計30単位以上を修得し、かつ、教授会の議を経て研究科長が定める研究指導を受けなければならない。

○数理情報学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	1. 共通科目の中から2単位以上 2. 主専攻科目の中から、 一 セミナーを6単位以上 二 特論を14単位以上（ただし、数理情報学基礎論概論1及び数理情報学基礎論概論2又は数理情報学モデル論概論1及び数理情報学モデル論概論2を含むこと。また、他専攻の特論を6単位まで含めることができる。） 三 演習を4単位以上 3. 2.の二には、単位互換協定を結ぶ他の大学院の単位互換の単位を当該専攻の特論として含めることができる。 4. 実践的教育科目の単位は、主専攻科目の演習の単位に含めることができる。 5. 他研究科の講義及びセミナーは、4単位を上限として修了要件に含めることができる。
研究指導	専攻において定めるところにより、指導教員の指示による。

○複雑系科学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	1. 共通科目の中から2単位以上 2. 主専攻科目の中から、 一 セミナーを6単位以上 二 特論を12単位以上（他専攻の特論を6単位まで含めることができる。） 三 演習を6単位以上 3. 実践的教育科目の単位は、主専攻科目の演習の単位に含めることができる。 4. 他研究科の講義及びセミナーは、4単位を上限として修了要件に含めることができる。
研究指導	専攻において定めるところにより、指導教員の指示による。

○社会情報学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	1. 共通科目の中から2単位以上 2. 主専攻科目の中から、 一 セミナーを6単位以上 二 特論を12単位以上（他専攻の特論を6単位まで含めることができる。） 三 演習を6単位以上 3. 実践的教育科目の単位は、主専攻科目の演習の単位に含めることができる。 4. 他研究科の講義及びセミナーは、4単位を上限として修了要件に含めることができる。
研究指導	専攻において定めるところにより、指導教員の指示による。

○心理・認知科学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 共通科目の中から2単位以上</li> <li>2. 主専攻科目の中から、               <ol style="list-style-type: none"> <li>一 セミナーを6単位以上</li> <li>二 特論を12単位以上（他専攻の特論を6単位まで含めることができる。）</li> <li>三 演習を4単位以上</li> </ol> </li> <li>3. 実践的教育科目の単位は、主専攻科目の演習の単位に含めることができる。</li> <li>4. 他研究科の講義及びセミナーは、4単位を上限として修了要件に含めることができる。</li> </ol>
研究指導	専攻において定めるところにより、指導教員の指示による。

○情報システム学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 共通科目の中から2単位以上</li> <li>2. 主専攻科目の中から、               <ol style="list-style-type: none"> <li>一 セミナーを6単位以上</li> <li>二 特論を14単位以上（ただし、計算論基礎特論A、計算論基礎特論B、システムプログラム特論A、システムプログラム特論B、計算機アーキテクチャ特論A、計算機アーキテクチャ特論B、ソフトウェア基礎論特論A、ソフトウェア基礎論特論B、ソフトウェア工学特論A、ソフトウェア工学特論B、大規模計算特論A、大規模計算特論B、情報ネットワーク特論A又は情報ネットワーク特論Bから8単位以上を含むこと。また、他専攻の特論を6単位まで含めることができる。）</li> <li>三 演習を4単位（4単位を超えて取得した演習の単位は、随意科目の単位として扱う。）</li> </ol> </li> <li>3. 実践的教育科目の単位は、主専攻科目の演習の単位に含めることができる。</li> <li>4. 他研究科の講義及びセミナーは、4単位を上限として修了要件に含めることができる。</li> </ol>
研究指導	専攻において定めるところにより、指導教員の指示による。

○知能システム学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 共通科目の中から2単位以上</li> <li>2. 主専攻科目の中から、               <ol style="list-style-type: none"> <li>一 セミナーを6単位以上</li> <li>二 特論を14単位以上（他専攻の特論を6単位まで含めることができる。）</li> <li>三 演習を4単位以上</li> </ol> </li> <li>3. 実践的教育科目の単位は、主専攻科目の演習の単位に含めることができる。</li> <li>4. 他研究科の講義及びセミナーは、4単位を上限として修了要件に含めることができる。</li> </ol>
研究指導	専攻において定めるところにより、指導教員の指示による。

2 博士後期課程

博士後期課程の主専攻科目（セミナー）から6単位以上を含む合計8単位以上を修得し、かつ、教授会の議を経て研究科長が定める研究指導を受けなければならない。

# ○名古屋大学学位規程

(平成16年4月1日規程第104号)

改正 平成16年7月20日規程第285号 平成18年1月23日規程第49号  
 平成18年2月27日通則第6号 平成20年3月24日規程第109号  
 平成24年3月21日規程第91号 平成24年10月16日規程第39号  
 平成25年9月17日規程第39号 平成26年3月4日規程第92号  
 平成27年9月15日規程第57号 平成28年2月15日規程第108号  
 平成29年2月21日規程第91号 平成29年4月18日規程第4号

(学位の種類)

**第1条** 名古屋大学(以下「本学」という。)において授与する学位は、学士、修士、博士及び専門職とする。

(学位の専攻分野等の名称)

**第2条** 名古屋大学通則(平成16年度通則第1号)第32条第1項の規定により卒業を認定された者に学士の学位を授与し、その学位記には、学部又は学科の区分に従い、次の専攻分野の名称を付記するものとする。

学部	学科名	学士
文学部		文学
教育学部		教育学
法学部		法学
経済学部		経済学
情報学部		情報学
理学部		理学
医学部	医学科	医学
	保健学科	看護学 保健学 リハビリテーション学
工学部		工学
農学部		農学

2 名古屋大学大学院通則(平成16年度通則第2号。以下「大学院通則」という。)第34条第1項の定めるところにより本学大学院の課程を修了した者に修士、博士又は専門職の学位を授与し、その学位記には、研究科の区分に従い、次の専攻分野の名称を付記するものとする。

研究科名	修士	博士	専門職
人文学研究科	文学 歴史学 学術	文学 歴史学 学術	
教育発達科学研究科	教育学 教育 心理学 臨床心理学	教育学 教育 心理学	
法学研究科	法学 比較法学 現代法学	法学 比較法学 現代法学	法務士(専門職)
経済学研究科	経済学 経営管理学	経済学	
情報学研究科	情報学 学術	情報学 学術	
理学研究科	理学	理学	
医学系研究科	医科学	医学	

医療行政学  
 公衆衛生学 看護学  
 看護学 医療技術学  
 医療技術学 リハビリテーション療法学  
 リハビリテーション療法学

工学研究科 工学 工学  
 生命農学研究科 農学 農学  
 国際開発研究科 国際開発学 国際開発学  
 多元数理科学研究科 数理学 数理学  
 環境学研究科 環境学 環境学  
 社会学 社会学  
 地理学 地理学  
 法学 法学  
 経済学 経済学  
 理学 理学  
 工学 工学  
 建築学 建築学  
 創薬科学研究科 創薬科学 創薬科学

3 前2項に規定する専攻分野の名称の英文表記については、別に定める。

(学位授与の要件)

**第3条** 前条第2項に定めるもののほか、本学大学院研究科に論文を提出して、博士論文の審査及び試験に合格し、かつ、博士課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認された者にも博士の学位を授与することができる。

(課程による者の論文等の提出)

**第4条** 本学大学院の課程による論文(前期課程及び医学系研究科の修士課程にあつては特定の課題についての研究の成果を含む。)は、各研究科で定める授業科目を履修し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該研究科長に提出するものとする。

(課程によらない者の学位授与の申請)

**第5条** 第3条により学位を得ようとする者は、論文に履歴書及び学位審査手数料を添え、学位の種類を指定した願書を当該研究科教授会又は当該研究科教授会が学位審査を委任している委員会等(以下「研究科教授会等」という。)の承認を得て、総長に提出するものとする。

(論文等)

**第6条** 主論文は1編とし、博士論文にあつてはその要旨を添付して提出するものとする。この場合、必要により、参考論文を添付することができる。

2 特定の課題についての研究の成果は、各研究科で定めるところにより提出するものとする。

**第7条** 提出した論文（前期課程及び医学系研究科の修士課程にあっては特定の課題についての研究の成果を含む。）及び納入した審査手数料は、返納しない。  
（学位審査委員会）

**第8条** 博士論文を受理したときは、研究科教授会等は、教授2名以上を含む審査委員を選出し、学位審査委員会を組織する。ただし、国際連携専攻における博士論文を受理したときは、当該国際連携専攻を設ける研究科と連携して教育研究を実施する外国の大学院（以下「連携外国大学院」という。）と協議の上、教授2名以上を含む審査委員を選出し、連携外国大学院の教授その他の者を加えて、連携外国大学院と合同の学位審査委員会を組織する。

2 修士論文若しくは特定の課題についての研究の成果を受理したとき、又は第11条に規定する博士論文研究基礎力審査を行うときは、研究科教授会等は、教授、准教授又は講師2名以上を含む審査委員を選出し、学位審査委員会を組織する。ただし、当該委員会の委員には少なくとも教授を1名含まなければならない。

3 前2項の場合において、必要あるときは、本学の他の研究科若しくは研究所、他の大学院若しくは研究所等又は外国の大学院若しくは研究所等の教授その他の者を学位審査委員会に委員として加えることができる。

4 学位審査委員会は、論文及び特定の課題についての研究の成果の審査並びに試験並びに第11条に規定する博士論文研究基礎力審査に関する事項を担当する。

（審査期間）

**第9条** 博士論文は、受理した後、1年以内に審査を終了するものとする。ただし、特別の事情があるときは、研究科教授会等の議決を経て、審査期間を延長することができる。

2 修士論文又は特定の課題についての研究の成果は、在学中に提出させ、審査を終了するものとする。

3 第11条に規定する博士論文研究基礎力審査は、在学中に行い、審査を終了するものとする。

（試験及び学力審査）

**第10条** 試験は、論文（前期課程及び医学系研究科の修士課程にあっては特定の課題についての研究の成果を含む。）の審査終了後に、筆記又は口頭で行う。

2 博士の試験は、論文の内容及びこれに関連ある専門分野の学識及び研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力について、修士の試験は、論文又は特定の課題についての研究の成果の内容を中心として学識及び研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力について、審査するものとする。

3 第3条による論文提出者に対しては、前項のほか、更に専攻学術に関し、大学院博士課程を修了した者と同以上の学力を有するか否かについて、審査するもの

とする。

**第11条** 大学院通則第31条の2に規定する博士論文研究基礎力審査は、前期課程又は医学系研究科の修士課程において修得し、又は涵養すべき専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養について筆記等による試験を行うとともに、博士論文に係る研究を主体的に遂行するために必要な能力について研究報告の提出及び口頭試問等による審査を行うものとする。

（審査結果の報告及び学位授与の議決）

**第12条** 学位審査委員会は、審査の結果を研究科教授会等に報告する。ただし、博士の学位試験については、その要旨を書面で報告しなければならない。

2 研究科教授会等は、前項の報告に基づいて合否を審議決定する。

3 学位審査の研究科教授会等における議決の方法は、各研究科が定める。ただし、その開会定足数は、当該研究科教授会委員全員（海外旅行中又は休職中の者を除く。）の3分の2以上であることを要し、合格の決定は、無記名投票により、出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

（合格者の報告）

**第13条** 研究科長は、学位試験に合格した者を合格決定の日から20日以内に、総長に報告しなければならない。この場合、博士の学位試験に合格した者については、論文の要旨、論文審査及び試験の結果の要旨並びに履歴書各1通を提出するものとする。

（学位の授与及び学位記の様式）

**第14条** 学部の定める卒業の資格を認定された者には、当該学部長の報告に基づき、又は学位試験に合格した者には、当該研究科長の報告に基づき、総長は、所定の学位を授与する。

2 学位記は、別記様式1-1から別記様式6-2までに定めるとおりとする。ただし、別記様式3-3（課程修了によるもの（国際連携専攻））における和文に併記する英文等及び大学長名、大学長印等については、連携外国大学院との協議により記載することとする。

（論文要旨等の公表）

**第15条** 本学は、博士の学位を授与したときは、当該博士の学位を授与した日から3月以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

（学位論文の公表）

**第16条** 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表するものとする。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。

2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、当該博士の学

位を授与した研究科の承認を受け、当該博士の学位の授与に係る論文の全文に代えて、その内容を要約したものを公表することができる。この場合において、当該研究科は、その論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。

3 博士の学位を授与された者が行う前2項の規定による公表は、当該博士の学位を授与した研究科の協力を得て、附属図書館が実施する名古屋大学学術機関リポジトリを活用し、インターネットの利用により行うものとする。

4 学位授与後に公表する場合は、名古屋大学審査学位論文と明記することを要する。

(学位授与の取消し)

**第17条** 修士、博士又は専門職の学位を授与された者で、次の各号のいずれかに該当するときは、教育研究評議会の議を経て、授与した学位を取り消すものとする。

- 一 不正の方法により学位を受けた事実が判明したとき。
- 二 修士、博士又は専門職の学位を授与された者に、その名誉を汚辱する行為があったとき。

(学位審査手数料)

**第18条** 第5条の学位審査手数料の額は、名古屋大学授業料等の料金に関する規程(平成16年度規程第87号)に規定する額とする。

(雑則)

**第19条** この規程に定めるもののほか、論文の審査及び試験に関し必要な事項は、各研究科において定める。

#### 附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

**附 則** (平成16年7月20日規程第285号)

- 1 この規程は、平成16年10月1日から施行する。
- 2 法学研究科の専攻分野の名称は、改正後の第2条第2項の規定にかかわらず、平成16年4月以前に入学し、当該専攻分野に係る課程を履修している者については、なお従前の例による。

**附 則** (平成18年1月23日規程第49号)

- 1 この規程は、平成18年3月27日から施行する。ただし、改正後の第2条第2項の規定は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 国際開発研究科の専攻分野の名称は、改正後の第2条第2項の規定にかかわらず、平成17年度以前に入学し、当該専攻分野に係る課程を履修しているものについては、なお従前の例による。

**附 則** (平成18年2月27日通則第6号)

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

**附 則** (平成20年3月24日規程第109号)

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

**附 則** (平成24年3月21日規程第91号)

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

**附 則** (平成24年10月16日規程第39号)

この規程は、平成24年10月16日から施行し、平成24年4月1日から適用する。

**附 則** (平成25年9月17日規程第39号)

- 1 この規程は、平成25年9月17日から施行し、平成25年4月1日から適用する。
- 2 前項の規定にかかわらず、改正後の第15条の規定は、平成25年4月1日以後に博士の学位を授与した場合について適用し、同日前に博士の学位を授与した場合については、なお従前の例による。
- 3 第1項の規定にかかわらず、改正後の第16条の規定は、平成25年4月1日以後に博士の学位を授与された者について適用し、同日前に博士の学位を授与された者については、なお従前の例による。

**附 則** (平成26年3月4日規程第92号)

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

**附 則** (平成27年9月15日規程第57号)

この規程は、平成27年10月1日から施行する。

**附 則** (平成28年2月15日規程第108号)

この規程は、平成28年4月1日から施行する。ただし、改正後の第8条第1項の規定にかかわらず、平成27年度以前に受理した博士論文に係る学位審査委員会の組織については、なお従前の例による。

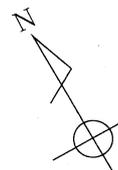
**附 則** (平成29年2月21日規程第91号)

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 情報文化学部の専攻分野の名称は、改正後の第2条第1項の規定にかかわらず、改正前の当該専攻分野に係る卒業の資格を認定された者については、なお従前の例による。
- 3 文学研究科、国際開発研究科、国際言語文化研究科、環境学研究科及び情報科学研究科の専攻分野の名称は、改正後の第2条第2項の規定にかかわらず、改正前の当該専攻分野に係る課程を修了した者については、なお従前の例による。

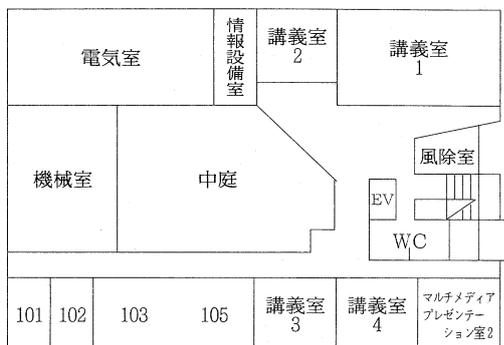
**附 則** (平成29年4月18日規程第4号)

この規程は、平成29年5月1日から施行する。ただし、改正後の第8条第2項の規定にかかわらず、施行日以前に受理した修士論文又は特定の課題についての研究成果に係る学位審査委員会の組織については、なお従前の例による。

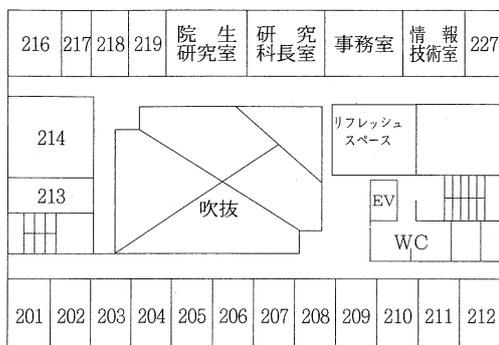
# 情報学研究科棟



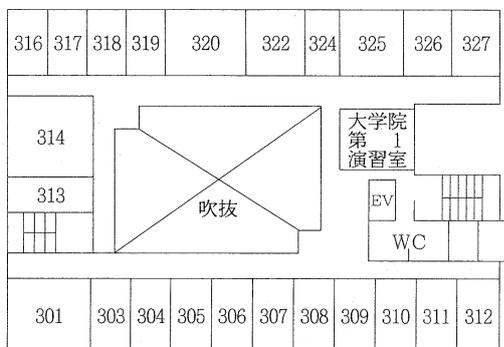
## 1 F



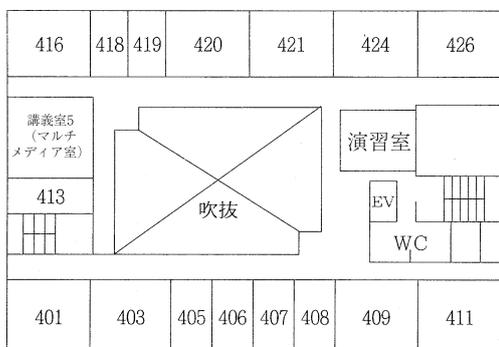
## 2 F



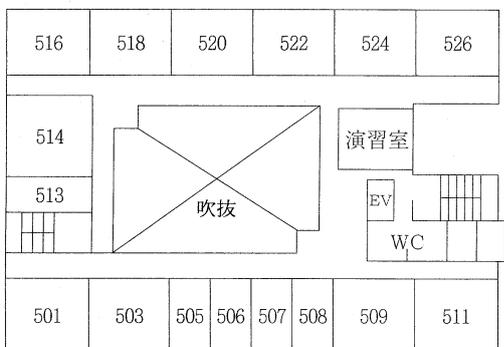
## 3 F



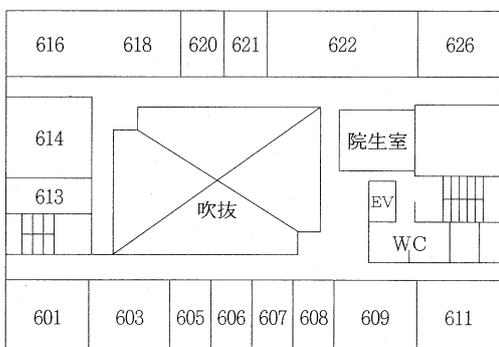
## 4 F



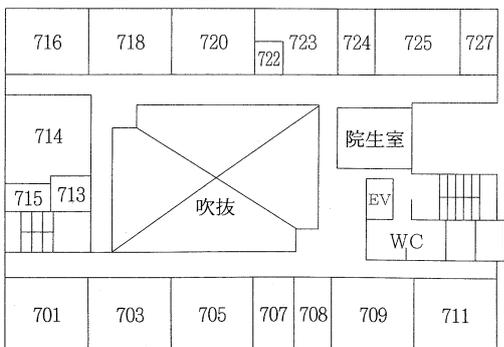
## 5 F



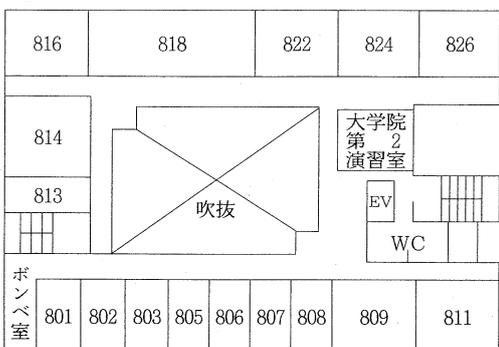
## 6 F



## 7 F



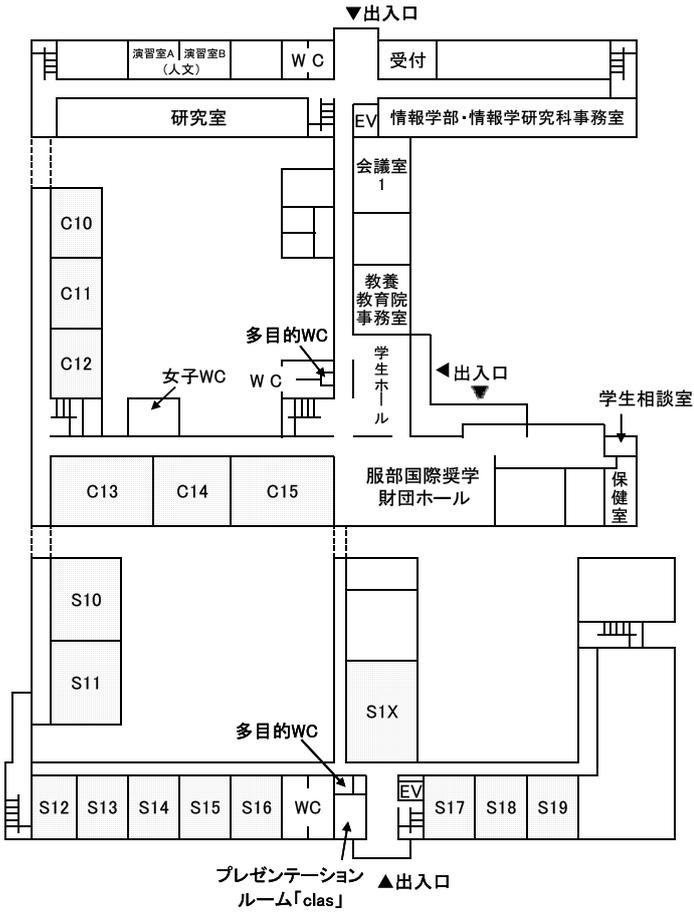
## 8 F



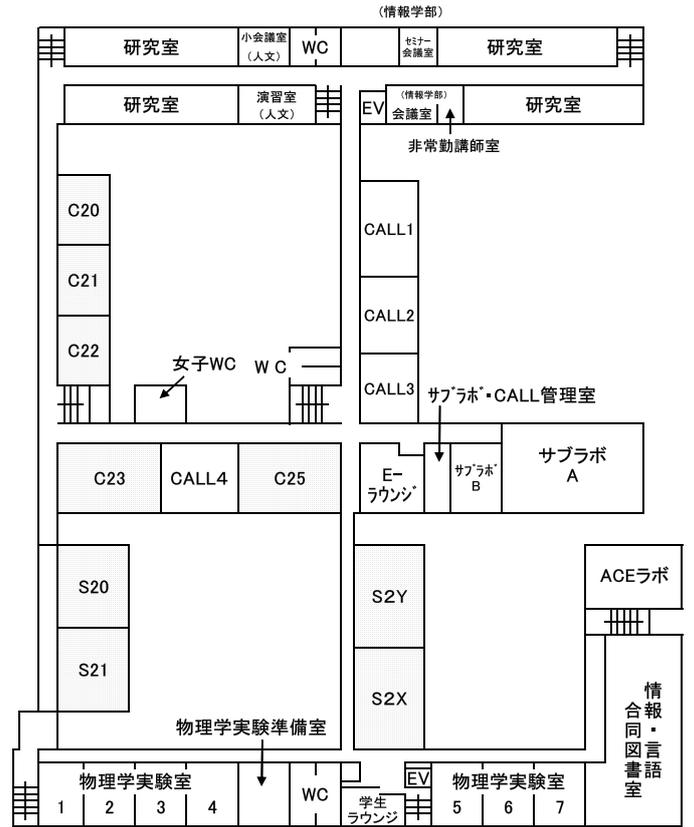
<全学教育棟本館(情報学部)>



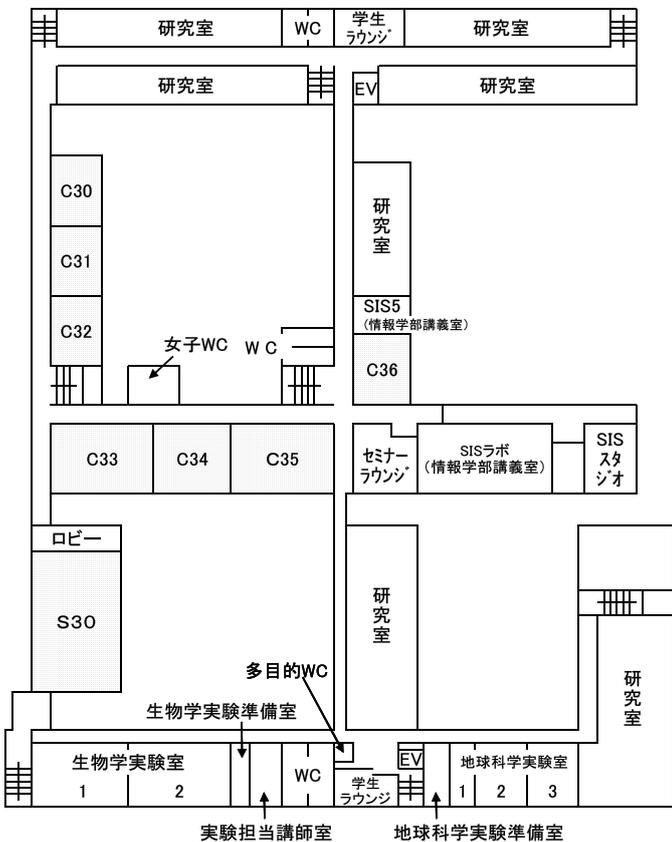
1F



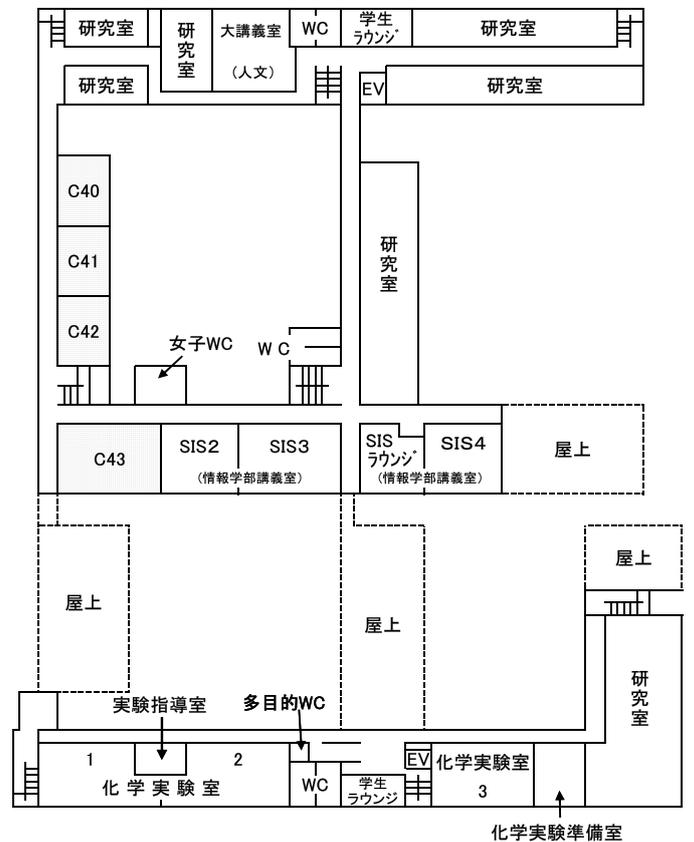
2F



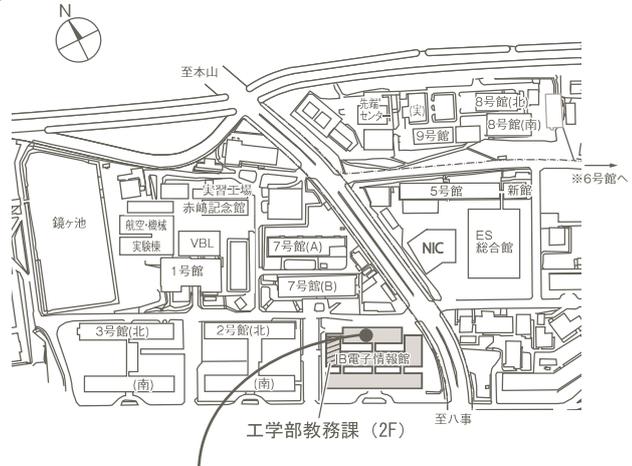
3F



4F



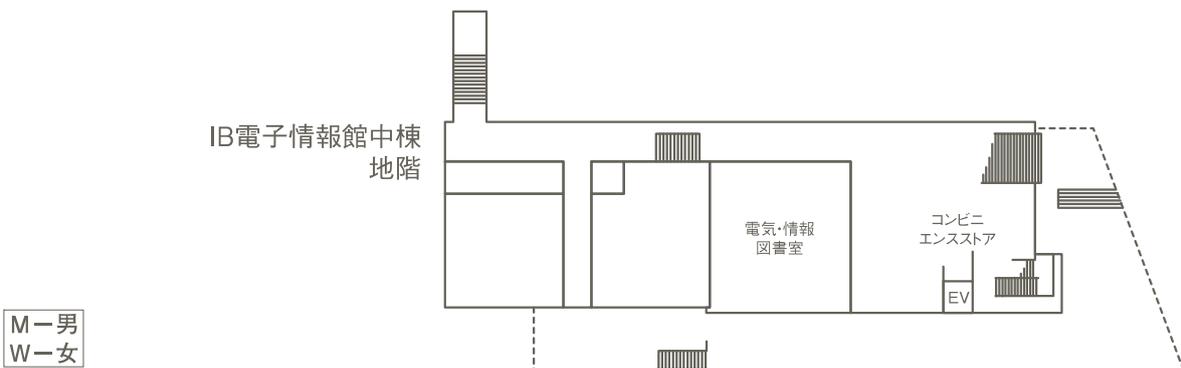
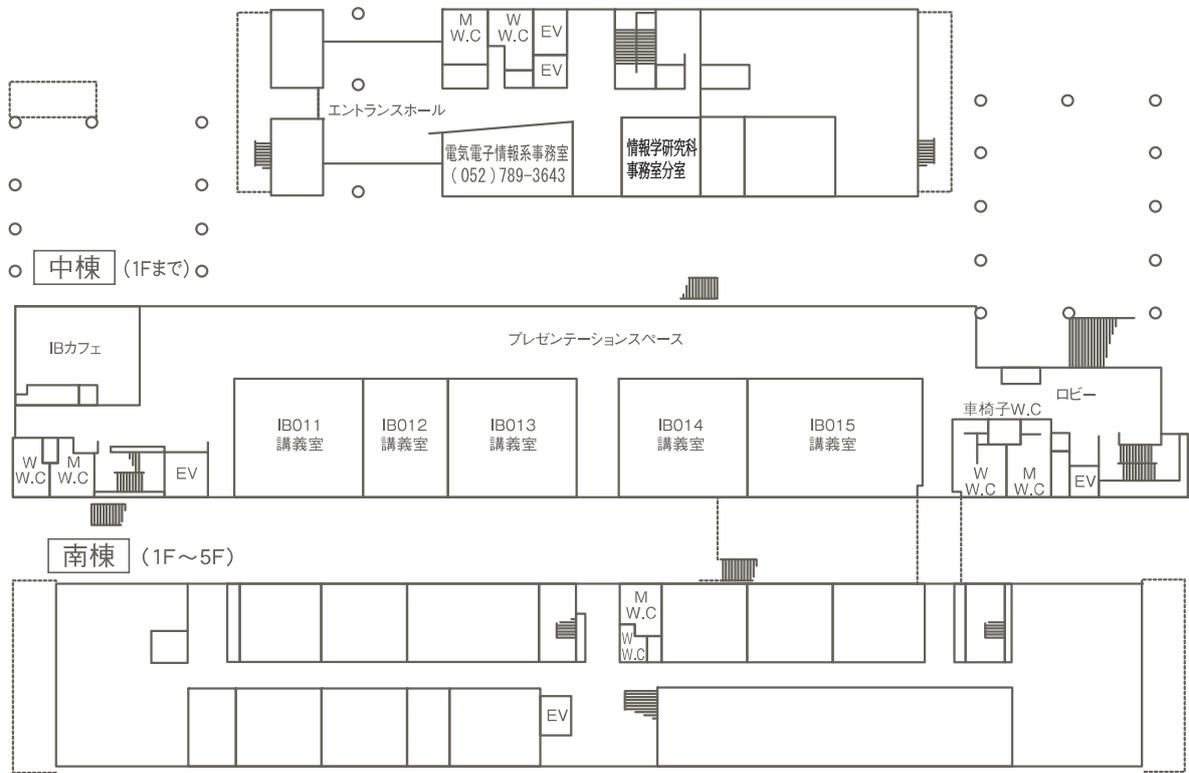
# IB 電子情報館教室等配置図



## IB電子情報館1階

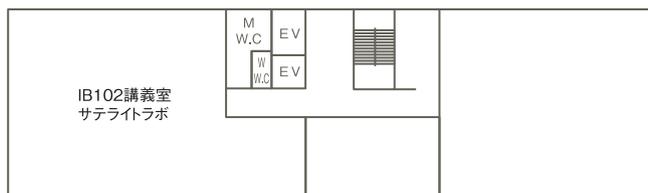
**北棟** (1F~11F)

電気電子情報系事務室 (1F)



M-男  
W-女

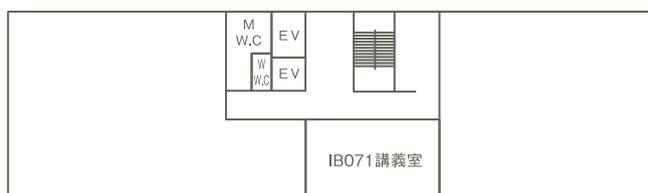
IB電子情報館北棟 10階



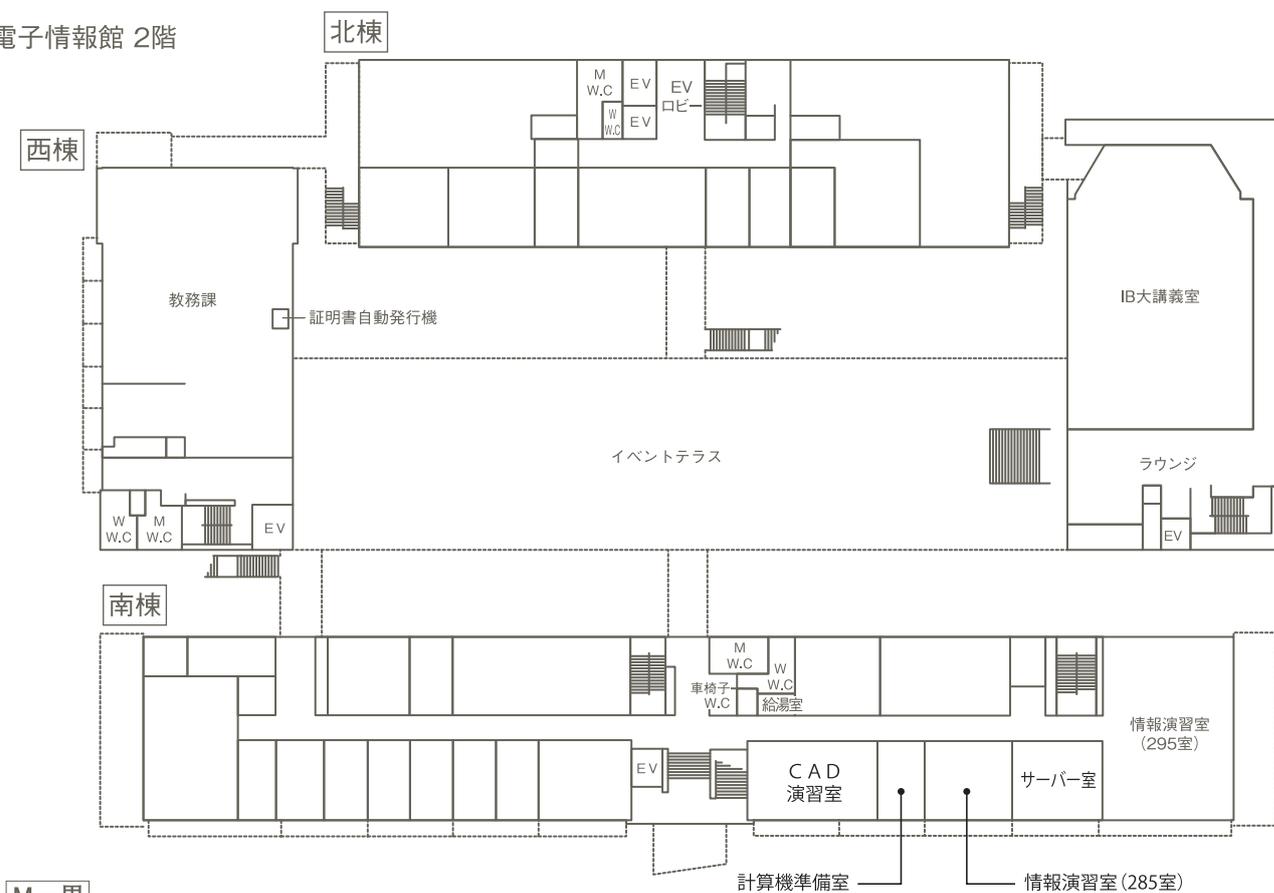
IB電子情報館北棟 8階



IB電子情報館北棟 7階

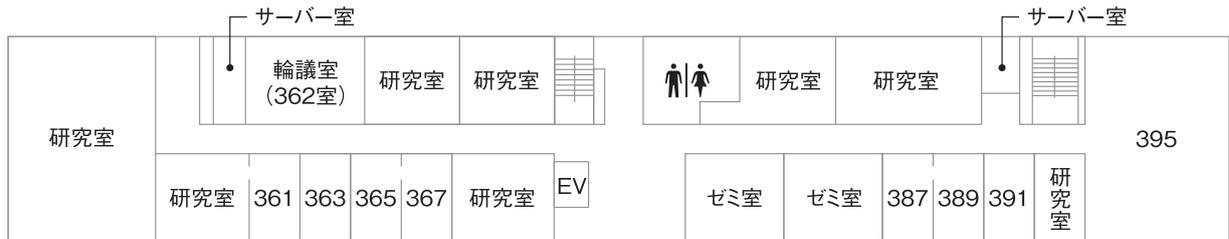


IB電子情報館 2階

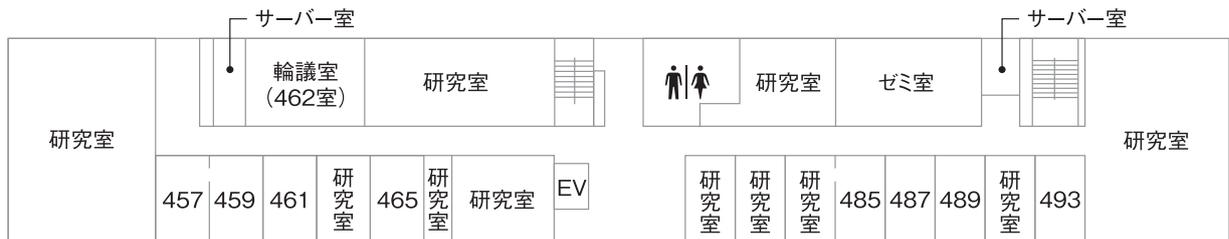


M-男  
W-女

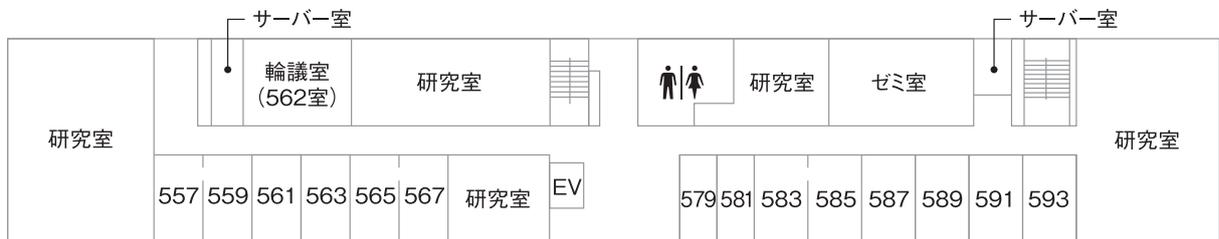
### IB電子情報館南棟 3階



### IB電子情報館南棟 4階



### IB電子情報館南棟 5階



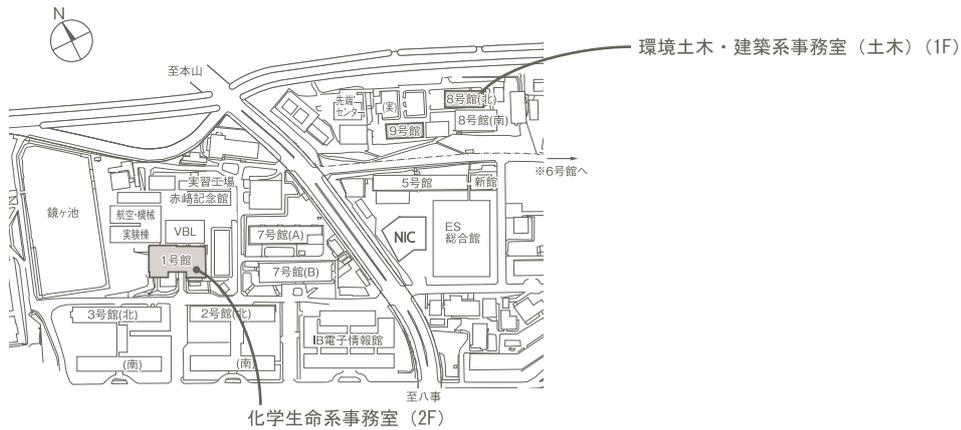
### IB電子情報館西棟 6階



### IB電子情報館西棟 7階



# 工学研究科 1, 8, 9号館教室等配置図



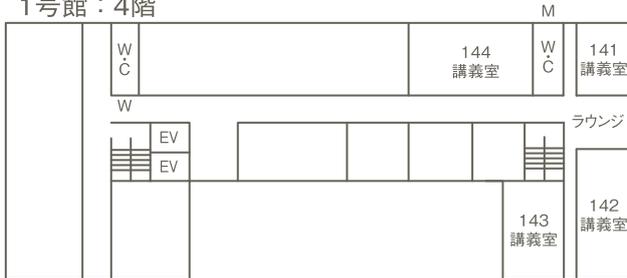
1号館：10階



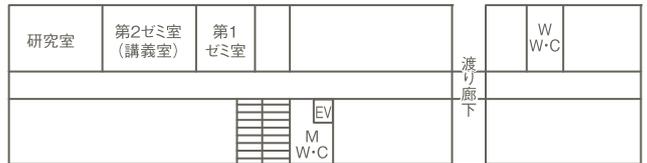
8号館(北棟)：1階



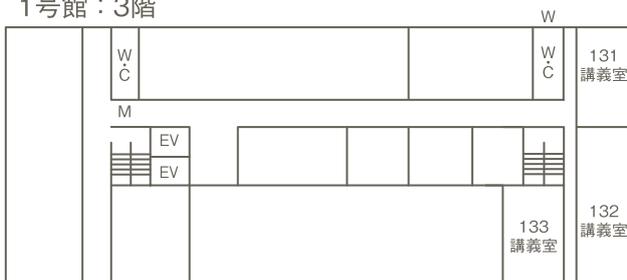
1号館：4階



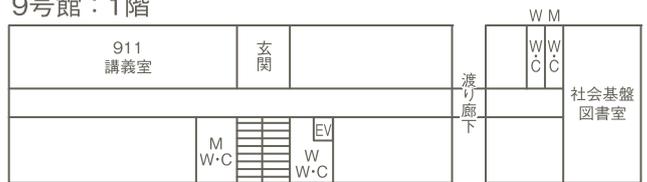
9号館：2階



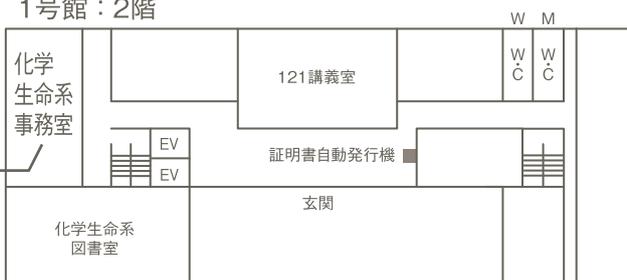
1号館：3階



9号館：1階



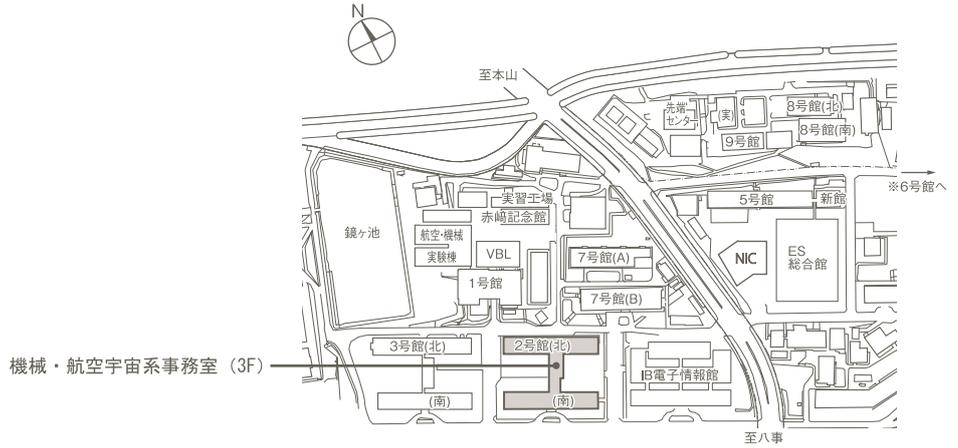
1号館：2階



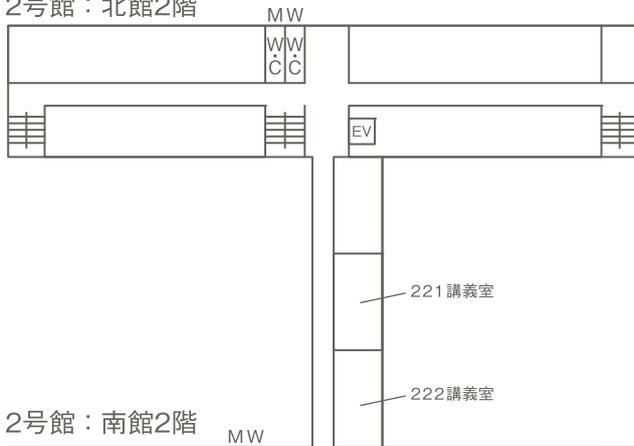
化学生命系事務室  
(052)789-4276、  
2660

M-男  
W-女

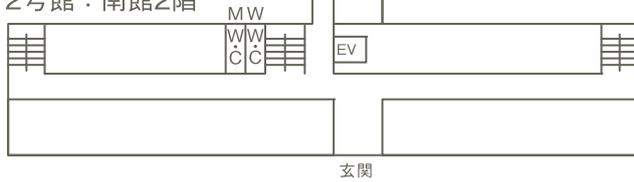
# 工学研究科 2号館教室等配置図



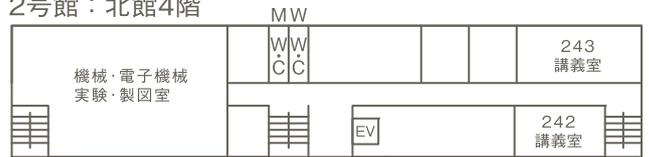
2号館：北館2階



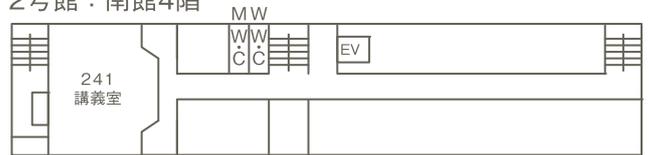
2号館：南館2階



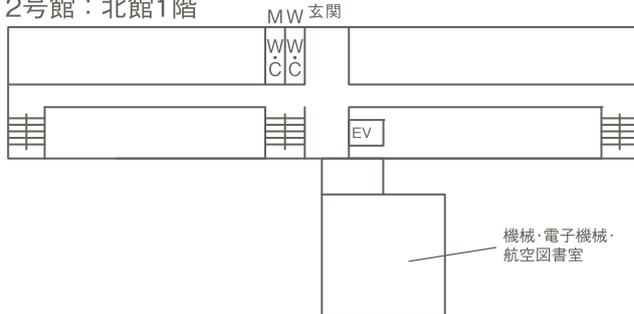
2号館：北館4階



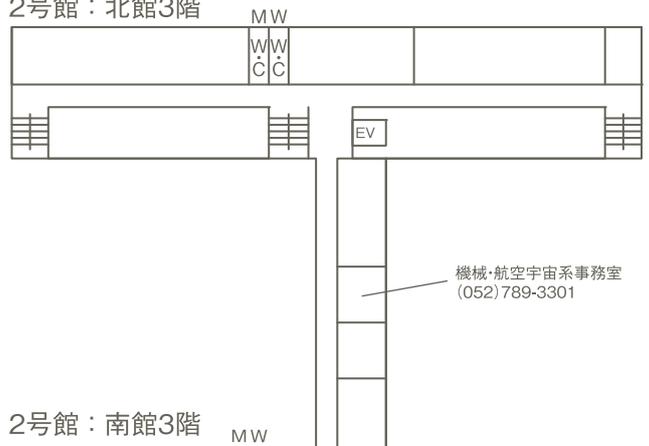
2号館：南館4階



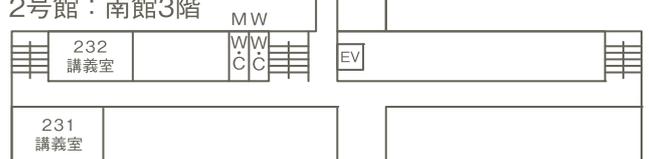
2号館：北館1階



2号館：北館3階

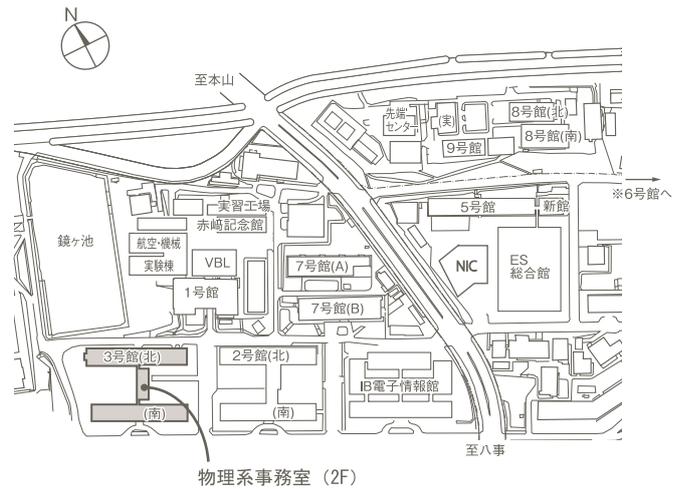


2号館：南館3階

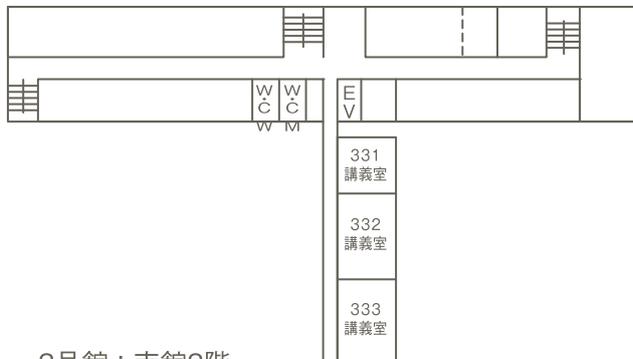


M—男  
W—女

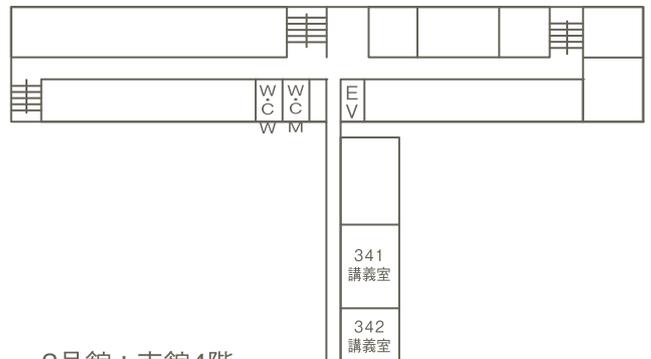
# 工学研究科 3号館教室等配置図



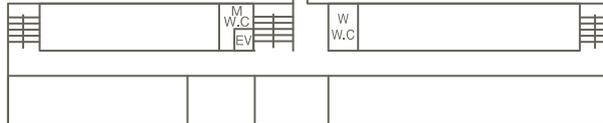
3号館：北館3階



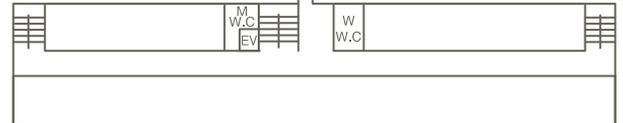
3号館：北館4階



3号館：南館3階



3号館：南館4階



3号館：北館2階



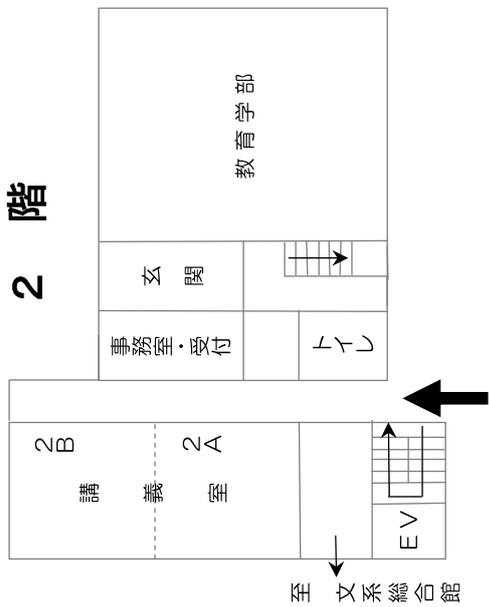
3号館：南館2階



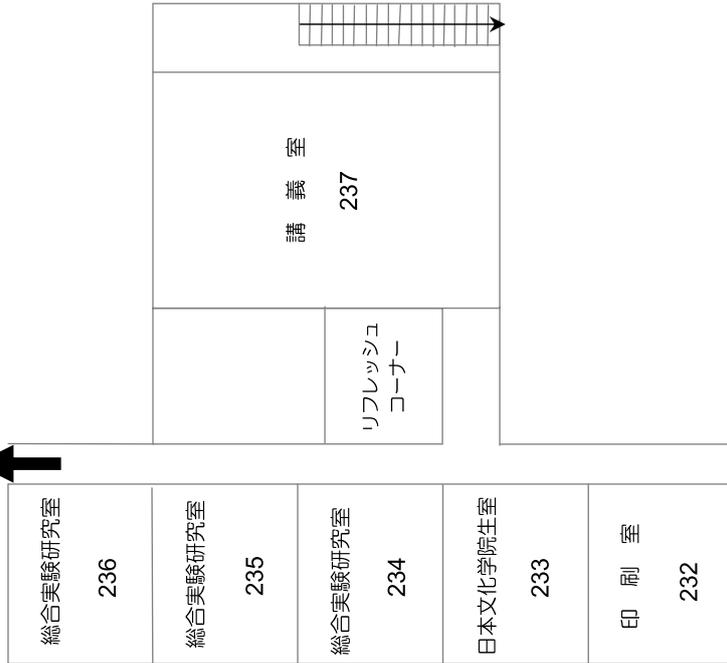
M-男  
W-女

# 文学部本館 平面図

文系共同館



2 階



2 階

非常用スペース	助教研究室 231-2	助教研究室 231-1	言語学実験室 230	考古学 リテラチャー ラボ 229	考古学院生室 228	考古学研究室 227	考古学研究室 226	フロンティア文学 第二研究室 225	「多岐の日本文化」 研究室 224	「多岐の日本文化」 研究室 223	映像研究室 222	映像研究室 220	日本文化学 研究室 219	日本文化学 研究室 218	インド文化学 研究室 217	インド文化学 研究室 216	インド文化学 院生室 215	美学美術史学 院生室 214	美学美術史学 研究室 213	美学美術史学 研究室 212	非常用スペース	
	助教研究室 211-2	助教研究室 211-1		考古学実習室 210	考古学陳列室 209	「アジアの中の 日本文化」研究 センター リテラチャーラボ 208	社会学 リテラチャー ラボ 207	日本文化学 院生室 206	日本文化学 院生室 205	博物館学 研究室 204	インド文化学 リテラチャー ラボ 203	美学美術史学 実習室 202	美学美術史学 リテラチャー ラボ 201									

